夕刊 滿洲日報
十一月廿二日
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

勞農軍の襲擊を豫想し 滿洲里の支那陣地放棄

札來諾爾より海拉爾に後退か 邦人も引揚の外無し

【ハルビン二十一日發電】支那側の消息に依れば滿洲里方面の支那軍は既に彈藥盡き且つ札來諾爾方面に在る露軍の爲めに後路を遮斷され同地は依然孤立の狀態に在り露軍襲來せば全滅の外ないので梁司令は札來諾爾方面を迂廻し海拉爾に後退すべく滿洲里方面の陣地放棄を決意したと、滿洲里市民も軍隊護衛の下に引揚げるらしいが右事實とせば田中領事以下邦人も引揚げる外あるまいと、因に滿洲里在住邦人は二百名である、通信依然不通の爲め眞相不明

坑夫六百名生埋め 勞農飛機の爆彈投下で

【ハルビン二十一日發電】ツアガン驛に在つた支那軍用列車四個列車は露軍飛行機の爆彈に依り粉碎され多數の死傷者を出した札來諾爾炭礦では勞働者約六百名生埋めとなつたと、露軍は引續き奇襲を試み戰鬪擴大の形勢に在るので支那軍は海拉爾方面鐵道其他各機關及び住民引揚の爲め特別列車を海拉爾に急行せしめた、萬福麟氏は白系露人の特別軍編成に着手した、斯くて西部國境の形勢益々險惡となつた

勞農軍密山攻擊 支那軍の死傷者二百名

【ハルビン特電二十二日發】東部線密山、梨樹鎭方面において勞農軍の混成隊は廿日飛行機掩護の下に攻擊を開始し支那軍に約二百名の死傷を與へて退却した

支那側滿洲里救援に焦慮 食糧彈丸不足のため

【ハルビン特電二十二日發】勞農軍の札來諾爾攻擊はパルチザン式のものにあらず飛行機並びに砲兵掩護の下に正規の混成軍約二千を以て堂々と行動したもの〻如く主力はアバガイドより南下したもので支那軍第十七旅は

全滅に近

き損害を受けた

滿洲里の陣地は勞農機の爆彈投下のため斷線は粉碎され痕跡を止めず、破壞された鐵道の復舊は結氷のため進捗せず十七日から五日を經過せる今日依然滿洲里との連絡復舊せず、ハルビン滿洲里間の電話により僅かに前方の狀況を知る程度である、札來諾爾を偵察した支那飛行機の報告によると破壞された列車は現場に放置されたれ勞農軍の襲擊に射殺された死體らしきものが白雪の上に黑胡麻を撒いたやうに所々に黑點を印し、炭礦の火災は鎭火したか火焰を認めず とあり、列車乘客中勞農軍の銃劍に露と消えた支那將校もゐる、破壞線路の復舊が敏速に竣工せぬ時は袋の鼠同然の滿洲里の支那軍は食糧や燃料の缺乏と肝腎の彈丸不足から

白旗を揭

げねばならぬだらうと邊防軍司令部では必死となり海拉爾兵站部では食糧と彈丸の補給連絡に焦慮してゐる、尙東鐵では廿一日避難民のため特に暖房裝置の四等客車三百輛を海拉爾に急送した

黑河の邦人婦女 橇に乘つて避難 吹雪中を齊々哈爾へ

【ハルビン特電二十二日發】危險に迫れる黑河から十八日日本婦女子十七名は吹雪の中を橇により齊々哈爾に向つて避難出發した、稅關其他の外人等も引揚げた

勞農機海拉爾襲擊作業

【ハルビン特電二十二日發】勞農軍は海拉爾に在る支那飛行機五臺を爆碎すべく第二の計畫を樹て〻

ゐると

支那軍の野戰病院增設

【奉天特電二十二日發】從來支那側當局の防禦軍傷病者を收容する野戰病院は綏芬、哈爾賓に設置されてゐたが最近國境における露支戰況は支那側不利で多數の負傷者を出し前記二ケ所だけでは收容し切れぬため更に增設することにな り海拉爾、同江、滿站の三ケ所に經費十五萬元宛を投じて野戰病院 を建設すること〻なり張學良氏は之が急設方を赤十字會長許蘭洲、副會長王汝勛の兩氏に命じたが工費は十五萬圓宛で邊防部軍需處より發給すること〻なつてゐると

奉天における仙石總裁 (上)張學良氏と滿鐵公所にて(下)北陵[illegible]氏別邸訪問

セ將軍から建議の敢死軍組織を拒絕 各地白系露人を警戒

【吉林特電二十二日發】吉林邊防司令部要人の言に依れば、白系露人の首領セミヨノフ氏は本月十一二兩日に亙り奉天張學良長官、張作相氏に面會を求めたるが兩氏とも體良く之れを拒絕した、右セミヨノフ氏の兩氏訪問の目的は吉林省に於ける白系露人を以て敢死軍を組織して勞農軍を討伐する計畫であるから東北省の相當援助を與へられたいと云ふのであるが右の言動に鑑しセミヨノフ氏は吉林省各地に散在する白系露人と氣脈を通じて此際何事か秘密に畫策して居るらしいので、張作相氏は早速吉林代理主席熙洽氏をして省內軍警各機關に密令を發し在住露人の行動を嚴重查察すると共に一面露支問題解決する迄は各地在住露人は其現住地を離れざる樣監視せしめてゐると

熱河軍一部 遼寧省に移駐

【奉天特電二十一日發】張學良氏は熱河省主席湯玉麟氏に命じて同地駐屯の軍隊二箇旅を遼寧省に移す事となり既に步兵第三旅何柱國所屬部隊は義縣に又騎兵第一旅郭希明所屬部隊は海路より通遼に移駐したと

新聞原稿檢閱 戒嚴司令部で

【ハルビン特電二十二日發】戒嚴司令部にては廿一日から一切の新聞原稿の檢閱を開始した

顧問官院長內奏

【東京二十二日發電】濱口首相は二十二日午前倉富樞府議長からの電話を待ち直に宮中に參內樞府顧問官岡田良平、水町袈裟六兩氏、會計檢査院長湯淺倉平氏を內奏し一旦退下午後宮中の御都合を伺ひ親任式を擧行すること〻なつた

萩川放談(123)

戰雲濃し

戰雲は支那の中原に濃く、南方にもその動きを觀る、蔣介石が勝つか、反蔣派が志を得るか、將亦第三者が興つて、此騷擾を鎭めるか、どちみち斯うした經路を履むべしと思ふが、然らばそれで支那は和平統一かと云ふと仲々に爾かくは捗々しきものであるまい、內治を忘れ、外交などで誤魔を繕ひ、甘味を吸ひ因つて以つて國家の威信、否寧ろ自家を保たんとするが如き、爲政當局者が幅を利かす限り、支那は拯はれぬ、內に充ちて始めて外に展ぶべし、現代に於ける支那の革命志士はそれこれを慮らねばならぬ。

◇

それはそうとして、一朶の戰雲は更に北滿を蔽ひ、之がまた最近に著るしく眼に立つ、而も此戰雲の起るは內治ならぬ外交でこ〻に支那爲政當局者の外交振が察せらる、尤も此根元を洗へば、ロシアにも不法があれど、支那にも無理があり、不法と無理との衝突で、其不法と無理との裏面には等しく利慾が潜む、乃ちロシアは一たびは手放した東支鐵道に齧りつき、其處を本據として、支那の赤化、云へば支那を乘取らんとし、支那はさはさせじと爭ふうちに、東支鐵道の世帶を狙ふ。

◇

東支鐵道を爭ふは好いが、支那側の其世帶を狙ふは革命資金を援んとするなり、資金を得て政敵を倒さんとするなり、政敵を倒して權威を張らんとするもので、此權威に憧る〻は、革命を成就せしめんが爲よりも榮達を欲するが故で、青年支那は革命に生きんとして居るが、國民は少しでも志を遂げれば、皆そうした途に落ちて行くから遣り切れない、東支鐵道に對する無理もそれからで、寧むる譯ではないが、ロシアの不法は國家本位と云はうか、主義本位と云はうか、其處に聊か支那との桁違ひがあるではないか。

◇

東支鐵道を中心とする露支の抗爭に桁違ひがあるとして、これが現在を觀察せんか、寧者ロシア側に活氣の生じ來つた

れる、曾て本欄で書いた通り若しロシアが本抗爭に攻勢を採るならば、多季松花江が結氷せば之を除き、綏芬、黑河、滿洲里方面からの分進合擊が豫期せられ、支那の爲には不幸の言をなすようだが、這次露軍の札來諾爾侵入を事實とせば、形勢は此豫期に進むでないかと思はれんでもない、當面に立つ奉天側も氣が氣じやあるまい、軍費は要ろ、饑稅は餘儀なくされる、民衆間に不平は起る、中原の戰雲は濃し、そこへ之を相談しても乘つては呉れまい、之に處する途や如何に。

關稅答申案 原案通り可決 きのふ審議總會開會

【東京廿一日發電】廿一日の關稅審議會總會は特別委員會案通り答申案を可決した

我國現行關稅率中には徒らに過當なる保護を持續し又は既に其の必要を失ひたるにか〻はらず尙これを改訂せざるものあり而して之に該當する物品にして審議を了したるものに對しては左記の方針により改正するを適當と認む

一、綿織糸 輸入稅表第二百七十二號一の項綿織糸關稅は現行より約三割五分輕減、ミュール製其の他我國產出なきもの產出高僅たきものは無稅

二、鐵の筒及管 輸入稅表第四百六十二號一三筒及び管中外徑百十七ミリ長さ五メートルを超るケーシング外徑百十ミリ長さ五メートルを超るアプセット、ドリル、パイプ及び之等のジョイントは無稅

三、生糸 輸入稅表第二百八十七號二生糸中廣東糸は無稅七里糸は稅率を從價一割五分に引下げを適當と認む

四、牛肉 稅表第五十二號一の甲牛肉關稅は無稅

五、高粱 稅表第十八號高粱の關稅は無稅

六、セメント 稅表第四百卅二號ポートランドセメント、ローマンセメント、プゾラナセメント其他類似の水硬セメント關稅は現行每百斤三十錢より五割を輕減し十五錢とす

駐日英大使 幣原外相と懇談

【東京二十日發電】英國大使チリー氏は今朝十時五十分幣原外相を外務省に訪ひロンドン軍縮會議問題につき懇談した

英炭坑夫同盟會長

【ロンドン十九日發電】イギリス炭坑夫同盟會長ハーバート、スミス氏が今回辭職せるにつきトーマス、リチャードズ氏滿場一致其後任に選擧された

關東廳明年豫算 目下西山財務部長から大藏當局に承認折衝中

【東京特電二十二日發】關東廳明年度の豫算は既に拓務省の議を經て大藏省へ廻附され西山財務部長が折衝說明の任に當つて居るが臨時部に屬せる綸州保證に關する經費二十四萬圓は新規要求の費目であるが其他にありては學級增加等に伴ふ教育費の增加九萬五千餘圓警察費の增加二十四萬餘圓でこれは警備の擴張充實を圖ることになつて居る又郵便電信電話の擴張費二十五萬七千餘圓は遞信局所管に於て必要の施設を行ひ一方にはそれだけの增收を見込んであるが外に產業助成費の增加六萬圓は地方費の振替で明年度より國庫補定となすもの鹽業補助を主とし又營繕土木費の六十七萬五千餘圓は每年度と同じく廳舍其他の營繕に充當するもので各年度に比し寧ろ少額の方であるが緊縮豫算に於て之れだけは數字の增加を見ること〻なり夫々承認を求めて居る

滿洲醫大の學位問題を陳情 稻葉學長廿二日上京

【奉天特電二十二日發】滿洲醫大學位問題は現狀のま〻では各局に解決する見込みた〻ず又醫大に進んだ際で解決までには相當期日を要すべく學校當局も種々對策を講じ之が

解決を急

いでゐる、元來植民地關係のものは拓務省で取扱はれ植民地關係各大學に對する學位問題も總て決定されずそこへ醫大の學位問題が提出されて文部拓務兩省に於て之を何れが處理すべきかさへ其儘となつてゐる今日今後更して文部省で之を取扱ふことになつたとしても如何なる方法で進めて行かれるか更に一大問題で

醫大問題

が解決すれば植民地關係各大學即ち京城、臺灣、旅順工大の學位問題も自から解決する譯で稻葉醫大學長はこの重要問題をひつさげ廿二日安奉線急行で東上したが上京後は文部、拓務兩省當局と該問題解決促進につき打合せをなし十二月二十日頃歸奉の豫定である

蒙古牛六百頭 樺太へ輸送する

東亞勸業會社江田博伊藤外人兩氏は去る十月八日蒙古牛約六百頭を信濃丸に積込み大連出帆東樺太へ向つたが完全に樺太バイカルに陸揚げし之が牧草人夫支那人三十五名を連れ廿二日香港丸にて歸連

工業代表土產話 次ぎの開催地は未定 製產の合理化が必要

萬國工業會議に滿洲より出席の斯界の旅順工大學長井上禧之助氏および大連機械製作所專務森川莊吉氏は打連れて廿二日入港香港丸で歸連したが井上學長は簡單に

內地で貴紙を拜見したが貝瀨氏丸澤氏が云はれた樣に大變盛大な集りで工業會議も動力會議も學術會議としては立派なものだつた、新聞で見ると次の開催地がシカゴの樣に報ぜられてゐましたがこれは決議までには至りませんでした、今度どこで開催するにしてもインビテーションを發してから二年は時日を要すると思ふからまあ三年位後の話だらう

同じく森川氏も語る

私は此機會に內地の各工場及び機械工業について視察して來た一昨年歐洲と昨年アメリカを見て來た私の眼に映つた日本の機械工業界は素晴らしい發達を遂げて殊に東京の復興に關する幾多の資料を見て來たが歐米の機械力に比較して何等遜色のないものだつた、只今少し日本の資本家も被傭者も合理化した製產に目覺めたら好いと思つた、一方機械力の發達は物凄いものだが需要がこれに伴はなくては仕方ないと思ふ、要するに生產と消化の合理化に日本の機械工業者等はもつと突込んで行かねばなるまい、英國などでは勞働者の資本家を理解してゐる程度は見習ふ價値があると思ふ

仙石總裁 奉天城內を見物

【奉天特電二十二日發】東北省政府代表に對する公式着任挨拶を了へた仙石滿鐵總裁は本日十三時四十分奉天發着任の途につくが、總裁は今朝は打續き前日の鬱さとは打つて變つた小春日和の空を仰ぎつ〻午前十時半齋藤理事、鐵田囑託、鐵島、藤井兩秘書役等を隨へ自動車にてホテルを出發奉天城內の宮殿、博物館等の參觀に赴き正午ホテルに歸つた

佐分利公使

【東京二十二日發電】佐分利公使は二十一日午前十時幣原外相を訪ひ最近の支那事情につき實地觀察の結果を報告した

青訓證書授與式

大連沙河口青年訓練所では來る二十五日午後七時より沙河口小學校講堂に於て第三回修了證書授與式を擧行する由

關東廳辭令(十六日附)

任關東廳法院書記 廣島地方裁判所書記 川上義雄

人事

▲井上禧之助氏(工大學長) 廿二日入港香港丸にて來連
▲田中世氏(田中[illegible]氏令息) 同上
▲森川莊吉氏(大連機械製作所員) 同上
▲高橋梧郎氏(日活社員) 同上
▲梅村蓉子(女優) 同上
▲岸田菊郎氏(商船天津支店長) 同上
▲小松原重利氏(常盤津師) 同上
▲田中亮平氏(パラマウント社員) 同上
▲遠藤友吉氏(パイロット) 同上

大觀小觀

淨化、合理化、いかなる場合にも必要なり。

◇

ただ泥試合、暴露戰術のみに浮身をやつすは考へ物。

◇

手段と目的とは、常に取り違へぬことが肝要。

◇

だが淨化は徹底を要し、些の疑惑をも掃拭することに努めねばならぬ。

◇

支那側、いよ〳〵滿洲里を放棄か。ロシヤと支那、まだ宣戰されたことを聞かぬが。

◇

尤も、滿洲里やボグラや、富錦黑河ぐらゐは放棄してもよいといふ支那の推量か。

天氣豫報

(廿三日)南西の風晴れ一時曇り

日出 六、四四 日沒 四、三五
滿潮 前 二、一〇 午後 二、三三
干潮 前 九、一〇 午後 八、四〇

勇敢に格闘の庄野巡査 兇賊に刺され重傷す

全署をあげ水も漏さぬ大捜査 今曉、旅順の騷ぎ

吉田巡査部長殺し事件も未だ耳新しき二十二日拂曉、旅順市密行中の巡査が兇賊と格闘して凍てついた街路の雪を血にそめた旅順署創設以來の事件が突發した

重傷にも怯まず 飽く迄犯人を追跡

應急手當の甲斐で生命は取止む

犯人は確かに支那人

旅順署鮫島町派出所詰庄野文雄巡査（二三）は同日午前一時二十分頃管內巡視中大津町八番地先に差しかゝつた際突然傍らの露路から小走りに飛出した支那服の擧動不審の男を發見し誰何したところ件の男は逸早く逃走したのですかさず追跡、明治橋附近に於て追ひつき背後より組ついたところ、怪漢は身を翻へして懷中より短刀樣の兇器を以て庄野巡査の

左背部 に長さ五寸、深さ一寸五分の刺傷を負はせ尚もひるまず組伏せんとしたるに、更に第二肋骨部右胸部に與へて長さ一寸五分、深さ一寸の重傷を負はせ同巡査の少しくひるむ隙に逃走を企てた、剛氣な庄野巡査は重傷に屈せずこれを追跡し兇行場たる花月橋に追ひつめたが、二箇所の重傷より出血甚だしきため漸く歩行困難となつたので一旦追跡をやめ痛苦に惱みつゝも勇氣を鼓舞して三丁餘を距る鮫島町派出所に歸り同僚の井手巡査に事の次第をつげ、本署および各派出所に手配方を依賴、更に傷ける同巡査は井手巡査に「現場には賊の遺留品を忘れて來た、僕が取つて來やう」と云ひ井手巡査の助をかりて

現場に 到り兇漢の遺留した中古中折帽子を證據品として押收し井手巡査に手渡して關東廳病院に馳せつけ伊藤、櫻井兩醫師の手當を受けた、一方庄野巡査の急報に接した旅順署は俄に色めき立ち龍署長自ら陣頭に立ち桑村、鮫島兩警部捜査主任となり全署員武裝して非常警戒につき自動車、オートバイを飛ばせて村落派出所と連絡をとり、折柄急を聞いて全隊員をあげて應援に出動した憲兵分隊員と協力して徹宵水も洩らさぬ

警戒を したが未だに逮捕に至らず龍署長以下全署員は犯人逮捕に必死の努力を續けてゐる、

尚犯人の人相、服裝は深夜のため委しくは判らないが支那人なる事は確實で、身の丈約五尺二寸、丸顏三十歳位で現場に帽子の外短刀を包んだと覺しき古ぼけた西陣友禪の小切れと錠前破壞用に使用する素附針金を遺留してあつた、旅順署では右遺留品及現場に殘されてあつた帽子に附着せる辮髮の拔け毛、足跡等により犯人の推定捜査を行つて居る、庄野巡査の傷は手當の甲斐あつて命は取り止め得るも

全治迄 に約一ケ月を要する重傷である

尚庄野巡査は廣島縣生れで拓殖大學を卒業後兵庫縣の英語通譯をなし今年の四月關東廳巡査を拜命鐵嶺警察勤務となり七月旅順署詰になつたもので柔道四段獨身である

闇から光明の世界へ

開眼して歡喜の人々

けふ目出度く十二名退院す 無料治療の盲人

豫て恩賜財團慈惠資金に依つて關東廳と大連醫院が協力施行しつゝある盲人の無料治療は既報の如く本月初旬より金州民政署管內を手始めに大連醫院及び同金州分院に各六名宛を收容、盛博士の手に依つて夫々手術治療中であつたが

◇…その後二週日餘經過頗る宜しく昨今では二十二日朝全快退院した大連醫院收容の金州王李氏といふ六十三歳の老婆を初め、普蘭店尹谷氏（七四）大連崔馬氏（四七）貔子窩趙延俊（六三）氐學瀛（五九）郭士樸（五七）はか比較的輕症、分院收容の六名、都合十二人全部開眼、或は半開眼となつて何れも十數年來の闇の世界を脫して光明の世界に蘇り窓外の大市街に行き交ふ電車、自動車等未だ見も知らぬ色々なる文明の利器や大建築物に文字通りの驚異の眼を見張り乍ら全く蘇生の幸福を感じつゝ只管にわが聖恩の有難さに感泣し、博士や係員にも謝辭を連發物珍しさうに病院の廊下などを歩き廻つてゐる

◇…それでも初めのうちは中には手術の恐怖にかられて氣も狂ひ回るといつて騷ぐのを夫や子弟がなだめすかしやつと他人の全快を見て受療する等の滑稽なこともあつた、尚慈惠醫院では本年中更に四十三人も全部施術開眼させる筈である【寫眞は開眼に喜ぶ人々けふ大連醫院で】

常磐津勝藏師

名流演奏會出演のため けふ香港丸で來連

六代目菊五郎内の太夫として東京において今宵出しの最中である常磐津勝藏師は、來る廿七日本社後援にて歌舞伎座において開催される特別演奏會に齣を揃へるため廿二日入港香港丸で來連、檢番あたりの美しいところに迎へられ上陸したが、同師は菊五郎の推薦で立三味線となり東京大幹部合同の歌舞伎へ出て世間を驚かし、年齒まだ廿三歳だがその道の人達には天才兒と賞讚の聲の高い人である

賑々しく來連した 香港丸のお客樣

寫眞は（上）右から日活宣傳部員高橋梧郎、惠良大日活館主代理、梅村蓉子の諸氏（圓內）パラマウント神戸支社支配人田中亨平氏、（下）常磐津勝藏師

滿洲緊縮實行

標語募集締切り

豫て滿洲公私經濟緊縮委員會に於て懸賞募集中の實行標語は二十日附消印迄を受けつけ愈々締切つたが、その應募者は三百六十三人、應募標語は五千句以上に達した、委員會では直に整理して神田會長に報告し近く審査の上公表の筈で係員は整理に大童となつてゐる

奉天行の武器 積み換へて輸送

問題のドイツ汽船から

護照のない武器百五十噸を積んで來た許りに出港もならず空しく埠頭十六番バースに繫留中のリックマース號では芝罘の劉珍年宛の前記百五十噸と共に別口として奉天省々府張學良氏宛の牛莊揚百三十噸即ちベルギー、アントアープ積みの安全實包五千百九十五箱、拳銃五十箱、長銃一箱を積載してゐたが

最初の 計畫では同牛莊行も、芝罘行と共に大連で便船に積換へる筈であつたところ、芝罘揚武器が護照のないためわが官憲に阻まれ今日に至り、しかも問題は國際化し重大を告げたので奉天行のものは立派な國民政府の護照もあり筋道のたつたものであると云ふので目下龍口にある政記公司公利號の入港を待つて二十四日これに積換へ牛莊に向け積出す事と

決定を 見た、なほ目下本省に請訓中の芝罘行武器の善後處置に關しては未だに何等回答を見ない、と、しかして劉珍年宛武器の護照が發給されてゐない裏面の事情を聞くに最近劉珍年の國民政府に對する態度が曖昧になつたためらしい

日活のスタ― 梅村蓉子ら來連

「大日活」のご挨拶に 素晴しい埠頭の出迎へよ

市內活動常設館新築のトップを切つた元浪速館主長氏の招聘に應じた日活女優梅村蓉子、日活宣傳部高橋梧郎、パラマウント社神戸支社支配人田中亮平の三氏は、新館大日活の柿葺落しに滿洲の映畫ファンに挨拶すべく本日のほんこん丸にて來連したが、船中の疲れも見せず三氏交々お互の抱負を語りつゝ出迎への惠良大日活館主代理始め一同の挨拶を受けるとドッと叫び聲を上げると云ふ歡迎ぶりであつた、一行のうち田中氏は明後日離連し、高橋氏及び蓉子孃は五日間ほど滯在大日活にて挨拶をなし後陸路朝鮮經由歸洛する

滿電バス衝突し 負傷者六名を出す

バックの自動車に通路を塞がれ けさ、黑石礁にて

滿電旅大バスが二十二日朝大連に向ふ途中、黑石礁において自動車と衝突して負傷者六名を出した事件があつた、同バスは木村森市（二七）が運轉、乘客十一名を乘せて午前九時旅順を出發し同十時五分黑石礁廿二番地先きに差しかゝつたところ突然同路傍に停車して居つた市內小崗子宏濟街卅二番地高明タクシー六九號運轉手谷元榮が方向轉換のため自動車をバックせるため路上を塞いだので遂に側面衝突をなし車輪が喰入つたまゝ約十八米突を進行して漸く停車したが、乘り合せて居つた乘客旅順乃木町中村きく（五七）は硝子の破片にて顏面に治療二十日間を要する重傷を負ひ、沙河口德昌公司員于有德（二三）及び大汽船員高島助次郎（三〇）車掌郭玉成（一七）運轉手二名もそれ〴〵打撲その他の負傷を受けて直ちに大連醫院に收容した、急報により沙河口署では豐増司法主任係官と共に現場に赴き實地檢證を行つたが、損害程度不明なるも滿電側の被害は甚大の模樣である

馬賊五名を逮捕す

盧家屯驛で

【熊岳城特電二十二日發】馬賊三十名二十一日午前九時當地の北方十支里姚家屯で支那官憲と交戰の末北方に逃走したとの報あり、我が警察及び守備隊では驛前を警戒せるに賊五名盧家屯驛に現はれ乘車せんとするを警官驛員協力して逮捕瓦房店に向け護送した賊の所持品はモーゼル拳銃七挺彈丸百發

滿鐵劍道昇段 試驗合格者

滿鐵運動會劍道部にては本月三、四、十七日の三日間に亘り奉天、長春、大連にて劍道昇段試驗を施行したが、昇段者左の如く決定した（受驗者七十六名、內合格者三十九名）

西正次、中川清、姬野虎彥、德永齊（遼陽）山崎滿夫、鷹村竹夫（鞍山）是枝照彥、松田忠、水上留夫（撫順）大串馨（奉天）阿部正勝、柏原誠一、神崎邦治、片山勝衞（長春）山崎保之亟、楠木正豐（吉林）高野義行、石川鑑雄（公主嶺）坂本五郎（大連）以上一段に昇段＝山脇菊次郎（遼陽）德森基雄（撫順）藤田新吉、吉田文雄（長 ）河梅吉、田島岱壽（吉林）八本正平、關與志雄、板場修（大連）＝以上二段に昇段＝篤澤正敏（奉天）海老名五郎（撫順）篠原清一郎、大園春次、只熊猛（大連）＝以上三段に昇段＝竹下榮治、山口安男、小島圭、熊谷政之（大連）黑岩殷高（安東）宮崎恒松（鐵嶺）＝以上四段に昇段＝

假裝舞踏會

山縣通りボンベイ、ヴァレーで廿三、廿四日の兩日假裝舞踏會を開催す

コスト機出發地着

【ルブルージェ二十一日發電】長距離無着陸飛行に新記錄を作つたコスト氏は本日午前十一時三十分當地に歸着した

滿洲醫科大學氷滑部の ヨーロッパ遠征基金募集

交響樂演奏會開催

滿洲醫大音樂部出演

日時　十一月二十三日（土曜）午後六時半

場所　滿鐵協和會館（入場料一般一圓五十錢、學生五十錢）

主催　滿洲醫大同窓會

後援　滿鐵音樂會　大連音樂學校　滿洲體育協會　滿洲日報社

憧れの スターを取り囲んて居た、巷間傳へられて居た所の澤田淸、夏川靜江の來連を見なかつた事はファンにとつて非常な淋しさではあつたが、それでも九時頃より埠頭待合所に押しかけて居た多數のファンは馴染深い

台所メモ

鯛	百匁	一、〇〇	一、六〇
生	同	六〇	一五〇
ぶり	同	一五	｜
ほぼ	同	二五	一〇
たら	同	｜	一〇五
いか	同	三五	一一五
たこ	同	三五	一一五
ぐち	同	一〇	〇八
ひらめ	同	一〇	〇五
すき	同	一五	〇八

保險料値上げ延期は絶望
二月二十日以後の猶豫は會社側讓歩せず

滿洲特產物に對する內地有力海上保險會社の保險率二割方の引上げに關しては東京特產協會の努力により二月二十日迄猶豫に決定したるも滿洲重要物產組合では三月積輸出約定大半を占むる事情に鑑みすくとも更に三月末日迄猶豫すべきよう去る十四日特產協會に對し依賴する所あり鶴首して吉報を待つてゐたが聯合會の希望は遂に容れられず、二十一日夜左の如く特產協會の返電あり、結局周圍の事情よりみるも二月二十日以後迄の猶豫は絶望となつた、即ち

貴電によりせめて二月末日迄なりと猶豫せしむべきよう種々交涉を續けたるに十三社では二十日最後の總會に於て拒絶に決したるを以て遺憾ながら此れ以上の努力の方法なしと

解禁に直面し金融界警戒
年末資金も引締らう

資金移動繁忙期に直面せる當地金融界は金解禁期日の確定により異常の緊張を示して來た、即ち先物取引の爲替取組に對しては早くも警戒が加へられると同時に商品擔保の貸出も引締めつゝあり出廻り繁忙期に際して特產界には多大の影響があるものと見られる、殊に解禁後輸出不振を招來し商品價格の暴落は免れずとなし勞々內地金利が引締れば滿洲金利も之に追隨し資金の不圓滑を招來するにあらざるやと見られてゐるが兎も角昨今金融業者の態度が急に警戒的になつて來たことは注目すべきである、なほ金解禁に伴ふ銀市場も不振と昨今の銀暴落によつて華商方面に可成痛手を蒙つてゐる者も尠からぬ模樣で年末資金は一層警戒されるであらう

クレヂツト設定と米新聞の論調
存外少額に驚く

【ニューヨーク二十一日發電】日本の金解禁準備のため設定せるクレジツトに關し本日の各新聞は左の如き批評を試みた

タイムス紙　日本政府は今回設定せるクレヂツトを適當に調節し日本產業界を立て直し始める事が出來るであらう然して英米に於いて設定を見たる此のクレヂツトも全く日本政府が鞏固なる經濟狀態にある結果に基くものである

ヘラルドトリビューン紙　當地財界では日本が今回設定せるクレジツトが案外少額である事に寧ろ驚くものであるが消息に通ぜる銀行業者の語る處に依ればクレジツトは主として今後日本の圓價の低落を企てるが如き投機的關係が生じたる場合に爲替關係を鞏固に保證するが爲めに役立たせるのが其の主なる目的である

紐育アメリカン紙　當地銀行界に於て諒解する處に依れば日本大藏當局は日本が外國のクレヂツト援助を必要とせずして金本位制に復歸する能力を有する事を確信してゐる夫れがため今回のクレジツトは全然彼の聯合國諸政府が自國財界の安定のためクレジツトを設定したると同樣なる準備保證の性質のものと考へられる

ジヤーナル、コムマース紙　當地銀行界の觀測では米國財閥では日本の爲に、より多額のクレジツト設定に應ずる意嚮を有してゐたが日本當局はより多額のクレジツト設定を不必要なりとしたものである

北滿進出のドイツ商品
三年度の輸入は一千萬圓に上る

◇歐州大戰前の北滿――ハルビン市場は露人によつて開拓され商品の大部分はロシヤ物であつた、然し其の製品はロシヤ內に於けるドイツ技師によつて大多數は成つたものでロシアを通じてドイツの實質的活躍が行はれてゐたものである現に當地の油房、製粉、電氣會社業務機械、材料等はドイツ製品が占めてゐる――夫れがロシアの革命と歐州大戰の總熄で本場のドイツ商品の市場獲得の擴張に着々其の勢力を加へて來た、現在ハルビンに於けるドイツの代表的商會は

營業	商會名
輸入商	ミーリマン
同	クンストアルベス
綿織物	ベンチング
機械金物	ウイスネル
貿易商	獨亞
電氣器具	シユツケルト
輸入	フリステアン
紙雜貨	ツウールマン

の大體あり、其他二、三の小ドイツ商店あるが、昭和三年度の輸入總額は約一千萬圓と推定されてゐる、今左に他國との輸入を比較すると（單位千圓）

國名	輸入額
日本	六三、五一六
英國	二七、五二三
米國	二五、四〇六
佛國	六、三五一
獨逸	八、四六八
ロシヤ	六、三五一
支那	三三、八七五

品名	輸入額
毛織物	五百萬圓
毛糸	百卅萬圓
麻製「ホース」	十萬圓
文房具	百廿萬圓
人絹織物	
釘	
硝子器	
陶磁器	
アルミニユーム	
針金	
ワイヤロープ	
鐵板	

▲備考「ト」印の分にして「其他」の内に包含せしめたる

日本の金本位回復を英國商人は歡迎
英財政專門家の發表

【ロンドン二十一日發電】イヴニングスタンダード新聞紙上にて財政專門家の發表せる處では日本と取引ある英吉利商人は日本の金本位回復を歡迎するであらう、何故ならば金解禁を控へて最近圓爲替が急速に騰貴したことは當業者側に若干不安の念を惹起してゐたことを示すものであつたからである

と云つて居る

英蘭銀行利下げ
六分から五分半に

【ロンドン二十一日發電】イングランド銀行は割引率を五厘引き下げ六分より五分五厘に改訂した尙最近に於ける同行公定割引步合變動左の如し

一九二七年四月廿一日	四分五厘
一九二九年二月七日	五分五厘
同　九月廿六日	六分五厘
同　十月三十一日	六分
同　十一月二十一日	五分五厘

愛蘭中央銀行

【ダブリン二十一日發電】アイルランド自由國中央銀行は其の金利を五厘引下げ六分とした

諾威中央銀行

【オスロー廿一日發電】ノールウエー中央銀行は其の金利を六分より五厘引き下げ五分五厘と本日改訂した

世界主要國の中央銀行金利

十一月二十二日現在に於ける世界主要國中央銀行の公定割引步は左の通りである

銀行	金利
日本銀行	五分四八
紐育準備銀行	四分五厘
英蘭銀行	五分五厘
佛蘭西銀行	三分五厘
獨逸國立銀行	七分
白耳義國立銀行	四分五厘
伊太利銀行	七分
和蘭銀行	五分
瑞典銀行	五分五厘
丁抹國立銀行	五分五厘
諾威國立銀行	六分
洪牙利國立銀行	八分
墺地利國立銀行	八分五厘
ブルガリヤ銀行	一割
波蘭國立銀行	八分五厘
印度帝國銀行	六分
南阿準備銀行	六分

朝鮮總督府金銀解禁令
けふ公布さる

【京城特電二十二日發】齋藤朝鮮總督は二十二日正午府令第百號を以て左の如く發令した

一、大正六年朝鮮總督府令第六十五號（金銀貨幣又は金銀地金の輸出に關する件）

一、大正七年朝鮮總督府令第八十五號（金若くは銀を主たる材料とする製品等の輸出に關する件

以上これを廢止す

附則　本令は昭和五年一月十一日よりこれを施行す

東支沿線穀物主要驛在貨（十一月十五日現在單位噸）

生產費を標準に米價基準を設定
米調小委員會で決定

【東京廿二日發電】米穀調查會特別委員會小委員會は廿一日午後一時半より首相官邸に開會、米價調節基準設定案を議題とし生產費標準設と物價指數標準設につき論議を重ねた結果生產費標準に依り米價基準を設定するに決した、次で米穀特別會計損失金を一般會計に移す案の討議に入り米穀法の根本的立直しを爲す際なるを以て過去一切の損失を一般會計に移し根本的整理を行ふべしとて原案を可決し四時散會した

米穀問題諮問案決定
農林省議で

【東京二十二日發電】農林省では二十二日午後四時より開かれる米穀委員會に附議すべき諮問案につき省議を開き協議の結果左の如く決定した

一、第二回收穫豫想と昭和四年度に於ける米穀需給狀況の報告

二、政府所有の大正十五年產米並に昭和二年產米中三十五萬石乃至四十萬石を新米出廻期（十二月下旬より一月上旬）に於て買替を實施し新米の買上は拂下と同數量を同時に行ふこと

三、外米輸入制限令施行期間は本年十二月末日を以て滿了するにつき之を更に一年間延長する事

四、去る十月中に實施せる十五萬石拂下に對する同數量の買上は適當な時期に於て之を實行すること

正金更に建値引上
四八弗四分三

【橫濱廿二日發電】金解禁好評を受けて正金銀行は廿二日午前對米建値四十八弗四分三に對英建値二志に引あげ、其の他も之に從つて改訂、對米電信賣四八弗四分の一、對英電信賣二志丁度とした

對歐運賃
著しく惡化

米國株界の暴落、歐洲の大豆相場の軟弱と惡材料の續出により折角露支紛爭を機として近物は二十八九志、先物は三十志を突破せん勢ひにあつた對歐海運市況は著るしく惡化し、加ふるにドイツ船舶の躍進によつて五、六志方の低落を來し目下の市況は平均二十三、四志を唱ふに至つた、即ちドイツ船の如きは代理店を有する關係上一會社は、手數料收入の增大を圖るべく標準運賃を無視して十九志の契約をなしたと言はれてゐる、然しながら運賃市況の軟弱も之を以て底値とすべく、特產出廻りの活潑、諸事情の好轉により漸次反撥の機運に向ひ郵船は依然二十五、六志で維持してゐる模樣である

銀市の癌
コキと違反行爲近く撲滅

錢鈔大取組
玉整理進捗

黄塵

市況

特產
人氣添はず一般平調

錢鈔
材料區々で鈔票保合

商品

株式
新東低落に五品低迷

市場電報

東京株式

大阪株式

東京期米

大阪期米

大阪綿糸

大阪棉花

橫濱生糸

神戶豆粕

印度麻袋

奧地市況

銀

豆

株

上海爲替情報

爲替相場

平安異香 (177)

葉多默太郎作　中一彌畫

戀の行方（四）

幸の輿へ、だしぬけに飛かゝつてしがみついた男──

「何だ、手前は！」

梶取の九右衛門は刀を掴んだ。

「何だ、此奴！何をしやがるんだ」

輿を擔いだ舁子が蹴つた。

だが男は狂氣のやうに縋りついて離れない。

「待つてくれ、待つてくれ、待つてくれ、幸殿」

「えッ」

と乗物の幸、はつとなつて男を見た。

伸びるにまかせた髪と髭──日にやけた顔──窶んできらきら光る眼──まだ若さうな肩恰好──憶えがない。

「どなたです、どなたです。人違ひでございませんか」

「幸殿、わしだよく、この、この顔をよく見てくれ」

眼と、顔をじつと視て──

「あ、あなたは…」

幸が叫ぶと、その手にしがみついて、

「分つてくれた、分つてくれた」

はらはらと男の涙だつた。

「チッ、何をやつてやがるんだい。唐突に飛出して來やがつてめそめそ泣きやがつて」

男の肩へ手をかけてぐつと引くと、よろよろとよろけかゝつて、此度はそのまゝ九右衛門に縋りつき、

「この女をどうぞ返して下さい、この人を」

「テヘ、何を云つてやがるんだ。この女には大枚の金がかゝつてゐるんだ」

「金ならこゝにある。これをやるから貰つてくれ」

懐中から探り出した金袋、九右門の掌に踊らせると、ずしりと重い。

が、九右衛門がとりあげる筈はない。男を突き飛ばすと同時に叱きつける。

「こんな端た金が、なにゝなるんだ」

「金、金なら欲しいだけくれてやる」

「大きなことを云やがる。まあ御免だ」

「待つてくれ」

行きかける乗物に縋りつくと、

「狂人めら！」

九右衛門が男の腰を足蹴にかけた。

男はよろめく──纔に、轅を滑つて落ちかけた刄が、何時しか男の手に握られてゐて、次の瞬間、

「うわ！」

と九右衛門の絶叫だつた。

「あッ」

といつて、それへくよつの陣十郎が馳せつけて、仆れかゝつた九右衛門を抱きとめた。

おつねが飛んで來て、

「お待ちよ」

と、男の太刀を持つた腕にしがみつく。

「無暴してはいけない──あ、それより早くお逃げなくく。相手が悪い、酷い目にあふよ、ひどい目に」

顔へ顔を摺りつけるやうにして男の耳へ吹きこんでゐたおつね、ふと瞠目して

「あ、あなたは──」

といつて、まともに男を凝視した。

男も泥のやうに混亂した注意を集めておつねを觀た。

そして二三瞬──

男が悲しさうな眼をしたかと思ふと、低く、かすれた聲がその唇から吐息のやうに洩れた。

「お前は、おつね……」

「變つたお姿に……どうなさつたのでございます」

「やい」

と陣十郎の手が男に伸びた。

「お待ち、親方──」

その腕をさへぎつて、おつねは陣十郎の耳へ背伸びして囁いた。

「親方、この人はお前さん、勸修寺様の一人息子だよ、邦貞様といつて」

「なんだと──?」

陣十郎の眼が、妖しい光に耀いた。

「勸修寺──検非違使のか」

「えゝ、さうなんだよ、この人が……」

期待される常磐津 操會主催の演奏會近づく

大連常磐津操會主催の常磐津演奏會が本社後援の下に來る廿七日夜市內歌舞伎座に於て華々しく開催されるが、出演者は大連常磐津界未曾有の名寶俱に充實した顏觸れで大いに期待されてゐる即ち出演者は菊五郎門の常磐津操太夫同美太夫同美春太夫、三味線常磐津勝藏、同正榮に立方は花柳輔太郎門の名取花柳輔葉及び花柳壽々若でその他大連檢番の松司、とめ、せん、とし松、小花、小新、一葉、一光、玉吉、お里が應援出演することゝなり連日操太夫の指導で熱心に練習を勵んでゐる

上品な支那人向 歡樂場を計畫

支那動亂毎に失脚した支那の前文武百官は安住の地を大連に求めて續々避難し老虎灘街道並に星ヶ浦黒石礁附近に宏壯な住宅を求め悠々自適の餘生を送つてゐるが、彼等を滿足さすべき何ものゝ娯樂機關もないので、文化都市を誇る大連として頗る遺憾とされてゐたが、之れに着目した工藤鐵三郎氏は等日內各方面の實業家を歷訪、その賛同を得て小崗子露店市場の西方空地の拂下げを運動し劇場、活動寫眞館、錢湯、茶館、妓館等を建築し上品な支那人向きの一大歡樂場を建設すべく目下各關係筋に奔走中である

◇◇今年竹◇◇

蒲田撮影所超特作映畫 里見弴原作、重宗務監督、栗島すみ子、岩田祐吉ら演

噂話

しばしば來連を傳へられてゐたパラマウントの田中亮平氏が▲廿二日入港の香港丸で梅村蓉子一行と同船で來連▲旅順の所謂五人組が建築許可を願ひ出てゐた新映畫館もいよいよ許可の方針らしく廿日に旅順署から出張して原田保安主任と今井前警官の案內で大日活と連鎖商店街の映畫館を視察▲大日活は廿三日から一週間新築記念興行の入場者には洩れなく日活時報を贈呈する外毎日先着者五百名づゝに「修羅城」の片桐且元に扮した大河內傳次郎の似顔人形を贈呈すると▲また正月興行を控へて流言蜚語が盛んに傳へられてゐるが、何處までが眞やら嘘やら

滿洲日報

婦女界サラリーマン物語号

十二月号

重役級から見た俸給生活者座談會

學生諸君!! 就職運動の前に、先づ一讀下さい。

この座談會を精讀すると、成功するにはこの覺悟、この心掛、この熱誠、この努力が、今日の地位を築いてゐるのだといふことが分ります。就職難、生活難が、今日のサラリーマンを臆病にしてゐます。併しこの記事は、どなたにも、生活の安定と將來の希望のヒントを與へます。ご精讀下さい!!

- 王子製紙株式會社常務取締役 井上憲一
- 共同印刷社長 大橋光吉
- 森永製菓專務 松崎半三郎
- 三越常務取締役 北田內藏司
- 鈴木商店代表者 鈴木小松
- 婦女界社長 都河竜
- 同編輯長 太田菊子
- 同營業部長 金綱弥

中心問題

1. 今のサラリーマン氣質
2. 私のサラリーマン時代
3. 私の社の社員採用方針
4. 出世する人しない人
5. 俸給生活者と結婚問題
6. 夫を通して見た家庭
7. 俸給生活者夫妻への希望

サラリーマンからも、こうして成功できる!!

迷信に關する實話

誰にも話す話

世を迷はす迷信の爲にどんなに人々は難渋してゐるでせう。實例四篇を富士川博士の批評付きで掲げました。泥棒さ夫とを間違へた話など始め、人を泣かせる話、感嘆させる話、笑はせる話など面白い實話五篇

愛讀者のサラリーマン座談會 誌上

月收廿五圓から二百八十圓までのサラリーマンの告白です。その抱負と希望、生活の標準、洋服の新調費、ボーナスと借金、夫婦相互の注文など、サラリーマンの成功と安定秘訣を公開!! サラリーマン夫婦は勿論、學校出のお子さんや婚期を控へた娘さんを持つ親方は、必讀下さい。

當世奥様秘話

今賣出しのスポーツアナウンサー松內氏の結婚秘話、一年に二三度しか顏を合せない船員の夫婦物語、又緊縮內閣の大番頭井上準之助氏の奥様物語等赤裸々な話

人生に疲れし男女の群 戸川秋骨

樂壇の彗星 關屋敏子嬢 (民部千代子)

工場に働く婦人たち T生

私の初任給時代

今は世にときめく人、人に羨やまれる人も、昔は一介の腰弁でした。その思ひ出深い昔話を、初めて世に公開されました

- ●夫の初給を語る安達內相夫人
- ●菊池寛氏も初給はタツタ廿五円
- ●半額を天引貯金した竹內茂代氏
- ●大臣の懐刀吉武氏の初任給時代
- ●死を決した事もある高島華宵氏

思ひの叶つた話

日頃の思ひが叶つた目出度い話、うれしい話!! その話のかげに潜む努力さ苦心、見逃しなき様に!! 一方は…

- ●スポーツマンと結婚した私
- ●自分の力で建築費二千円貯蓄
- ●波濤を越えて二年後に結婚して
- ●三度目で文官普通試験に合格
- ●二重の思ひが叶へられた私

サラリーマンと初産費の問題

月收の少ないサラリーマンは、人の世話にならずに、どうして初産の費用を作つたらいいか――それを教へたのがこの記事です。結婚費、賞與の利用法、又、月給、派出婦の方が、産婆、手傳人、お宮詣りなど全部百円の余で済ました實例など、俸給生活者の必讀記事です!!

サラリーマンと月賦買ひの研究

信用ある店から月賦買ひする程サラリーマンにさつて便利なことはありません。家庭の家財道具を安心して揃へられます。その信用ある店の選び方、箪笥の買ひ方、座敷用ちやぶ台の買ひ方、絨毯の買ひ方、月賦賣りのせり賣服物の注意など、新家庭のご夫婦や婚期を控へた娘さんの必讀記事

赤ちやんの誌上健康診斷

可愛い赤ちやんの爲に、小兒科の權威竹內博士の誌上診察!! 赤ちやんの陥り易い狀態十五を掲げて、どんな辺鄙な田舎へでも、誌上をもつて竹內博士が往診下さいます。この機會に、どなたも赤ちやんをご丈夫に、病氣も診察は無料!! 今からひ下さい!!

醫學博士 竹內薫兵述

- ▼三店三様のスキ焼秘訣 (東京會館、三河屋、松喜)
- ▼冬の夜の即席一品料理 ひさの子
- ▼温くて乙な料理五種公開 渡邊りん子
- ▼安くて体裁のよい鮭料理 婦人記者
- ▼お子様向のお菓子類數種 高橋須磨子
- ▼障子の張り方と疊表の話 田中銀次郎
- ▼腦溢血とマツサージ療法 野地繁久
- ▼多い流早産の豫防と手當 福井醫學博士
- ▼万人向の簡易な美顔術 メイ・牛山

母 菊池寛

母性愛だけを母に押しつけることは、しばらくお待ち下さい。母は同時に又一人の女性である――未亡人になつた二人の子の母が、ゆくりなくも巡り合つた廿年前の少女時代の戀人、再燃した戀のやるせなさ、又子供に対する責任感、果して彼女は如何なる道を選んだでせうか…(作者近来の傑作)

- ●誰の愛 (長篇小說) 細田源吉
- ●自畫像 (長篇小說) 藤原義江
- ●愛の獵人 (長篇小說) 福田正夫
- ●暴風雨の夜 (實話小說) 古川實
- ●池水莊綺譚 (懸賞小說) 甲賀三郎
- ●松尾多勢子 (長篇小說) 大倉桃郎
- ●淀君 (長篇小說) 三上於菟吉

冬のお支度記事滿載!!

婦女界の實用化時代來る――流行の服飾衣類も家庭にスグ應用できます。今年の冬は婦女界で温く健かに暮しませう!!

- ●男女兒スエーターと帽子 (山田絵子)
- ●男子用の防寒編物 (金子夏子)
- ●女學生に流行のパルトー (三浦せつ子)
- ●男女兒共用の外套と帽子 (千葉讓子)
- ●クリスマス贈物用の玩具 (島早月)

上は三浦せつ子氏考案のパルトー。下は山田松子氏考案のスエーター

●流行型のコートとポントンコート

コートを新調なさる前に、是非この記事をご覧下さい。慌てゝ買物して後悔なさらないで下さい!!

- ●氣の利いた暖房用具
- ●盗難よけと火の用心
- ●番犬の種類と飼ひ方

冬の流行界だより

男物和服界普請の流行、あかね會服を見るの記、毛皮の有看の買ひ方など詳細紹介 瑠璃子

織物界の女王縮緬の産地と種類

縮緬の歴史、丹後縮緬、五大産地、長濱縮緬、工場視察記、流行の變り縮緬のいろ 岩崎眞吉 瑠璃子

價五十錢 (送料三錢) ●半年分三圓廿錢 ●一年分六圓廿錢 ●東京丸ビル三五五 ●振替東京二九三七 婦女界社

奉露協定に基き交涉開始を提議
呂、蔡兩氏の手で準備に着手、交涉地は多分哈爾賓

【奉天特電二十二日發】支那側の情報に依れば先に呂榮寰、蔡運升張作相氏等は張學良氏と東鐵問題につき協議を遂げた結果奉天派を主體として交涉を開始する事になり現狀を維持すれば東北四省は益々財政逼迫の窮地に陷るので奉天側は止むなく讓步し奉露協定に基いて支那側より勞農政府に對し交涉開始の提議をなす事に意見一致し呂榮寰、蔡運升兩氏は再び此程協議し目下其準備中で交涉地は多分ハルビンにならうと

滿洲里との連絡に自動車決死隊編成
士氣振はず前進せず

【ハルビン特電二十二日發】萬福麟氏は自動車決死隊を編成し滿洲里との連絡に向はしめ第十四旅はツアガンに出動したが士氣振はず逃亡兵多くして前進するものなく札來諾爾方面赤軍の手にありといふも不明である、第十七旅長は戰死せりとの說あり、札來諾爾の住民約二千は炭礦に逃れ生死不明である

滿洲里を露軍占領か

【ハルビン二十二日發電】海拉爾よりの電信に依れば露軍は滿洲里を占領したらしく二十一日滿洲里方面の陣地を放棄し後退した支那軍は札來諾爾方面で露軍に包圍されてゐるもの丶如くであると

黑河方面の大混亂
住民陸續避難

【ハルビン廿二日發電】東西兩國境における露軍の積極行動傳はるや黑河地方は結氷と共に露軍が大擧して黑河市を襲擊すべしとの說專らにして住民は極度に不安の念にかられて避難民續出しつゝあり、一時地方より避難し來れる者を合して八千餘となつたが今日では二千人足らずに減少した、邦人も既に五名引揚げ去る十八日には邦人婦人十一名又新たに陸路チ、ハルへ向ひ避難したといふ狀態にあるが目下黑河及璦琿附近に駐屯する支那兵は僅に一千餘名に過ぎず到底露軍の侵入を防止すべく望みなく加ふるに數日前新たに對岸ブラゴエチエンスクに二千の露騎兵隊增加されたりとの報告ありたる爲め黑河商務會では萬福麟及張學良兩氏に對し增兵の要求をした、然し此增兵が果して實現するや否や疑問にて住民は何れも避難の準備に忙殺されてゐる

依然として消息不明
滿洲里の邦人

【ハルビン廿二日發電】露軍の滿洲里保障占領說につき我が總領事館は十七日以來滿洲里通信杜絶、同地邦人の安否につき支那軍部に照會中だが何等の回答なし、露軍滿洲里に侵入し危險を感ずれば田中領事以下邦人二百名は露領に避難するだらうが消息依然不明なので困つてゐると稱してゐる

軍縮準備會
陸軍側の意見を聽取
きのふ首相官邸で開會

【東京廿二日發電】軍縮會議準備第一會は廿二日午前十時より首相官邸に開會、若槻、財部兩全權、川崎、山川氏等隨員海軍より左近司、堀氏以下專門委員、外務省より齋藤部長以下出席又陸軍よりも特に杉山軍務局長、畑部長その他を招致し特に空軍問題につき陸軍側の意見を聽取した、全權は之れで外務陸海軍大藏の各方面の意見を一通り聽取したので本日午後一時から全權は外務海軍と最後の打合せをなす筈である

某重大疑獄事件
檢擧打切りの命令說否認
渡邊司法大臣談

【東京二十二日發電】渡邊法相は二十二日議會で野黨方面で問題視してゐる某疑獄事件檢擧打切命令說を否認し左の如く述べた

政府が檢擧打切を命じたと云ふ事實は全くない又司法省刑事局が水戸で某の起訴保留を決定電命したと云ふのも誣妄である、而して某の起訴されたるは余が水戸を去り東北旅行中に決定した事で余の關知せざる處である、若し司法大臣が檢擧打切を命じたとすれば斯る事はない筈で之で見ても檢擧打切說は誣妄な譯である從つて檢事の檢擧打切り反對もある筈はない

某閣僚の罪狀明白か
司法部緊張す

【東京廿二日發電】廿二日正午小山檢事總長は三木檢事正、塩野檢事正、矢追大審院次席檢事等を總長室に招致し何事か議を凝らし一方松阪檢事は司法省に小原次官を訪ひ疑獄取調べの結果について詳細な報告をなすと共に今後の打合せをなし頗る緊張した空氣を示して居るが某疑獄事件の取調べ進展し問題の某閣僚に對する罪狀愈々明白となりこれが證據も決定のため協議を重ねて居るものである檢事局には最近司法權神聖を守れとの電報續々と舞込み檢事連を亢奮せて居る

倉富樞相の首相訪問
注目される

【東京二十二日發電】倉富樞相は二十二日午後一時半首相官邸裏門から濱口首相を訪問し懇談を遂げた政府筋では右會見を單に顧問官親任式奏請についての要務といつてゐるが、最近樞府方面にて某疑獄事件につき兎角の非難ある若槻全權が國際會議に全權たるは帝國の威信に關する重大問題であると意見あるに鑑み婉曲に注意を喚起したものと觀られる樞相辭去後濱口首相は午後二時五十分急遽參內天機を奉伺すると共に顧問官親任式御擧行を奏請したが、一旦退下し鈴木侍從長と懇談し午後四時半親任式に侍立して退下した

政府側の辯明

【東京廿二日發電】倉富樞相の濱口首相訪問は若槻全權問題につき御下問があつたゝめと傳ふる者があるが政府側は右につき左の如く辯明してゐる

倉富樞相は閣議開會中に首相に會見を申込んで來た、樞相の訪問につき若槻全權に關する御下問があつたゝめと云ふ者もあるが手續上よりするも樞相に御下問があるはずなく又樞相が若槻全權の進退につき勸告したと云ふ者もあるが、然らば內閣全體の問題で政府の致命傷となるべきものであるから倉富樞相がさる重大勸告をするはずはない

閣議で報告

【東京二十二日發電】幣原外相、財部海相は軍縮會議對策準備につき二十二日閣議に於て

全權の準備も大體本日中に終了する筈であるが、全權に對する訓令案は目下海軍、外務兩省で協議中であるから近く閣議に諮つて決定したい

と報告した

海相渡歐中は首相事務管掌

【東京二十二日發電】財部海相渡歐中海軍大臣事務管理は先例に依り濱口首相に於て管掌される事となり明二十三日官報を以て左の如く發令される筈

內閣總理大臣　濱口雄幸
倫敦海軍會議全權委員海軍大臣財部彪出張中海軍大臣事務管理を命ず

安保大將任命

【東京廿二日發電】海軍々縮會議顧問安保淸種大將は改めて二十二日顧問に任命された

海軍大將男爵　安保淸種
倫敦海軍會議に於ける帝國全權委員顧問仰せ付けらる

右は米國が全權十顧問二を擁してゐるのを始め各國とも多數の全權顧問を派遣する對抗上顧問を增員したものであるが場合に依りては同大將は全權に任命さるゝやも知れない

英の妥協に對し松平大使へ回訓
海、外兩省協議の上

【東京二十二日發電】海軍省山梨次官堀軍務局長は二十一日午後四時外務省に幣原外相を訪ひ吉田次官、堀田條約局長を交へて約二時間餘重要協議をなしたが右は松平大使に發すべき日英豫備交涉に關する重要訓令につき審議したもので我對米七割要求に英國側に難色あり英國側は十六日の第三次會見に妥協案を提出し松平大使より之につき請訓する處あり、之に對する方針を審議したるものと見られる二十二日の閣議で幣原外相より審議の結果を說明して審議決定の上直ちに松平大使に訓電を發せらるゝ筈

中央軍の形勢不利に兩廣に危機迫る
現廣西の將領再び寢返つて愈よ張軍入廣近し

【北平特電二十二日發】當地の確實なる筋への入電によれば曩に廣西派から脫退して中央軍に歸順した呂煥炎、楊騰輝氏等の現廣西將領は河南、湖北方面における戰況が政府軍に利あらず北方の大勢が蔣介石氏に非なるに鑑み中央を離れて再び舊廣西派の團結に歸參することに決し去る十五日保境安民を宣布し昌慶の芝桂軍の後方司令部を襲擊して武裝解除を斷行した、之がため陳濟棠氏は十五日梧州から廣東に撤退し李宗仁氏が再び廣西省政府の實權を握るに至つた、又張發奎氏が湖北で反蔣の旗揚げをなし廣東歸來の途に上つた時は其兵力一萬數千に過ぎなかつたが、途中雜色軍や土匪軍を編入して今や其兵力は三、四萬に增加し廣東に侵入を企て其先鋒は既に廣東省內の韶州に達してゐる、全軍の廣東入はこゝ二週間後のことであると信ぜられてゐる、李宗仁、張發奎氏等の運動は差當り汪精衛氏を迎へて兩廣の臨時政府を組織し遙かに西北軍に聲援せんとするものであつて陳濟棠氏も此運動に參加してゐるもの丶如く蔣介石氏直系の現廣東省政府主席陳銘樞氏は既に逃げ仕度にかゝつてゐる有樣で、而も中央は河南、湖北の西北軍を引受けるだけでも兵力不足を感じ曩に蔣介石氏が第三、第八の兩師を海陸兩廣に應援せしめたやうな餘裕は全然無いから今度は成行に任せる外無かるべく蔣介石氏にとつては北方の戰爭より以上に兩廣の大變化が重大化したものと一般に觀てゐる

洛陽方面にて蔣軍優勢說
西北軍は臨汝で交戰中

【北平特電二十一日發】中央軍が一登封を占領したと頻りに宣傳して居るが、當地の確實なる筋では恐らく事實ではあるまいと觀られてゐる、登封は地形上の要點であり且つ西北軍の本陣であるから若し之を中央軍に奪取されゝば戰略、士氣兩方面から西北軍に重大打擊であつて西北軍は洛陽方面に總退却せざるを得ないことになるべきであるが、事實は斯かる模樣なく西北軍は登封の南方臨汝で今尚奮戰中である、且つ舊方振武部下の師團が西北軍に寢返つたことが證明せられた爲あつて隴海線方面の戰況が決定的に中央軍に有利に轉換したといふ說は一般に南側の宣傳として信用されてゐない、然し大體において中央軍が一時の頽勢を盛返した形勢にあるもの丶如くである

廣東戰局の對策を講ず
蔣介石氏が

【上海二十二日發電】廣東の戰局に備ふるため蔣介石は招商局汽船十五隻を徵發南京に廻送を命じた右は第八第三兩師を廣東に派遣する爲めで先發隊は三日以內に汽船五隻に分乘南下する筈である

孫良誠氏懷柔さる
西北軍は退却

【東京二十二日發電】當地某方面への情報に依れば蔣介石氏の孫良誠氏懷柔策效を奏し洛陽は十九日中央軍の手に歸したと、東部戰線は中央軍極めて有利で西北軍は潰れてゐる

河南戰況は形勢急轉
政府側の消息

【北平二十二日發電】國民政府側消息に依れば河南の戰局は左の如く政府軍の絕對有利に急轉した

一、政府軍は十六日登封、二十日洛陽を占領し、隴海線は新安以東西北軍は一兵をも止めず
二、河南戰開始以來西北軍の捕虜五千、小銃三萬三千餘挺、大砲三百門、機關銃二百二十挺、彈丸二百六十萬發軍輛二百十を鹵獲南京に輸送中
三、此の好轉は孫良誠、買收に成功したゝめである
四、今や西北軍全體を通じ分解作用起りつゝあり

張發奎軍英德に進出

【香港廿一日發電】廣東軍は强力なる反政府軍に押れて省境を撤退し目下各種の配備を行つてゐるが張發奎氏は既に英德附近に迫つた、倘陳濟棠氏が其直系である三個師を淸遠を中心として召集したるは寢返りの下準備にあらずやと疑はれてゐる

奉天宮殿參觀の仙石總裁

奉天派の灰色に蔣介石氏憤慨す
腹癒せに武器の材料を抑留

【奉天廿二日發電】國民政府に於ては今次の反蔣運動に對し張學良氏が不卽不離極めて曖昧の態度を執り積極的に蔣介石氏援助に出でざるに憤慨したる結果其腹癒せとして目下東北政府が對露抗爭により多數の武器彈藥を要するを奇貨とし各稅關に命じ奉天兵工廠に入るべき兵彈藥の材料を抑留せしめた、而して其最も大なるは營口にて約一ヶ月前より同地に到着せる外國よりの購入材料全部四百車に達してゐる、それがため奉天兵工廠にては全く材料に窮し既に一部の事業は休止の止むなきに至り此儘一ヶ月を經過すれば各料とも材料缺乏して由々しき問題を惹起する狀態となつた、よつて奉天當局は最に南京に代表を派し右抑留材料の解決方を交涉したるも其代償として國民政府側より武器彈藥の供給を要求したその額餘りに過大なるため時節柄之に應ずる能はずまた別に納入商人をして納稅の上引取り方を直接稅關に交涉させたが稅關に於ては稅金關係でなく兵器として輸入せしめずとて之を拒絕したので今は全く施す術なき狀態となり奉天當局も之には少からず閉口し目下頻りに善後策に腐心してゐると

通貨政策を支持
東京銀行團が申合

【東京二十二日發電】東京有力銀行團は二十一日夜左の申合せを行つた

政府は內外諸般の準備を了し金解禁の實施を聲明せり、我々銀行業者は金本位制擁護の目的を以て當局の通貨政策を支援し將來情勢の推移に應じて良く協調を持續し、隨時對策を講じ本邦財界の健全なる發達を期す

顧問官打合せ
濱口首相談

【東京二十二日發電】濱口首相は本日倉富樞府議長との會見內容に就て左の如く語つた

本日倉富議長と會見したのは樞密顧問官問題につき打合せたもので夫れ以外の話はなかつた幾餘の顧問官缺員補充に就ては勿論近時噂に上つてゐる某全權に關する事情に就ては絕對何等の話も出なかつた

法相首相凝議

【東京二十二日發電】渡邊法相は閣議散會後特に居殘つて約一時間二十分に亙り濱口首相と某重大事件の成行につき重要協議を遂げた

閣議で報告

【東京二十二日發電】定例閣議は午前十時半開會、某疑獄事件に某閣僚が關係ありとされて政局不安の空氣が釀されるに至つたに鑑み渡邊法相より檢事局にて取調を爲したる內容につき詳細の報告を求め正午散會した

司法權に干涉不可
公正會の態度

【東京廿二日發電】越後鐵道疑獄事件に關し司法權の威信に重大なる疑惑を生じたるを憤慨し率先蹶起せる貴族院公正會は二十一日午後三時から昭和會館に緊急幹事會を開き黑田、阪谷、伊江、大井、小原、赤松、今園等の諸男出席し各方面の情報を持寄りなほ松村義一氏、矢吹海軍政務次官を通じて政府部內の意向を探つた上種々意見交換の結果

綱紀肅正は現內閣の重要使命の一として徹底的檢擧をなすべきは論なく行政部が司法權に干涉し政略的に檢擧打切るが如きことあらば公正會は斷乎たる政府糺彈の措置に出でねばならぬ

と云ふに意見一致し來る二十五日午前九時より幹事會を再會し同十時から緊急總會を開いて態度を決定することを申合せ五時半散會した

若槻全權に難色
樞府側の意嚮

【東京二十二日發電】越後鐵道疑獄事件は樞府方面の深甚な注意を惹き疑獄の渦中に在る若槻全權を國家の代表として國際的重要會議に送ることは國家の體面上面白からずとするに至り、倉富樞相は濱口首相を訪ひ事件の眞相を質す模樣である、なほ野黨側は此機に乘じ若槻全權反對運動を起さんとする形勢であると

預金部狀況
資產二十七億圓　在外約一億萬圓

【東京廿二日發電】大藏省發表十一月十五日現在預金部狀況は資產總額二十七億四千五百六十二萬六千圓で十月末より一千五百二十八萬圓を增加した、而して郵便及び振替貯金一千百萬圓、政府所有在外正貨の大部分を占むる在外預金一千五百萬圓、米國大藏省證券二千六百五十萬圓が夫々增加して注目を引いてゐる預金部所管在外正貨總額は之れを以て一億一千四百五十萬圓に達した

年末資金の借入成立
東株短期專業者と第三銀間に

【東京廿二日發電】東株短期取引專業者と第三銀行間に年末資金借入交涉が成立した、借款は短期專業者一人當り一萬圓づゝ總額五十六萬圓、利率日步一錢八厘專業者連帶無擔保で昭和五年二月まで据置き三月以降毎月三百圓づゝの月賦償還をなすものである

正貨流出防止
土方總裁の報告

【東京廿二日發電】土方日銀總裁は午前九時四十分濱口首相を訪ひ廿一日金解禁公表後に於て東京、大阪、名古屋各地銀行團が正貨流出防止につき協定を行つた件につき詳細報告を行つた

園公より政府に解禁の祝電

【東京二十二日發電】金解禁省令公布につき西園寺公は政府に祝電を寄せて來たので濱口首相は二十二日の閣議に之を報告した

放行單問題漸く解決の曙光
支那側の課稅緩和

【奉天特電二十二日發】放行單問題は全く支那側の條約違反行爲であるので目下わが外務省よりは林奉天總領事を通じて嚴重抗議中である、而して未だ右解決に就いては要領を得ぬもの丶如く奉天稅關局では倘商品に對して依然放行單の提示を要求してゐる狀態ではあるが、一面昨今におけるその取扱は稍寬大となり放行單と貨物の數量不一致の場合に於ても從來の如く直に之に對し脫稅品扱ひをなさず商埠地に賣却したる分等に就いては課稅を差控へ單に城內移入品に對してのみ課稅せる如き有樣で全體としての放行單問題は昨今漸く解決の曙光を認めるかの狀態にあるが外務省では城內移入に對する課稅も當然不當ることであるので今後も引續き抗議し徹底的解決をはかる筈である

樞密顧問官の親任式御擧行

【東京廿二日發電】樞密院顧問官及び會計檢査院長移動に關する親任式は二十二日午後四時半宮中に於て擧行天皇陛下は濱口首相侍立のうへ左の官記を親授あらせられた

會計檢査院長　從三位勳一等　水町袈裟六
任樞密院顧問官
正三位勳一等　岡田良平
任會計檢査院長
正四位勳一等　湯淺倉平
免貴族院議員
貴族院議員　湯淺倉平

閣議決定事項

【東京廿二日發電】廿二日の閣議決定事項は左の如くである

一、第十一回國際勞働會議採擇の條約案
(イ)第十一回國際勞働會議の採擇せる最低賃金尙早說に關する條約案につき政府の採るべき措置に關する件
(ロ)同總會の勸告に對する措置
一、關稅審議會總會の答申の二件

治權撤廢を年內に支那側宣言
對內外的政策上から

【北京二十二日發電】支那側外交筋の消息に依れば國民政府は來月始め治外法權を年內に撤廢の意嚮を示す威嚇的聲明を發するに決したと云ふ右は列國が即時撤廢の意嚮なきため面目上と且つは內政上の理由からと見られてゐる

司法官異動

【東京廿二日發電】廿二日附左の辭令發表された

千葉地方裁判所長　判事　永富貞平
補長崎地方裁判所長
水戶地方裁判所長　判事　長岡熊雄
補千葉地方裁判所長
安濃津地方裁判所長　判事　松田孫治郎
補水戶地方裁判所長
高知地方裁判所長　判事　多田常太郎
補安濃津地方裁判所長
靑森地方裁判所長　判事　岡崎善太
補高知地方裁判所長
那覇地方裁判所長　判事　末松正行
補靑森地方裁判所長
松本區裁判所監督判事　佐藤元吉
補那覇地方裁判所長

仙石總裁昨夜歸連
林總領事同行

既報の如く廿二日奉天城內の宮殿博文館並に文溯閣四庫全書校印館等を參觀せる仙石滿鐵總裁一行は十三時四十分奉天驛發日支官民數百名の盛んな見送りを受けて歸連の途に就き總裁は別項來連せる林奉天總領事と展望車にて漫談をなしつゝ二十時四十分無事大連驛着大平副總裁、木村人事課長以下多數の出迎へを受けて直ちに自動車にて星ケ浦別莊に入つた

製鋼所設立建議案可決
昨日の市會

大連市會第四十三回續會第三日は二十二日午後二時半より開會に先立ち豫じめ秘密協議會を開き議を纏めんとしたが議論沸騰して一時は流會を危ぶまれたが漸く四時十五分開會、出席議員は二十五名、前期市正副議長に感謝狀並に記念品贈呈の件、前期名譽職參事會員並市會議員へ感謝狀及記念品贈呈する件を一括附議し若月委員長より委員會の經過を報告したのち滿場一致の可決を望み記念品は三十圓見當のものとし又職役により二ヶ以上の記念品被贈資格あるものは爾今一個にしたいとの希望意見出で結局大多數を以て原案を可決した、次に昭和製鋼所の滿洲內設置方請願の件に就き緊急動議出て一時定數を缺いだ議場に向つて提案者篤井議員より說明を爲したるのち

昭和製鋼所は大連近接地域に建設することを適當と認む、關東長官並に大連市長は適當なる處置をとらんことを望む

との建議案に對し贊成を求めたるに異議なく決定して四時五十五分閉會した

競馬俱樂部の役員選擧

大連競馬俱樂部の役員選擧は二十二日午後二時より海務協會に於て行はれ會員總數九十七名中出席及委任狀八十七名で連記無記名選擧の結果左記の七氏が理事に當選した

若月八五▲大內八四▲辻八二▲樋口八二▲袋布七〇▲高橋(猪)五四▲石本五三▲次點是枝四一▲吉田(親)三四

勞農執行委員會開會式

【モスクワ二十日發電】勞農中央執行委員會開會式は二十日夜クレムリン宮殿內セント、アンドリウ會堂で盛大に擧行された

駐佛米大使後任

【ワシントン廿一日發電】駐佛米國大使後任は上院議員ウオルター、エッヂ氏に決定した

三田同窓會

大連三田同窓會では二十五日午後四時半からヤマトホテルに於て茶話會を開くが會費六十錢多數會員の出席を希望すと

辭令

【東京二十二日發電】

關東廳遞信事務官　中尾國次郎
兼任簡易保險局書記官(六等)
關東廳中學敎諭　吉村秀策
任關東廳中學敎諭(七等)

人事

▲林久治郎氏(奉天總領事)廿二日夜來連ヤマトホテルへ
▲齋藤良衞氏(滿鐵理事)仙石總裁に隨行赴任中の處廿二日夜歸任
▲藤井十四三氏(滿鐵秘書役)同上
▲鍋島嘉門氏(同上)同上
▲木全德太郎氏(滿鐵文書課)同上

安樂椅子

富の高さは建築物の高さに比例すると稱しても現在アメリカでは決して過言ではない▲實際一流都市へ行くと摩天樓建築の競爭であるが最近ニューヨークの著名な經濟學者が建築技師と共同調査の結果を發表したがそれによると建築學の立場から二百階までの摩天樓ならば必ずしも建築不可能ではないとのことと▲併し斯うなると設備に金がかゝつて到底引合はない、だから先づ精々七十五階が關の山▲然らば七十五階即ち一哩の五分の二の高さの摩天樓を建築する段になるとその費用は一平方呎で約四百圓見當▲目下の狀勢から推して六十五階の摩天樓が續出することは疑ひないがさうなると空中市街の設備も必要になる▲卽ち三階乃至四階の空中街が現出すべく同時に大氣の管理並に特殊の照明裝置等の問題も起つて來るだらう

本日廳報を添ふ

特產

定期後場(鈔建)

▲大豆(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百八十四車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　六萬枚

▲豆油(保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　二千箱

▲高粱(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　六十八車

▲包米　出來不申

現物後場(鈔建)

	寄付	大引
混保(袋込)	六四六〇	六四六〇

大豆(裸物)出來高　三十車
普通大豆(袋物・裸物)　出來不申

	寄付	大引
豆粕	二二〇〇	二二〇〇

出來高　九千枚

	寄付	大引
豆油	一七九五	一七九五

出來高　三千箱
高粱　出來不申
包米　出來不申

錢鈔

定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(期近)九十六萬圓　(遠期)百三萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金)八萬圓　(銀對洋)一萬二千圓

商品

後場　出來不申

神戶特產(廿二日)

	現物	先物
大豆現物	六六〇	[illegible]
豆粕現物	一九七	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]	[illegible]
豆油現物	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]

神戶期米

限月	後場寄	後場引
十一月	[illegible]	[illegible]
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	[illegible]	[illegible]
大紡新	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
東糖新	[illegible]	[illegible]
日鉛	不申	不申
郵船	不申	不申

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
五品	不申	[illegible]
中	不申	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]
豆信當、中、先	(不申)	[illegible]
豆新當、中	(不申)	[illegible]

東京株式(短期)

銘柄	五品	東新
寄値	[illegible]	[illegible]
引値	不申	[illegible]
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]

支那軍閥抗爭の永續性

滿洲日報

革命支那の民衆、若し心あらば蔣と馮とに對し、誰か烏の雌雄を知らんやといふであらう。閻錫山の動き一ツで、天下の事が定らんとするが如きは、これ決して革命支那の名譽ではあるまい。果して然らば、馮も蔣も、要するに化粧を異にした、新しい軍閥といふべく、よし蔣が馮に勝ち、河南より陝西を攻略したりとするも、第二、第三の馮玉祥は隨所、隨時に蹶出し、支那の天下は、走馬燈の轉回するが如く、限りなき劫火の災厄を免れ得ぬのである。改組派と廣西派の合作、必ずしも不可能、不合理ならざる如く、汪精衛と蔣介石と、妥協せずと限らず、いや場合によつては、馮と蔣とさへ、利害のためには同一道程を歩むことが出來る。そこに支那といふものの融通無碍性があり、革命達成の不徹底を招來するのである。」

◇

南京政權と東北政權などの對立にありても、少しく政治的理論を考へ得るほどのものは、全く領會し得ぬものがあるのであるが、併し、沒有法子を積極的に考察し、同一空間に二物質を容れて些の矛盾撞着を感ぜぬところ、下等動物の頭尾を切斷せられて尚かつ双方に生命あると一般である。東北四省の大道は、南京にも通ずれば、また奉天にも通ずる。そこで對外的には、ロシアが強く出たり、弱く出たりして、容易に露支紛糾の解決をつけぬ。また對內的には、山西に閻錫山をして、依然、洞ケ峠に據らしめつゝある所以なのである。この矛盾、不合理のうちに一種の安定を求めつゝ、次ぎから次ぎへと動くのが支那の政局であり、而して閻や馮や蔣や汪やに存在の意義があるともいへる。」

◇

そこで一般の民衆、殊に開港地の商民などは、苛斂誅求、軍用金の御用を仰付けられるだけで、軍閥との生活において、些の交渉も認め得ない。民衆の生活は、軍閥の動きと世界を異にしてゐる。すくなくとも、その政治意識、國家意識において、民衆と軍閥とは全然、別の途を歩みつゝある。編遣を云々し、中央統制を云爲したりとて、支那は依然として支那であり、天下國家的集團の支那であるのである。されば一般民衆の幸福とするところは、寧ろ新舊軍閥の存在せぬところにある。がしかし支那にも近代的國家理論の流れが入り込み、天下國家[因]國家の現實上に、近代的國家の理論を當て搾めんとする。そこに錯誤があり、撞着が認められるが、もと〳〵支那は融通無碍の國、逆定理が肯定される撞場がある。あらゆる矛盾錯誤が、些の不安定もなく、積極的な沒有法子として承認される不思議さへもある。そこに治廢の改約のといふものが叫ばれる。

◇

しかし、蔣や馮やの動きが、果して何と發展するか。彼らは、口では大言壯語、勝手放題なことを爲公してゐるが、自己の軍閥を保持し、勢力地盤を擁護するがためには、決して最後の決を採らぬのである。勝ち負けを結局まで導かぬのが、彼ら軍閥の常套手段といふことも出來る。孫良誠が寝返つて、洛陽が南京軍に占領されたなどと傳へるのも、要するに金錢の取引關係を物語つてゐるのであつて、自己保身に巧妙なる軍閥の狡猾さを示すものに外ならぬ。郭松齡のやうな例は、支那の革命內戰に稀有であり、呉佩孚のやうに、行詰るのも支那の融通性を、充分に會得しなかつたものといはねばならぬ。馮や閻やは、相當に去就となり、容易に總決算の決を採らぬ。關ケ原や壇の浦までは漕ぎつけぬのである。そこに軍閥革命の不徹底があり、近代的國家への更生建設に澁滯がある。決を採らぬところに、支那內亂の永續性を認めざるを得ぬのである。」

飛行機による襲撃は軍事的に効力甚大
支那は國境に大軍を集めて非常な不利を招く

【ハルビン發】黒河及松花江の流域が結氷すれば危險であるとは支那側でも注意し黒龍江軍第一軍騎戰山第三軍廿四旅の部隊は嫩江を防守するために移動し、吉林及黒龍の騎防隊は佳木斯一帶に一旅增派され松花江を溯る赤軍の防備に當り

黒河駐屯の 巴鍾英部隊は附近の商民を退け江岸に沿ふて守備を嚴重にした、然し赤軍が支那領に侵入して來ることは現在の狀態からすれば無いものと觀測してよいと軍事通は語つてゐる、其れば赤軍の大部隊を移動することは軍費を要し且つ相當の集團を以つて進擊せねばならぬが、飛行機數十臺を國境の各方面に配置し時に偵察を試みては爆彈を投下し重要地點の破壞作業に全力を傾注するものである、しかも持久戰の形で進みつゝある露支武裝對峙が久しきに亘れば亘る程大軍を以つて防備する方は奔命に疲れ士氣は

次第に沮喪 するからである、露支國境に於て時に間歇的に行はれる兩軍の戰鬪にサウエート軍は飛行機と騎兵の奇襲を試みて成功し支那軍は防禦守勢のためにいつも敗戰し多大の損害を蒙つてゐる、これは勝に精鋭な武器の活動と連絡して行動する軍隊は少數ではあるが大軍を懾ますに威力あり近代の科學的戰爭の一半面を現はしてゐるもので、飛行隊に劣つてゐる支那軍は悲しい哉實際に戰鬪を開始しても勝算の見込はない、且つスケールの廣大な地域にあつて兵力——兵數による戰鬪は既に一定の範圍に制限されてゐるもので昔の如く

領土的占領 は第二義的のものとなり、敵軍の破壞と戰鬪力を牽制することが最後の捷利となるものである、從つて赤軍の飛機により戰術は領土的には效果はないが支那軍に損害を與へる程度は大きいと見られてゐる

支那飛行機の運命は危い
戰鬪機が一もないから

【ハルビン發】勞農機が牡丹江を襲擊したのは支那飛行機を破壞する目的であつたが、支那機は其前日の十六日にヘルビンから飛翔したのを勞農側がどうして嗅ぎつけたのであらうかと今尚疑問視されてゐる、戰鬪機を有せぬ支那飛行隊が前線に出動するのは全く軍事的の考へがないものだと評されてゐる、海拉爾には五臺の支那偵察飛機が配置されてゐるが、之も何れは勞農機のために破壞されるだらうと

張作相氏の地位は盤石
辭職說は中傷の宣傳

【吉林發】吉林邊防副司令官兼省政府主席張作相氏は今回の對露軍事失敗に關連し且つ露支問題發生以來事毎に張學良氏と意見合はずして張氏自身も漸く挂冠の志を懷いて居るから恐らく再び吉林に歸任することなく王樹常氏と更迭するであらうなどと

相當確實性 を帶ぶるものゝ如く報道せられてゐるが、右に依り吉林省政府委員某氏の所感を叩けば氏は悉く之れを否定し、唯單に張作相氏が久しく奉天に滯在し當面の時局要務に參與して居て歸任が遲延する爲め外間に種々取沙汰を生ずる次第であつて、或る方面の「爲めにせんとする宣傳を眞に受けては駄目だ」と次の如く語つた

豫てから舊派の人物を一掃して局面轉換を圖らんと其機會を覗つて居た張學良氏周圍の策士連即ち自から新派を以て任じてゐる某々吉林人は過般の東寧、同江、富錦に於ける吉林軍の戰敗殊に同江の役で作相氏甥の張佐臣團長が不覺の擧事は彼等策士連の張作相氏排斥の

唯一の口實 となつた譯で、好機逸すべからずと策動しそれに又吉林に於ても張作相氏のために稍失意の境遇にある一派の宣傳も多少加つて居る樣であるが、兎に角實際に於て張作相氏の地位は微動だもするものではない、學良、作相兩氏の關係はそんな惡宣傳や中傷位で乖離する樣な薄弱なものではない要するに張作相氏の歸任が遲延する原因は唯露支交涉を一日も早く進捗せしめんとして秘策を練つて居ることにあると云へよう

哈爾賓の 支那婦人が解放を叫ぶ
婦女協會を組織して男女同權の壯途へ

【ハルビン發】ハルビン婦女協會籌備處が生れた男子の不平等な壓迫と家庭內の奧深く翁姑の頤使に甘んじてゐた妾等は青天白日旗のもとにあつては平等的なものであるは當然だと舊殼を破る支那婦女子の叫びが擧げられた、女は太古時代にあつては社會の中心となり支配階級にあつたものだが男子は天賦の體力の偉大にまかせ妾等を不平等の位置に引づり下ろしたのだ「女子は才無ければ即ち德」三從四德とか以順爲正とかよい加減な舊道德を造つて束縛した、これでは妾等の生存がない、だから鐵柵、獄門の重圍を破つて新しく生きねばならない、この意味から國民黨代表張冲氏の指導のもとに婦女協會の團體を組織し解放運動の烽火を上げたのであると虹のやうな氣焰を吐いて宣言文を各界に送付した、其の規約は中國々民黨の綱領となつてゐる婦女政策の本旨により法律、經濟、社會、教育等に亘り一切男女平等權の獲得にあり打倒多妻主義、舊思想及舊慣の破壞、買賣結婚の絕滅、婦女子の政權獲得等にして意氣當るべからざるである

誇大な報告
赤露人笑ふ

【ハルビン發】札蘭諾爾炭礦の襲擊と旅客列車の攻擊は支那側にこれまでにない衝動を與へた、然し支那軍部側の狀況報告は赤軍の捕虜三百名武裝した儘及勞農側飛機二臺を射落し多大の損害を與へ、我軍は死傷一百名なるも赤軍は算なしとあり誇大の宣傳をしてゐるが、赤系ロシヤ人は笑つてゐる、これに反し白系ロシヤ人は赤軍がハイラルを侵しハルビンに襲來するも餘り遠くはないだらうと非常な恐怖心に驅られ、赤色テロリストの意味で今後多數のソウエート人民が膿擔せに檢擧される危險が迫つてゐる

ロシヤ色が支那色に變つて行くハルビン
今度はモデルンが身賣り

【ハルビン發】時の動きでハルビンのロシヤ趣味が支那式に段々變色されて行く、これは堰止めやうとしてもどうすることのできぬ力であるかも知れぬ、其の一つにキタイスカヤ街目拔の街區に帝政ロシヤ時代に貴顯紳士淑女のホテルとして時めいたモデルン——ハルビンでの第一位にある旅館であり、モデルンと裸ダンスを聯想せしめる——の宏壯な建物が旅客の減少と客筋が異つた爲に遂に經營不能に陷ち密かに賣渡しの噂がある、客室は二、三階にあり階下は食堂と常設映畫場に當てられ時に夜會がありハルビン名物の一つとなつてゐるこのモデルンが身賣をするやうになつたのである、其半面を觀てもロシヤ人の勢力が既に地に墜ちたと云ふことを物語るものであらう

長春から全部引揚
赤系の露人

【長春發】露支紛爭以來賓城子其他東鐵沿線各地から赤系露人が續々長春附屬地に入り込んで長春警察當局に頭痛の種を播いてゐたがソウエート政府からの送金も絕えて生活難に困る所から漸次朝鮮經由歸國するものが增加し十名許りを殘すのみとなつてゐたが、之等殘留者もこの程長春領事館に旅券の查證を願ひ出たので愈々全部引揚げることゝなつた

外國軍艦を嚴重監視
外交部の命令

【天津發】最近中央政府外交部は平津衞戍總司令部を經て天津警備司令部に近時々局の混亂に乘じ外國軍艦が在留民保護を名として絕へず入港し甚だしきは某國軍艦の如きは武器彈藥を秘かに密輸して居る此等は甚だ怪しからぬ振舞で在留外人の保護は支那側が責任を以て之に任じて居る以上國交上好ましからぬ事である故に今後各國軍艦の入港の場合は各機關は嚴重に監視し其兵力目的碇泊期間其他を詳細に調查し報告すべき旨を命じた

靈魂不滅の研究
幽靈が出ると云ふ家に百五十日間籠つた吉岡師

【長春發】昨年家族の縊死事件があつた爲めに幽靈の出る家として入り手がなく持て餘してゐた長春曙月町の滿鐵社宅に、本年春から當地護王寺の吉岡輔行師が入つて靈魂不滅の學說研究に沒頭してゐることは當時報道したが、師は百五十日間の研究を終へてこの程滿鐵に明け渡した、吉岡氏は語る

色々に世間に傳へられたので困りました、殊に一部には幽靈が出るなどと私が流布した樣に誤解して私を責めた人もありますが靈魂不滅說の如き既に立證されてゐることなどで私は北京留學以來五ヶ年の研究を纏めたかつただけです、お蔭で勉強させて貰ひました、私は二十年計畫である一貫した研究を續けてゐます、そして嘗て沿海州から滿洲、蒙古を經てウリヤンハイルに入つたと云ふ平和の使即日持上人の百五十年記念日までに之を完成するつもりです

南征雜錄（41）
難波勝治

邦人の農業者

邦人の中心勢力を扶植する爲に最も意義あるエスタンスエラも、斯く經營の着手期に於て大頓挫を來したが、併し墨西哥移住の重要味は、之に依つて毫も減殺されて居らぬ、南太平洋鐵道の開通に刺戟されて、クリヤカン方面の日本人農業が益々堅固に基礎附けられたやうに、右の線路がメキシコ市とマンサニヨ間の

國有鐵道 に接續する處にグワダラハラとその平野が展開して、農業的にも商業的にも多望な將來を語つて居る、就中南方三十六哩を距るチヤパラはメキシコ第一の大湖で、沿岸は勿論、グワダラハラ市との間に起伏する波狀形の沃地は、農耕法の進歩に依つて益々利化されるだらうが、其先を倡ふ者は蓋し日本人であらねばならぬ、何となればテペク以北の沿岸諸州と異り、ハリスコ、コリマ等の高原地帶は、北平文化の影響をシエラ・マアドンの天嶮に遮られて居た爲に、他に比して一層保守的で且つ粗野である、ツノラ出身の政治家カイエス、オブレゴン等の

改革方針 に反抗して、カトリック教擁護に熱中した最近の風潮の如き、以てこの地方の特色を推想するに足りるが、それだけ農業組織の上にもスペイン時代の舊習が遺つて居り、北部海岸に比すれば勞銀も廉いが耕作法も粗笨極まる者である、其處に農業技術に長けた邦人の進入し得る餘地があつて、漸次地主と土着勞働者との間に獨立農の立場を作らうとして居る、私はカレラスに於て約七十町歩のバナナ栽培園を見た、之は北米から轉住した安東正德、山口杉二兩君の經營する

借農業地 で、月三回の採收高平均二十一噸宛を、マンサニヨからロサンゼルス市場に仕向けて居るそうだが、コリマとハリスコとの州境を西流するシワトランの河口には、グワダラハラに在住する藏田恒二郎君の椰子園があつて、その直話によれば總面積二百町歩の內、約五十町歩に五千本の椰樹を植え、既に三年の歲月を經過したといふ、チヤパラ湖畔の入植者は重に米作に從事して居るそうだが、この地方の邦人が散在狀態にあつて、統括的人物若くは

連絡機關 に缺けて居る事だ、勿論グワダラハラには南方君や藏田君等が商業的活動をして居るが、名農業地との利害關係は全くない、最近コリマに領事分館が設置されたそうだが、之は重に渡航移民の上陸に關する事務で、在住者の指導誘掖に至つては、駐在官邊の努力と相俟つて民間にも中心機能が基礎附けられねばならぬ、熟らメキシコに於ける邦人の現狀を概觀するに、北米に次ぐ舊い歷史を有するに拘らず、移民の入植地は少しも系統的になつて居ないのは畢竟メキシコの國情が然らしめた點もあるが、日本政府の

研究調查 も決して十分でなかつた、而してこの痕跡は殊にマンサニヨを中心とする太平洋岸に多い、今は東京市外大崎町に閑居する米國通の藤出敏郎翁が、時の外務大臣榎本揚の命を奉じ交通不便な南部メキシコの太平洋岸を傳ふて、踏查三閱月、漸くチヤパスに三萬町歩の移民適地を選擇したのは、三十八年前の明治二十四年であつた、それは恰もポルフイリオ・デアスの黃金時代で、明治三十年前後から漸く渡航者の數を增し、夫から十年後の革命勃發までには、成功者輩出して牢乎たる根底を植ゑ附けて居た者だが、デアス政權の倒壞するに及んで大打擊を受け

冤罪の爲 に投獄された者さへあつた、之が折角の植民地が思はしく發展しなかつた理由であり、同時にマンサンヨ方面からの入國者が激減した所以でもある、南太平洋の開通までは官吏や觀察者の往來も、重に米國南部から墨西頭の連絡線を通じてなされ、南部太平洋岸は自づから閑却されて勝となつて居たが、今や鐵道の完成と共に、北米勢力の南下、日本移民のメキシコ入國熱等、再びマンサニヨの重要味を增さんとして居るのである、

八相

李生に答ふ
後一學生

君はスケートを世界的にしようと云ふがスケートが世界的になつたら國家は安全になると斷言出來ますか、工業、商業が盛んになれば國家は富み又強くなります、しかし運動が盛んになつたからとて國家は富み強くなると斷言出來ますか、君の如き時代後れの人間は靈肉一致等と考へて居るから其んな事を思つて居るだらうが君こそ時代を知れ

投書歡迎 新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするものは採らず

市長辭職の口約
大家鐵兵

大連市々長石本鏆太郎氏は今月末辭職することになつてゐるそうである、だがその「辭職することになつてゐる」ことを判然と知つてゐる市會議員は僅々數名であるとのことである、そして、彼らの傳ふるところに依れば「口約」であつたとのことである、然るに市民の公僕——市會議員諸氏は市候補當時どう市民に約束された——は如何に此の「口約」なるものを考へてゐるか、此の「口約」なるものだと思ふ、此一に場所が問題になると思ふ、此の「口約」なるものが市會の議場でなされたならば問題でないが、議場ではなかつたのである議場以外で爲された「口約」を楯に市長を辭職せしめんとする如きは、果して彼等の市候補當時の公約たる市民の公僕たるの名に反しないか、數名の議員との「口約」に依り、市政の首班たる市長の去就が自由に左右されるものであるならば、此れより以上不公明なる政治はないと思ふ、輿論を無視して辭職を強要するが如きは斷じて許さる可きでない

滿日地方版

汽車汽船で御旅行の事は何でも御利用下さい
ジャパンツーリストビューロー
大連案内所

佛敎團が率先して葬儀の虛禮を廢止
近く何等かの方法で具體化か 一般も大に共鳴

旅順

公私經濟緊縮の喧しき折各方面共に種々改善の實が擧げられつゝあるが、とりわけ人生の大儀である葬儀方面にては別して冗費虛禮の弊多きため改善の念を抱く者多きも永い間の傳統習慣は一朝にしてこれを改めるは至難とせられてゐる折柄、當地各宗佛敎團にては此際率先改善すべく考慮中で近く何等か具體化する模樣であるが、大體御通夜に於ける接待、火葬場に於る馳走、花輪の贈物等は斷然廢止するらしく一般も之れに對しては大に共鳴してゐる

ヤマトホテルに於て披露宴を張つたが、緊縮節約が宣傳される折柄でもあり殊に媒酌人たる大賀、板垣兩氏及び久保田氏自身も緊縮委員會の仕事を勤めてゐるので、擧式、披露宴等萬端節約を旨とし披露宴招待者も僅々二十四名に止めて質素振りであつた

大連商業軍を迎へ ラグビーの試合
來る二十三日旅順運動場で

關東廳千歲倶樂部蹴球部では廿三日新嘗祭の佳辰を期し同日午後二時から旅順グラウンドに於て大連商業倶樂部軍を迎へ本年納會を兼ねて第十回ラグビー試合を行ふ由であるが、昨今ラグビー、フットボール熱は野球以上に流行を來しつゝある折柄不斷餓りその機會に惠まれぬ旅順のラグビーファンに取つては絕好のチャンスであるので當日は定めて觀衆も多からうと豫想されてゐる、千歲クラブのナインは左の通り

FW 1板橋、2西河、3松原、4□田、5□藤、6山本、7茂木、8宮本
HB 9吉田、10岡澤
TB 11梶川、12三原、13上倉、14富田
FB 15大石

千歲倶樂部の納會

久保田氏慶事

關東州駐在武官久保田久晴氏は關東軍司令部小松大尉令妹ヌイ氏と二十日午後一時より出雲大社敎旅順出張所神前に於て結婚式を擧行し同夜ヤ

今回の長男力君と云ふ奇妙に打つゞく不幸にて、町内及び知友は一しほ同情の念を寄せてゐる

重なる不幸

旅順忠海町新古衣類業渡邊勇作氏愛孫力(□)は永らく腎臟病にて加療中の處遂に二十日午後五時半死去した、葬儀は二十一日午後三時東本願寺に於て執行された、同家は本年で丁度三年忌に當る昭和二年三月六日先祖の命日に夫人を喪いたるが、二月二日次男勇二(□)と本年十月二十日に長女靜江(□)

營口

咄堂氏講演會

滿鐵社會課主催の下に各地巡回講演中の加藤咄堂氏の營口に於いての講演會は來る廿四日午後六時半より公會堂にて開催一般市民の來聽をも歡迎すと

葦を入札

當營口在鄕軍人分會の所有なる三家子の葦は來る十一月廿五日午後二時より現場に於いて入札し拂ひ下げると因に希望者は當日現場に出向かれたしと

奉天

市中商人の現金步引賣實施
愈よ來月一日から

奉天輸入組合ではこの程開かれた役員會の決議に基き左記方法で現金賣步引を實行することになつたが金解禁實施を前に控え公私經濟節約緊縮が勵行され且つは本月一日から滿鐵消費組合では現金步引を行つてゐるなど市中側に及ぼした影響も尠くないので市中側でも適宜方法を講じ沿線各地組合とも步調を共にするといふにあり既に組合員側の意見も一致してゐるため豫定通り實施の運びとならうと

一、十二月一日より實施
二、步引率は大體五分以上とするが商品により出來るだけの範圍で步引すること但し步引率は各自隨意のこと
三、その他宣傳方法として贊成商店聯合で新聞に廣告をなすこと

除隊兵は卅日出發

奉天守備隊本年度除隊兵四十八名は十一月卅日午前九時發安奉線第

スキー時季來る

廿一日旅順は今冬最初の大雪で寸餘積つた官舍は同・大正公園の斜面でスキーをやつてゐる醫研の岡澤君

愚民を惑はし金を捲上ぐ

町の便り

奉天署では廿一日午前十一時頃驛前附近の惡徒商整理のため行商狩を行つた

浪速通奧田好古堂では例年の通り來る二十二日より三日間正札會を開催すると

江島町十三番地鮮人李某方では廿日午後一時頃靴下一足盜難、掛り十九日も一足紛失したので捜査の結果籠の中より發見して不審を抱き隣に居住せる崔といふ鮮人の妻が遊びに來て歸宅する直後紛失した處から崔の妻に疑をかけ遂に之を泥棒呼ばはりして大喧嘩となり正に血の雨を降らさんとして係官から說諭され漸く取鎭めた

廿日午後八時五十分頃下り廿三列車が新臺子、新城子間を通過中擧動怪しい一支那人を認め取調べた處腰部に阿片四包(約四貫八百匁)を隱匿してゐたが彼は東北陸軍第十四□歩兵六十二團滿洲里駐屯仁澤氏(□)と稱し阿片密輸を企てたもので同列車が鐵嶺驛到着と同時に下車せしめ引續き嚴重取調中である

帝國美術院日本畫家片岡京二氏は今回滿鮮視察の途次來奉約一ケ月富士町富士屋に滯在する由

滿鐵音樂會主催の下に觀世流師範五十嵐吉太郎氏の素謠會を二十三日正午より滿鐵社員倶樂部に於て開催する由入場料一圓番組は素謠俊寬、角田川、景清、安宅、猩々仕舞、八島

瀋陽駄話

人事

▲大內博士(國際聯盟代表) 廿日安奉線急行にて歸國
▲山口第四大隊長 廿一日遼山關より遼寧公主嶺へ
▲周四洮鐵路局長 廿日四平街より來奉
▲山形自治講習生一行卅名 廿日鞍山より來奉大星ホテル
▲萬國工業會議員一行十六名 廿日湯崗子へ

安東

兩岸相俟つて密輸を防止
遠からず絕滅の見込

ボーイスカウト設立の贊成者が多く
近く具體案を作成

忘年會を廢めて献金

歐洲遠征選手派遣か

新義州府會議員
二十日選擧を終る

大和校の緊縮

大石橋

外務大臣賞與金
故澤幡部長遺族へ

神社々司更迭

馬賊を引渡

滿蒙植物の採集雜話(4)

旅順 佐藤潤平

第一編(四) 素人の見た滿蒙植物界

加藤氏講演會

守備隊の工事

開原

ホーム上屋と地下道竣工
二十二日から使用

ポスト移轉

瓦斯中毒で二名窒死
倉庫の番人

撫順

映畫獨占に猛烈な反對
地方委員會の決議を無視した樂天館擁護派

飛び下り重傷

近松會淨瑠璃會

鞍山

二人强盜
傷害した上に金を强奪

記念品贈呈
滿期守備兵に

新嘗祭典執行

瓦房店

小學校の父兄會
展覽會も

哈爾賓

小學校學藝會

管理局の入札

笑和會の例會

日進武藝大會

人事

地方委員會

滿日聯珠戰 第二回

君よ慢性胃腸病に苦しむならば
是非ともアイフを服用し給へ
アイフは胃腸病の最適藥なり

アイフの藥効
◎腸加答兒◎大腸加答兒
◎腸結核◎慢性下痢
◎胃加答兒◎胃アトニー
◎胃擴張◎胃酸過多症
◎胃痛◎胃液欠乏症
◎胃腸より起る腦故障

AIFU

慢性胃腸病には是非ともアイフを服用せよ

慢性胃腸病にて常に食慾進まず胸先支へ嘔きみつ出で胃痛み下痢軟便がちにて便に粘液を混じ胃擴張胃アトニーにて腹はり痛み腸加答兒にて營養吸收不良となり身体虛弱にて肺尖を犯し熱出で重症胃腸病にて大便に血液膿汁を混じ胃癌腸結核等の疑ひある危險症には是非とも**アイフ**を服用せよ

アイフは内服後胃腸内壁の炎症部に附着し痛みを鎮め粘膜を強壯にし粘液の分泌を減じ内壁を著るしく強健ならしむるを以て慢性の頑症と雖必ず満足なる効果を得べし。

(アイフ十七日分三圓罐實物圖)

藥價
四日分 七十五錢　八日分 一圓五十錢
十七日分 三圓　四十五日分 七圓
重症用特製アイフ
十一日分 五圓　廿三日分 十圓　三十六日分 十五圓

アイフ御注文の方は藥價を爲替又は振替にて送金あれば直ちに發送す

大阪市東區清水谷西之町
本舖 和順公司
電話東五六四・五〇〇二・五〇〇三　振替大阪三四五

童話　不思議な『旅人』（上）

瀬野清太

ある雪の深い國の話です。里から隨分とへだたつた山の中の炭燒小屋に、二人の小さな兄妹がありました。

お父さんは毎日重い炭俵をかついで町へ賣りに出かけなければならないので、その間二人の兄妹は小舍の中に淋しくお父さんの歸りを待つのでした。

「お母さんさへ生きてゐたら…」兄妹はいつもさう思ふのでした。[illegible]くで默つて抱き合つたまゝだつたのです。

お父さんはこの二人がどんなに淋しがつてゐるかをよく知つてゐましたので、出來るだけ、早く歸つて來る事にしてゐたのであります。

今日のお土産を考へるだけは二人にとつては一番の樂しみでした。お父さんは里から何時も二人の喜びさうなおいしいご馳走をどつさり買ひ込んで、にこにことして歸つて來る事にきめてゐたからであります。

日が暮かくになつた頃、兄妹は雪を踏む足音をきゝつけました。

「お父さんだよ」

兄さんの方がさう言つて嬉しさうた顏をしました。妹は直ぐに立ち上つて入口にお迎へに出ましたが妹は直ぐに兄の所にかけ戻つて來ました。

「兄さん。お父さんじやないわ」

妹は聲をふるはせて兄に囁きました。

「どんな人なの」

兄も聲をひくめて尋ねました。

「判らないわ。だつてすつかり雪に包まれて戸の所で倒れてるんだもの」

さう言へば、さつきそんな音を兄も聞いたのでした。

「乾度、凍え死をするかも知れなくてよ」中へ入れて暖めて上げやうかしら」

妹の心の中には怖ろしさが少しづゝ消えかけてゐました。

兄はいつかお父さんの言つた言葉をおもひ出しました。

「わしの留守には誰が來ても戸を開けるのではないよ。こんな山の奧を歩く人たちの中には恐ろしい人買ひがゐるんだからな」

兄は直に妹にその事を話しました。

「だから、も少し待たうよ。お父さんの歸るまでね」

妹の心には又もとの怖ろしさが戻つて來ました。けれども、妹はさつき窓から眺めた旅人らしい人の事をだんだん落ちついて考へるのでした。若もお父さんがこんな寒い日にこの旅人らしい人の樣なめにあつた時にはどんなであらうかと思ふとやつぱりそのまゝにうつちやつてはおけないと思つたのです。

「あの人はあんなに凍えてるんだもの。あの人を暖めて上げたつてお父さんは決して叱りはしないでせうよ」

兄もさう考へてゐた所でした。それにお父さんの歸りにもう間もない時刻だつたのです。

ニドメノ 大チヤンノタンケン（146）

ハルミチ作　ジラウ畫

大チヤン ハ バウエンキヤウ ヲ メ ニ アテルト イツシヨ ニ「アツ！」ト サケビマシタ。大チヤン ノ バウエンキヤウニハ ソレハソレハ オソロシイ マモノ ノ スガタ ガ ウツツタノデス。

「ドレ オヂサンニ ミセテゴラン」オヂサン モ 大チヤン カラ ボウエンキヤウ ヲ カリテ ノゾクト オヂサンノ メ ニ

アタマ ノ オホキサ ガ 四トダル ホドモ アラウ トオモハレル ウミ ノ クワイブツワハ マツカナ カミノケヲ フリミダシナガラ ウミノ ウヘ ヲ オヨギマワツテ キマス。

學校と家庭

教育座談　兒童の健康問題と學校衛生（一）

二人の父兄の談話　A 會社員　B 醫者

A。學校の先生に結核性の病氣に冒されてゐる者が相當多いさうだが、果してそれが事實であるとするとかなり大きな社會問題だね、

B。結核患者の多いことは何も小學校の先生に限つたことはないさ、滿鐵社員あたりにもざらにあるよ。

A。滿鐵社員はまあいゝとして小學校の先生に結核患者のあることは抵抗力の弱い幼弱な兒童に終日接してゐる職業だけにその結果を想像すると戰慄を覺えずには居られないね、まあ僕の子供の受持ちの先生は運動家ださうだし見たところ如何にも健康さうだから自分の子供だけについては心配はいらないと思ふが……

B。ところが運動家だからと言つて決して安心は出來ないぜ、在職當時は運動家ではあり極めて元氣であつた先生があの病氣でバツタリ參つた例も少くないのだからね、しかし君のやうに心配しだしたら子供は學校へ出せなくなつて了ふぢやないか、

A。いや、それが事實なら全く子供を學校へ出したくなくなるね

B。學校は何しろ傳染病の媒介所みたいなところだからなたとへ先生が病菌を持つてゐなくても多數の子供が集合生活をしてゐるところだから、どんな病氣を持つた子供が居ないとも限らないよ、現にトラホームなどは學校に出るやうになつてから罹病する場合が大部分で學校病と言つてもいゝ位なものだ。

A。全く學校は恐ろしいよ、時に猩紅熱が流行したり、たちの惡い感冒が流行つてゐるやうな時は學校へ子供をやりたくないね、しかし最近の小學校は我々の小學校時代とは違つて衛生婦は常置してある、トラホームの治療はしてくれるといふやうに衛生的施設がよほど整つてゐるので内心力強く思つてゐるんだが、それにしても斯のやうに衛生に注意をしてゐる學校が最も恐るべき結核性疾患のある教師をそのまゝにして居るといふことは大きな矛盾であるやうに思ふのだが專門家の君の意見はどうだね。

B。勿論さうした教師は何とか優遇の道を講じて健康の恢復するまで靜養して貰ふことが最善の方法だと思ふが人間といふものは妙な矛盾性を持つた動物でね一人の教師を救ふために多數の兒童の幸福を犧牲にすることの誤りであることは分り切つてはゐても、さて勤勉に働いて呉れてゐる先生に對して校長も辭めて呉れとは中々言ひにくいものらしいのだ、現に某小學校の校長の如きは腹では「辭めて呉れると本人のためにもいゝのだが」などゝ言ひながらさて本人と面と向ふと、先方から「辭めたいと思ふのですが」と辭意を洩らしても「今君に辭められると學校は困るよ」などゝ心にもないお世辭を言つて頻りに留任を勸告したりしたといふやうな話も聞いてゐたが、まあこれが所謂人情なのだらう、しかし眞に教育の何たるかを知つてゐる信念の強い校長であるならば恐らく涙をふるつて辭職を勸告するだらうと思ふね、

A。いや、さうありたいものだ、どうした問題は決して私情に捉はるべき性質のものではない、兒童は我國の將來をしよつて立つ貴重なる第二の國民であつて時に衛生上の問題は智育などよりも更に重視して貰はなければならない。

彌生高女の學藝會　新嘗祭當日

大連彌生高等女學校では二十三日午後零時半から同校講堂に於て生徒の學藝會を開催、プログラムは次の通りです

一、開會の辭
二、支那語（歌）月明の夜　二年生
三、理科（談話）電燈五十年祭に就て　四年生
四、家事（實演）洋服の家庭クリーニングに就て　三年生
五、習字（席書）一、二、三、四年生
六、地理（談話）苦力さん　三年生
七、國語（劇）島の裁判　一年生
休憩
八、ダンス、お花かざして　一年生
九、英語（劇）メリーと七人兄弟　四年生
一〇、教育（談話）優生學運動　五年生
一一、國語（劇）秋の或る夜　二年生
一二、歷史（談話）西洋文明の行方　四年生
一三、音樂（合唱）賞讚、花賣女　二年生
一四、閉會の辭

尚同校では卒業生の來觀を希望してゐる。

兒童の作品

アメ

大廣場小學校　一年　内田ますゑ

アメガザアザア
フツテキタ。
クルマハビシヤ
ビシヤ
ヌレテイル。
ニイヤンビシヤ
ビシヤヌレテキタ。
オマハリサンモ
アメノ中
一人デシヨンボリ
タツテヰル。

新刊教育書紹介

▲南山麓　南山麓小學校保護者會報第二十一號

▲教育學術界（十一月號）特輯明治大正教育號である。明治大正の教育回顧、明治大正教育史概論、教育法令の基本的考察等（五十錢東京市牛込區市谷田町モナス社）

▲學校經營（十一月號）最近獨逸の教育改造運動試驗問題につき機械人形か自由人か、其他學校經營に關する記事及文藝等（五十錢東京市麴町區四番町第一出版協會）

どんな讀物がよいか　教專讀物會の推薦兒童讀物（下）

—新刊二十一種—

▲少年保元平治合戰記　最近流行の薄つぺらな赤本類とその趣きを異にし我が日本の文學史を飾つてゐる保元物語と平治物語を土臺として保元平治の戰ひの顚末を平易にしかも味の深い筆致で書いてある。五、六年以上宮崎久松四六版裝幀で大同館發行價二圓

▲櫻咲く國の天子樣　明治天皇、大正天皇、今上陛下を主としその他の天皇皇后に關する御逸話を集めたもの三年以上樋口紅陽裝幀乙、日本館、價一圓八十錢

▲フーヴアー　世界少年少女偉人傳、大衆の第十七卷、現米國大統領フーヴアー氏が貧苦の中に奮闘努力して遂に今日の榮位を得たるまでの事を記したもの、四、五年程度立石實和、四六版裝幀乙、金の星社發行、價九十錢

▲子供の科學文庫（自動車、貨車、飛行機、航空船、日用化學、太陽、月、地球、星、ラヂオ、映畫）科學ものでは挿畫が適切鮮明が要件であるがこの叢書はこの點に於て滿足なものではないが著者の舊著「子供の科學叢書」よりも解決が平明であり親み易い點に於て一段の進歩であると思ふ、原田三夫四六版裝幀乙誠文堂價各册一圓

▲少年豐臣太閤　本書は少年藤吉郎の續編として執筆せられたもので勝家の死後天下を悉く平定して外國をも併呑せんとするまでの全傳を記したものである五、六年以上、松本浩記、四六版裝幀乙、大同館發行價二圓

▲少年八幡太郎義家（大久保龍著）少年武田信玄傳（矢澤三子雄著）何れも大同館發行

▲少年電氣物語　電氣に關する知識を少年達に面白く知らせるために童話風にかゝれたもの、餘りに夢幻的なそして感傷的な讀み物の多い現時においてこの書は健實なものとして推奬する。行文も洗麗にして又趣味も豐かに書かれてゐる。五、六年程度、桑田春風著版裝幀で岡村書店發行價八十錢

「西部戰線異狀なし」を讀む

中央公論社が雜誌中央公論五百號記念を機とした處女出版にルマルクの「西部戰線異狀なし」を撰んだ

◇

無名の一兵卒エリヒ・マリア・ルマルクの「西部戰線異狀なし」が大戰十年後の今春出版されて八ケ月八十萬部といふドイツ・レコード、同じ期間に十五ケ國語二百萬部といふ國際レコードを作りあげ質的にもノーベル賞候補に擬せられたありとあらゆる批評、左翼作家エルンスト・トラアが「最高の大戰ドキユメント」と折紙をつけると、大統領ヒンデンブルグが「各家庭必携の書」と應じる。だがそれらの中で最も注意すべきはアンリ・バルビユツスが「目的意識を以て書いたものでなく、正に眞實そのものを正面からむき出しに書いてあるだけに讀者に與へる感銘は直接的で深刻だ。その點我等作家の到底企て及ばないものがあり、大に學ぶべきものがある」と書いてゐる。

◇

主人公パウル・ボイメルが七人の級友と共に志願兵として出征する十八歲の多感な魂があらゆる近代的武器を動員して西部戰線の三ケ年を經驗する。

◇

戰爭、△△、人間愛等々に對する疑問が起る、然し戰線は直ぐさま彼等を再び「獸」にする。そして譯者に秦豐吉氏を得たことは氏の名筆以外に、氏の「後備軍曹」がこの譯書を完全に日本のものとしてゐる。戰爭の可能性が地上から消失しないかぎり、本書の特殊な訴へ方も亦消失しないだらう。

大連の夜を吸ふ
秘密のダンス倶樂部
ダイヤ針が接吻する頃
尖端をゆく…(10)

午後六時！

靜かな黄昏です。紐育に旅した夫はまだ／＼地球の半分を廻らねば歸つて來ません。泥棒用心に飼つてゐるシエパアードがコスモスの枯た莖の畔がりを、ガサ／＼潜つてゐます、新月は青白く冴へて來ました。K夫人は氷の上に坐つてゐるやうな憂鬱さでソフアーに凭れてゐます、彼女はバルセロナのレコードを聞かうと思ひました、せめては輕快なフオツクス・ストロツトのリズムで冷切つた心を暖めたいばかり……ダイヤ針は圓盤に接吻しました。バルセロナの旋律が淡紅色の壁にはづんでゐます。

▽――△

K夫人の顏は遂にメリケンカーネーシヨンの生き／＼しさで花瓣を開きました。細つそり恰好の良い足は翼を貰つたやうに輕やかな跳躍が呼吸づきました。

▽――△

午後九時！

海に向つてゐる星ケ浦の丘陵です有りたつけの窓から電燭を泡だつた石鹸水のやうに青磁色の薄明へ溢らしてゐる某大會社員M邸です大連富士がその背後に黒々としたなだらかな外輪線を浮かばせてゐます。大連の方から少しつゝ時を隔てゝは、ヘッドライトの光芒を振りかざして此の家を仇のやうに目蒐けて矢のやうに走つて來ました。窓の外には競馬場の白い木柵が風車のやうに廻轉する五十哩のフルスピードで……ルームランプの淡い描出は若い男がさなくば女ばかりです。自動車サイレンでM邸のポーチの扉が開かれます。扉からは濕つた電燭か迸しつて客人を輝かしく照らします。HEもSHEも素晴らしく洒落切つた姿です。

▽――△

男はタキシード、女はどうらんで太陽樣が見たら手巾を唇にしておホ、と噴き出しはせぬかと思はるゝ獵奇的なメーキヤツプです。窓の外ははるかに大連の街の灯が月光のをほんのり焦がし、山縣通は聖德街の灯が北風にふるえて見えます。

▽――△

午後十時！

男達はギブスンマテニーのコクテールに輕い疲れを休めてゐます、女達はポンチに饒舌を濡らして風の日の楡林のやうにはしあいでゐます。彼等はみんな緋の衣を着た戀の獵犬です。一つの微笑み一つの歩み、一つの顫草にもモダニズムの洗練された技巧が輝いてゐます。醜、氣狂ひた若い辯護士夫婦顏面神經痛にグロデスクな笑ひをする滿鐵社員ロシヤ語を片言で饒舌る婦人科の醫師、母が日本人、父がドイツ人で上海に生み落された生れながらコスモポリートな混血青年、るいれきを氣にしてゐる某大會社員の娘、老た建築技師、さうした紛然雜然とした中にはK夫人はすんなりした細い足を一きは眼立てゐるのでした。

「まあ船が走つてゐますわ、御覽遊ばせ、あの可愛い航海洋燈の灯を、詩的ですわね」

K夫人の苺のやうな唇に、人々の觀線は黒い水平線に動いてゐる汽船を見やる丈けの禮儀を忘れてはゐません、やがてバレンシヤーのヂヤズが鳴り出しました、エナメルの靴とフエルト草履が廣間一杯に爪立ちしてゐます、酒と香料と踊に夜はなか／＼疲勞しません【この項つゞく】

英皇室へ御答禮に
高松宮を御差遣
明年六月英國に御渡航
宮内省公表

【東京廿二日發電】先き邊では曩に英國皇帝陛下より天皇陛下へ御贈進のガーター勳章捧呈のため本年五月同國皇族グロスター公殿下御來航あらせられたるにつき右御答禮として高松宮宣仁親王殿下を同國へ御差遣相成るべき旨二十二日正式御沙汰あらせられた、宣仁親王殿下には明年六月英國に御渡航御任務御終了の上各國御巡歴の御豫定で御旅行中は別に御假名を用ひさせられぬ御由である

兩殿下御揃で
歐洲御巡覽
公式御待遇は一週間
着々と御準備すゝむ

【東京廿二日發電】高松宮殿下には明春二月中は賢所大前に於て德川喜久子姫との御結婚式を擧げさせられ四月二十一日乃至二十二日横濱解纜の鹿島丸にて御鹿島立ち遊ばされ御都合に依つては五月始めの香取丸にて御出發の御都合である、兩殿下には先づフランス、マルセイユ御上陸パリーに向はせられ一ケ月近くパリーに御滯在それより御渡英遊ばされ英國皇室に御答禮參内遊ばされ一週間位で公式御待遇を御辭退の後一月の御豫定で國内を御巡覽それより再度佛國に至らせ次でスペイン、イタリー、トルコ、ドイツ等を御巡覽の御意嚮で目下曾て秩父宮殿下御渡歐の際御先導役を承りし宗秩寮の松平慶民子を中心に彼地大公使館とも打ち合せ御準備を取り進めてゐる

家賃値下げの叫び　昨夜の演説會

病床の母を大事にせよ
聖上にお言葉を賜ふ
憲兵大尉の光榮

【水戸二十二日發電】天皇陛下行幸の爲め去る十一日來水戸に在つて憲兵第三分隊長として御警衛に當つた宇都宮憲兵分隊長村田直實大尉(三)は十二日母堂病氣危篤の報に取敢ず歸宅したが、母の激勵により再び來水御警衛の任に當つたこと畏くも天聽に達し、天皇陛下には二十一日午前十一時五十五分同大尉に拜謁仰せ付けられ病床の母を大事にせよと優渥な御言葉を賜はつた

若槻全權の否認決議を可決
軍縮會後援會にて

【東京廿二日發電】海軍々縮會議後援會發揮人會は廿二日午後一時半より赤阪溜池三階堂にて開會民政黨原脩次郎、中村啓次郎、牧山耕藏氏以下五名政友會田邊熊一、内田信也以下三名、中立中西六三郎大竹貫一其の他菊池中將外四十餘名出席先づ廿五日午後一時より靑山會館に有志大會を開催するを決した後右大會に附議すべき宣言決議を滿場一致可決するや中川良長男緊急動議を提出し

若槻全權が某疑獄事件に關係ありとの疑を懷かしむるに至つた事は甚だ遺憾で我等は斯る人物を帝國全權として國際會議に派遣する事には反對する

と述べ議場は俄然緊張し贊否兩論に議場は混亂に陷らんとしたが結局大多數を以て

若槻全權を否認する

との決議を可決し直に實行委員を擧げ若槻全權に辭職勸告をなすと共に濱口首相を始め朝野の要人を訪問右決議要旨の貫徹を期する事とし四時散會した

家賃値下の第一聲を擧げる
正しき要求を力説した
昨夜の演説會盛況

大連に於ける家賃値下げの第一聲を放つ市民倶樂部主催の演説會は廿二日午後六時半から歌舞伎座に於て開催された、之より先聽衆は自己の生活上重大なる利害關係ある問題だけに會開前より續々詰めかけ定刻前既に滿員、田中由次郎氏の開會の辭に始まり各辯士は經濟上から社會政策上から又政治的見地から家賃値下げの急を説き正しき要求を聽衆に訴へて氣焰を揚げ、一方公私經濟緊縮委員會の矛盾せるスローガンを、論難して多大の共鳴を得頗る盛會裡に九時半散會した

朝鮮某疑獄事件で五名を起訴に決す
不起訴に内定した山梨前總督
きのふ再取調べを

【東京廿二日發電】朝鮮某疑獄事件に絡む山梨前總督の五萬圓收賄問題は東京檢事局の取調べ一段落を告げ山梨大將が不起訴と内定せるほか被疑者中收賄幇助肥田理吉(收容中)收賄幇助辯護士大井靜一(收容中)收賄幇助後藤長英(不拘束)贈賄川崎鐵之助(不拘束)贈賄川崎鐵三(不拘束)等は起訴決定してゐる、なほ山梨大將は二十二日午前五時三十四分鎌倉發上京十時より東京地方裁判所檢事局に出頭取調べを受けてゐる

疑獄事件取調べの經過等を首相聽取

【東京廿二日發電】濱口首相は午前九時川崎司法次官を召致し某重大疑獄及び某地疑獄事件取調べの經過並に廿一日の檢事當局首腦部會議の結果を聽取した

消費中央配給所開き遲る

新築なつた滿鐵消費組合中央配給所は既報の如く二十五日から開業の豫定であつたが準備に手間取り開業は少し遲れることゝなつた

大連署でも徹宵警戒

旅順鮫島町派出所詰庄野巡査を刺し重傷を負はした兇賊の行方に關し旅順署は全力を擧げ搜査中であるが、旅順署に出張、種々打ち合せの上二十二日夕方歸署した上部山形刑事の復命により未だ何等の手掛りない事を知つた大連署では過般の吉田巡査部長殺し犯人の例もあり大連署管内に潛入してゐないとも限らぬので同夜非番巡査を召集し徹宵搜査警戒した

極度に惡化し警官に暴行
青島の不良工人團

【青島特電二十一日發】今朝九時三十分頃より七百餘の不良工の一團は惡化の極度に達し、兇器、棍棒を携へ大擧滄口、鐘ケ淵紡績に押掛け、同工場を包圍したが、工場の警備嚴重のため容易に侵入することが出來なかつたので、機を狙つてゐたが折から急報に接した滄口日本警察派出所より寄柳、猪原の二名が同工場に馳付けたが門前に於て群衆の包圍を受けさんざんに暴行された、なほ同時頃に所用のため同場に來りし二名の者も殴打され孰れも重輕傷を負ふたので鐘紡醫局に收容、目下手當中である、同工場を包圍した不良工集團中には支那巡警の帶劍を奪取し拔刀隊を組織して工場に亂入せんとしつゝある、滄口街道はこれ等の暴力團のため通行杜絶となつたので滄口の紡績は全部休業閉鎖狀態に陷つてゐる

嚴重抗議で遂に解決
廿六日に就業

【青島特電二十一日發】數日に亘り不良工人の集團が暴動化して各工場を包圍し、彼等の暴行は停止するところを知らざりしが、藤田總領事の嚴重なる抗議の結果八月九日より閉鎖中の紡績問題は本日午後五時無事解決し、來る二十六日より一齊に就業の旨總領事より發表された

クレマンソー氏危篤に陷る

【パリー二十二日發電】クレマンソー氏は一時病勢持ち直してゐたが昨夜發作あり危篤狀態に陷つた目下カンフル、モルヒネの注射で僅かに持つてゐるだけである

大連線空輸を一週六往復に
來春の四月一日から

【東京廿二日發電】日本空輸の大連線定期航空は目下隔日一週三往復の處來年四月一日より之れを毎日一週六往復と改める事となつたダイヤグラムは航空局で研究中である

滿日川柳會

滿日柳壇投句家の滿日川柳會は今二十三日午後六時半から本社樓上に開催する、來會者は兼題句を當日持參されたく尚ほ當夜の席題の優秀句には各三位までに粗景を呈する(會費不要)

兩消防手表彰
臨機の消火で

大連消防屯所消防手伊黒武夫、同森山菊三郎の兩名は廿日午後七時ごろ西廣場通行中近江町一番地東洋亭こと山本榮吉かた裏手より黑煙濛々と立ち昇るを發見、馳付けたところ堆積せる藁束より發火し正に同家その他に延燒大事に至らんとする危險狀態にあつたので臨機の處置を講じ直ちに消し止めたその注意周到にして機敏な行動は功勞顯著なる者ありと高山大連消防共濟會長より二十二日附金一封を贈り表彰された

重傷者が手術中絶命
關係者取調べ

廿内鸞町五番地滿鐵沙河口工場員龍山常吉(三)が廿一日午前八時三十五分ごろ工場構内においてトラツクを後向きで運轉中構内貨物列車と衝突し重傷し手當の甲斐なく絶命した龍山の死亡については最初工場内において負傷せるにも拘らず同工場では右事件を當局には屆出でず更に大連醫院では龍山を收容後約一時間も待たせたる後附添人が手術の際立會ひを求めたるも醫院側では之れを拒絶しその術中に死亡せるもので同醫院の措置については相當各方面より疑惑の眼を以て見られて居るが、沙河口署では廿二日午後三時ごろ屆出により漸く判明し目下各關係者につき取調中

全滿籠球の選手權大會
愈よけふ開催

滿洲體育協會主催全滿籠球選手權大會は愈々本日午前九時より一齊に大連一中、二中兩コートに於て開始されるが、中學校の若人連が百錬の古豪に對して如何なる戰振を示すであらうかと言ふ點に最も大きな興味が懸けられてゐる、尙優勝戰は午前二時半より二中コートで擧行される、一回戰の取組次の如し

▲大連二中對南滿工專▲鞍山中學A對YMCA(二中コート)▲滿鐵對大連商業▲大連一中對鞍山中學B(一中コート)

けふのラヂオ

昭和四年十一月廿三日(土曜日)

自午後〇時三十分　ニュース

自午後三時三十分　ニュース

自午後七時

一、ニュース
二、兒童科學講座(…)大連神明高等女學校前田政次郎
三、ヴァイオリン獨奏(イ)小夜樂ドリゴ作(ロ)顫奏曲第四樂章ゴダード作(ハ)思ひ出ドルドラ作　ゴルトン
四、箏曲(御山獅子)尺八辻泰正、三味線富森大檢校、琴外山夫人
五、映畫物語(今年竹)解説松葉時朗、伴奏帝々館管絃部
六、支那唱(別窖)唱王紅寶、師付王振泉
七、料理献立
八、天氣豫報

父王公治字召棠儀本月十七日午前四時病死致候に付此段辱知諸彥に謹告し且生前の御厚誼を感謝致し候　敬具

追而本月卅日午前十時より午後四時迄小崗子宮に於て告別式十二月一日午前十二時葬儀執行可致候

嗣子　任慶琴

親友總代　山崎平吉　高崎弓彥　伊藤久太郎　赤塚彌太郎　張本政　麗陸堂　劉仙洲　邵愼亭　周子揚　周作之　遲子祥　孫子林　安春和　黄信之　任召南

愛慾の窓 (166)

戸川貞雄作
浅枝次朗畫

狂瀾（一六）

てる子を自動車で送り出すと、実知子は倭文子の導くまゝにまた長い廊下を倭文子の居間へと引返すのだつたが、丁度應接間へ折れ曲つてゐる廊下の角のところで、そこに突立つてゐた英輔とばつたり顔を合せた。

「……実知子さん、今の不作法なお客さんは何うしました？もうお歸りですか？」

彼は照れ臭さうに葉卷をくゆらしながら、冗談とも皮肉ともつかずさう云つた。

「……え、今、お歸りになりましたわ、あなたに呉々もよろしくと仰有つて」

と、実知子は皮肉に應酬した。

「さうですか……でも、仲々面白い人ですね」

と英輔は倭文子の顔色を覗ひながら「……如何ですか、よかつたら應接間でお茶でも飲みながら話しませんか？倭文子、お前も一緒に何うだね？」

「はい……。でも、わたし達はまだこれから大切な相談をしなければならないんですわ」

冷やかに、倭文子は拒んだ。

「さ、実知子さん、まゐりませう」

そして彼女等はそのまゝ廊下を急ぎ足に倭文子の居間へと立ち去つていつてしまつた。

英輔は、唇を噛むやうにしながら、暫くはその後姿を睨んでゐた。

居間にはいつて、ぴたりと襖を閉ざすと、倭文子は実知子の方に押しすゝめた火鉢に手を翳しながら

「……わたし、今までどうしようかと考へぬいてゐたんで御座いますけれど、やはりこれは思ひ切つてあなたのお耳に入れて、あなたのお考へを伺つた方がいゝと思ひましたので」

と聲を落して切り出した。

実知子は眼でうなづいて、膝をすゝめた。

「……他でもないんですが、實はわたくし、兄を殺した犯人を存じてゐますの」

「えッ？何ですつて……？」と、実知子は飛び上らんばかりの驚きに聲を擧げて、倭文子を見た。「まあ！それは本當のことで御座います？のそれならそれで何故もつと早く打明けて下さいませんでした？のそれがわかつてゐるさへすれば、草野さんを嫌疑から救ひ出すことは造作もないことですわ！」

「……でも、その犯人はもうこの世に生きてはゐないんです！」

と、倭文子は悲しげに強くやうに云つた。

「生きてゐなくても一向差支へないぢやありませんか。確な證據さへあればいゝんですわ！」

実知子は膝をすゝめた。

「……その證據が無いのです！いゝえ有つたのですけれど、今は無くなつたんです……それでわたしも苦しんでゐるんですわ……」

「……で、その犯人と仰有るのは？」

「……亡くなつた小森の父なんで御座います！」

「えッ？あの小森さんの……！あの自殺を遂げた……？」

「……さうです！」

「ではその證據と仰有るのは？」

「……男は、自殺を遂げる前に、二通の遺書を書き殘したんです！一通はわたし共夫婦に宛たもの、もう一通は警視廳へ宛た手紙です。といふのは、これはわたし達夫婦以外誰も知らない秘密なのですが男の自殺の原因は、世上に流布された事業上の失敗などにあつたのではなく、實をいへばわたしの兄を殺したことに對する良心の呵責が主なものだつたからですわ。ですから男は、その遺書にわたしの兄友永を帝國ホテルで殺した犯人は自分だといふ事實を認めて死んだのです……だのに、その大切な遺書を、小森は燒き棄てしまつたんです！」

「……え？小森さんが燒き棄てしまつたんですつて？」

実知子は餘りに意外な秘密を打明けられた驚きから自分を取直して、考へ深さうな眼をぢつと伏せてゐたが、静かに後言を擧げると

「……燒き棄たといふのは確かでせうか？まだあの人は匿して持つてゐるやうな氣がしますわ！」と叫んだ。

滿日俳壇 募集規定

次回課題「氷」「肩掛」「草枯」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十一月二十五日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛

滿日文藝

滿日柳壇

『腹』　小倉蜂朗子選

白雲
はつきりと腹たてかける膝を寄せ
なの葉
ヨイトマケお腹がへつた樣な聲
喜良久
離緣狀腹から先にたしかめる
滿山
すき腹へ午のサイレンよく響き
李堂
空腹になると子供は戻つて來

五客

瓦房店　登志郎
缺損へ發起自腹で義理を立て
大連　若葉冠
腹掛へ今日も無難な錢の音
奉天　伽羅王
腹違ひ父父でない日を恐れ
旅順　榮九郎
謠曲は腹から聲を絞り出し
沙河口　溪醉
窓際の金魚の腹へ眞晝の陽

（人）
旅順市元寺町　鈴木日山
腹違ひどこやら姉は淋しい子

（地）
旅順市船手町　岡野榮丸
伊達卷は胸から腹へ派手に卷き

（天）
旅順市敦賀町　小關三笑
腹掛の唄が木の香の風で來る

軸
腹立ちをこらへ窓の八ツ手の葉

新刊紹介

▲實業界（十二月號）定價金五十錢、東京市麹町區平河町六の二 四實業界社發行

▲產業組合日記 產業組合實務提要、登記事項一覽表、產業組合法、同施行細則其他各種の附錄あり（定價大型一圓五十錢、ポケツト型六十錢、東京市外巣鴨一四五一旬刊產業組合新聞社發行）

▲新天地（十一月號）橘樸氏の「汪兆銘と蔣介石」大藏公望氏の「ムツソリーニ治下の伊太利」其他多數の興味深き讀物あり（定價金二十錢、大連市楠町七四新天地社發行）

夕刊
滿洲日報
十一月廿二日

勞農軍の襲擊を豫想し 滿洲里の支那陣地放棄
札來諾爾より海拉爾に後退か 邦人も引揚の外無し

【ハルビン二十一日發電】支那側の消息に依れば滿洲里方面の支那軍は既に彈藥盡き且つ札來諾爾方面に在る露軍の爲めに後路を遮斷され同地は依然孤立の狀態に在り露軍襲來せば全滅の外ないので梁司令は札來諾爾方面を迂廻し海拉爾に後退すべく滿洲里方面の陣地放棄を決意したと、滿洲里市民も軍隊護衛の下に引揚げるらしいが右事實とせば田中領事以下邦人も引揚げる外あるまいと、因に滿洲里在住邦人は二百名である、通信依然不通の爲め眞相不明

坑夫六百名生埋め
勞農飛機の爆彈投下で

【ハルビン二十一日發電】ツアガン驛に在つた支那軍用列車四個列車は露軍飛行機の爆彈に依り粉碎され多數の死傷者を出した札來諾爾炭礦では勞働者約六百名生埋めとなつたと、露軍は引續き奇襲を試み戰鬪擴大の形勢に在るので支那軍は海拉爾方面鐵道其他各機關及び住民引揚の爲め特別列車を海拉爾に急行せしめた、萬福麟氏は白系露人の特別軍編成に着手した、斯くて西部國境の形勢益々險惡となつた

勞農軍密山攻擊
支那軍の死傷者二百名

【ハルビン特電二十二日發】東部線密山、梨樹鎭方面において勞農軍の混成隊は廿日飛行機掩護の下に攻擊を開始し支那軍に約二百名の死傷を與へて退却した

支那側滿洲里救援に焦慮
食糧彈丸不足のため

【ハルビン特電二十二日發】勞農軍の札來諾爾攻擊はパルチザン式のものにあらず飛行機並びに砲兵掩護の下に正規の混成軍約二千を以て堂々と行動したもの〻如く主力はアバガイドより南下したもので支那軍隊十七旅は全滅に近き損害を受けた
滿洲里の陣地は勞農機の爆彈投下のため顚覆は粉碎され痕跡を止めず、破壞された鐵道の復舊は結氷のため進捗せず十七日から五日を經過せる今日依然滿洲里との連絡復舊せず、ハルビン滿洲里間の電話により僅かに前方の狀況を知る程度である、札來諾爾を偵察した支那飛行機の報告によると破壞された列車は現場に放置され勞農軍の襲擊に射殺された死體らしきものが白雪の上に黑胡麻を撒いたやうに所々に黑點を印し、炭礦の火災は鎭火したか火焰を認めず とあり、列車乘客中勞農軍の銃劍に露と消えた支那將校もゐる、破壞線路の復舊が敏速に竣工せぬ時は袋の鼠同然の滿洲里の支那軍は食糧や燃料の缺乏と肝腎の彈丸不足から
白旗を掲げねばならぬだらうと邊防軍司令部では必死となり海拉爾兵站部では食糧と彈丸の補給連絡に焦慮してゐる、尙東鐵では廿一日避難民のため特に煖房裝置の四等客車三百輛を海拉爾に急送した

黑河の邦人婦女
橇に乘つて避難
吹雪中を齊々哈爾へ

【ハルビン特電二十二日發】危險迫れる黑河から十八日日本婦女子十七名は吹雪の中を橇により齊々哈爾に向つて避難出發した、其他の外人等も引揚げた

勞農機海拉爾襲擊作業

【ハルビン特電二十二日發】勞農軍は海拉爾に在る支那飛行機五臺を爆破すべく第二の計劃を樹てゝ

支那軍の野戰病院增設

【奉天特電二十二日發】從來支那側當局の防禦戰傷病者を收容する野戰病院は綏芬、哈爾賓に設置されてゐたが最近國境における露支戰況は支那側不利で多數の負傷者を出し前記二ケ所だけでは收容し切れぬため更に增設することになり海拉爾、同江、滿站の三ケ所に經費十五萬元宛を投じて野戰病院を建設することゝなり張學良氏之が急設方を赤十字會長許蘭洲、副會長王汝助の兩氏に命じたが工費は十五萬圓宛で邊防部軍需處より發給することゝなつてゐると

奉天における仙石總裁
（上）張學良氏と滿鐵公所にて（下）北陵 氏別邸訪問

セ將軍から建議の敢死軍組織を拒絕
各地白系露人を警戒

【吉林特電二十二日發】吉林邊防司令部要人の言に依れば、白系露人の首領セミヨノフ氏は本月十二兩日に亘り奉天張學良長官、張作相氏に面會を求めたるが兩氏とも體良く之れを拒絕した、右セミヨノフ氏の兩氏訪問の目的は吉林省に於ける白系露人を以て敢死軍を組織して勞農軍を討伐する計畫であるから東北省の相當援助を與へられたいと云ふのであるが右の言動に徵しセミヨノフ氏は吉林省各地に散在する白系露人と氣脈を通じて此際何事か秘密に畫策して居るらしいので、張作相氏は早速吉林代理主席熙洽氏をして省內軍警各機關に密令を發し在住露人の行動を嚴重査察すると共に一面露支問題解決する迄は各地在住露人は其現住地を離れざる樣監視せしめてゐると

顧問官院長內奏

【東京二十二日發電】濱口首相は二十二日午前倉富樞府議長からの電話を待ち直に宮中に參內樞府顧問官岡田良平、水町袈裟六兩氏、會計檢査院長湯淺倉平氏を內奏し一旦退下午後宮中の御都合を伺ひ親任式を擧行することゝなつた

熱河軍一部
遼寧省に移駐

【奉天特電二十一日發】張學良氏は熱河省主席湯玉麟氏に命じて同地駐屯の軍隊二箇旅を遼寧省に移す事となり既に步兵第三旅何柱國所屬部隊は義縣に又騎兵第一旅郭希明所屬部隊は海路より通遼に移駐したと

新聞原稿檢閱
戒嚴司令部で

【ハルビン特電二十二日發】戒嚴司令部にては廿一日から一切の新聞原稿の檢閱を開始した

荻川放談（123）
戰雲濃し

戰雲は支那の中原に濃く、南方にもその動きを觀る、蔣介石が勝つか、反蔣派が志を得るか、將亦第三者が興つて、此騷擾を鎭めるか、どちらみち斯うした經路を履むべしと思ふが、然らばそれで支那は和平統一かと云ふと仲々に爾かくは捗々しきものであるまい、內治を忘れ、外交などで體面を繕ひ、甘味を吸ひ因つて以つて國家の威信、否寧ろ自家を保たんとするが如き、爲政當局者が幅を利かす限り、支那は拯はれぬ、內に努めて外に展ぶべし、現代に於ける支那の革命志士はそれこれを違らねばならぬ。

◇

それはさうとして、一朶の戰雲は更に北滿を覆ひ、之がまた最近に著るしく眼に立つ、而も此戰雲の起るは內治ならぬ外交で、こゝに支那爲政當局者の外交振が察せらる、尤も此根元を洗へば、ロシアにも不法があれど、支那にも無理があり、不法と無理との衝突で、其不法と無理との裏面には等しく利慾が潜む、乃ちロシアは一たび手放した東支鐵道に齧りつき、其隙を本據として、支那の赤化、云へば支那を乘取らんとし、支那はさはさせじと爭ふうちに、東支鐵道の世帶を狙ふ。

◇

東支鐵道を爭ふは好いが、支那側の其世帶を狙ふは革命資金を獲んとするなり、資金を得て政敵を倒さんとするなり、政敵を倒して權威を張らんとするもので、此權威に憧るゝは、革命を成就せしめんが爲よりも榮達を欲するが故で、青年支那は革命に生きんとして居るが、國民は少しでも志を遂げれば、皆そうした途に落ちて行くから遣り切れない、東支鐵道に對する無理もそれからで、謂はば國家本位いが、ロシアの不法は國家本位と云はうか、主義本位と云はうか、其處に聊か支那との衍違ひがあるではないか。

◇

東支鐵道を中心とする露支の抗爭に衍違ひがあるとして、これが現在を觀察せんか、兩者ロシア側に活氣の生じ來つた觀がれる、曾て本放談で書いた通り若しロシアが本抗爭に攻勢を採るならば、多季松花江が結氷せば之を除き、綏芬、黑河、滿洲里方面からの分進合擊が豫期せられ、支那の爲には不幸の言をなすやうだが、遣次露軍の札來諾爾侵入を事實とせば、形勢は此豫期に進むでないかと思はれんでもない、當面に立つ奉天側も氣が氣じやあるまい、軍費は要る、徵稅は餘儀なくされる、民衆間に不平は起る、中原の戰雲は濃し、そこへ之を相談しても乘つては吳れまい、之に處する途や如何に。

關稅答申案原案通り可決
きのふ審議總會開會

【東京廿一日發電】廿一日の關稅審議會總會は特別委員會案通り答申案を可決した
我國現行關稅率中には徒らに過當なる保護を持續し又は既に其の必要を失いたるにかゝはらず尙これを改訂せざるものあり而して之に該當する物品にして審議を了したるものに對しては左記の方針により改正するを適當と認む

一、綿織糸 輸入稅表第二百七十二號一の項綿織糸關稅は現行より約三割五分輕減、ミユール製其の他我國產出なきもの產出高尠なきものは無稅
二、鐵の筒及管 輸入稅表第四百六十二號一三筒及び管中外徑百六十七ミリ長さ五メートルを超ゆるケーシング外徑百十ミリ長さ五メートルを超ゆるアプセット、ドリル、パイプ及び之等のジョイントは無稅
三、生糸 輸入稅表第二百八十七號二生糸中廣東糸は無稅七里糸は稅率を從價一割五分に引下げを適當と認む
四、牛肉 稅表第五十二號一の甲牛肉關稅は無稅
五、高粱 稅表第十八號高粱の關稅は無稅
六、セメント 稅表第四百卅二號ポートランドセメント、ローマンセメント、プゾラナセメント其他類似の水硬セメント關稅は現行每百斤三十錢より五割を輕減し十五錢とす

駐日英大使
幣原外相と懇談

【東京二十日發電】英國大使チリー氏は今朝十時五十分幣原外相を外務省に訪ひロンドン軍縮會議問題につき懇談した

英炭坑夫同盟會長

【ロンドン十九日發電】イギリス炭坑夫同盟會長ハーバート、スミス氏が今回辭職せるにつきトーマス、リチャーズ氏滿場一致其後任に選擧された

關東廳明年豫算
目下西山財務部長から大藏當局に承認折衝中

【東京特電二十二日發】關東廳明年度の豫算は既に拓務省の議を經て大藏省へ廻附され西山財務部長が折衝說明の任に當つて居るが臨時部に屬せる輸出保證に關する經費二十四萬圓は新規要求の費目であるが其他にありては學級增加等に伴ふ教育費の增加九萬五千餘圓警察費の增加二十四萬餘圓でこれは警備の擴張充實を圖ることになつて居る又郵便電信電話の擴張費二十五萬七千餘圓は遞信局所管に於て必要の施設を行ひ一方にはそれだけの增收を見込んであるが外に產業助成費の增加六萬圓は地方費の振替で明年度より關東廳定となすもの壓業補助を主とし又營繕土木費の六十七萬五千餘圓は每年度と同じく廳舍其他の營繕に充當するもので各年度に比し寧ろ少額の方であるが緊縮豫算に於て之れだけは數字の增加を見ることゝなり夫々承認を求めて居る

滿洲醫大の學位問題を陳情
稻葉學長廿二日上京

【奉天特電二十二日發】滿洲醫大學位問題は現狀のまゝでは容易に解決する見込みたゝず又調に進んだ處で解決までには相當期日を要すべく學校當局も種々對策を講じ之が解決を急いでゐる、元來植民地關係のものは拓務省で取扱はれ植民地以外の關係各大學に對する學位問題も未だ決定されずそこへ醫大の學位問題が提出されて文部拓務兩省に於て之を何れが處理すべきかさへ其儘となつてゐる今日今度果して文部省で之を取扱ふことになつたとしても如何なる方法で進めて行かれるか更に一大問題で

醫大問題が解決すれば植民地關係各大學即ち京城、臺灣、旅順工大の學位問題も自から解決する譯で稻葉醫大學長はこの重要問題をひつさげ廿二日安奉線急行で東上したが上京後は文部、拓務兩省當局と該問題解決促進につき打合せをなし十二月二十日頃歸奉の豫定である

蒙古牛六百頭
樺太へ輸送する

東亞勸業會社江田博伊藤外人兩氏は去る十月八日蒙古牛約六百頭を信濃丸に積込み大連出帆樺太へ向つたが完全に樺太バイカルに陸揚げし之が牧草人夫支那人三十五名を連れ廿二日香港丸にて歸連

工業代表土產話
次ぎの開催地は未定
製產の合理化が必要

萬國工業會議に滿洲より出席の學界の旅順工大學長井上禧之助氏および大連機械製作所專務森川莊吉氏は打揃れて廿二日入港香港丸で歸連したが井上學長は簡單に
內地で貴紙を拜見したが貝瀨丸禪氏が云はれた樣に大變盛大な集りで工業會議も動力會議も學術會議としては立派なものだつた、新聞で見ると次の開催地がシカゴの樣に報ぜられてゐましたがこれは決議までは至りませんでした、今度どこで開催するにしてもインビテーションを發してから二年は時日を要すると思ふからまあ三年位後の話だらう
同じく森川氏も語る
私は此機會に內地の各工場及び機械工業について視察して來た一昨年歐洲と昨年アメリカを見て來た私の眼に映つた日本の機械工業界は素晴らしい發達を遂げて殊に東京の復興に關する幾多の資料を見て來たが歐米の機械力に比較して何等遜色のないものだつた、只今少し日本の資本家も被傭者も合理化した製產に目覺めたら好いと思つた、一方機械力の發達は物凄いものだが需要がこれに伴はなくては仕方ないと思ふ、要するに生產と消化の合理化に日本の機械工業者等はもつと突込んで行かねばなるまい、英國なぞでは勞働者の資本家を理解してゐる程度は見習ふ價値があると思ふ

佐分利公使

【東京二十二日發電】佐分利公使は二十一日午前十時幣原外相を訪ひ最近の支那事情につき實地觀察の結果を報告した

青訓證書授與式

大連沙河口青年訓練所では來る二十五日午後七時より沙河口小學校講堂に於て第三回修了證書授與式を擧行する由

仙石總裁
奉天城內を見物

【奉天特電二十二日發】東北省政府代表に對する公式着任挨拶を了へた仙石滿鐵總裁は本日十三時四十分奉天發歸任の途につくが、總裁は今朝は打寬ぎ前日の打つて變つた小春日和の空を仰ぎつゝ午前十時半齋藤理事、鎌田彌助、鄕島、藤井兩秘書役等を隨へ自動車にてホテルを出發奉天城內の宮殿、博物館等の參觀に赴き正午ホテルに歸つた

關東廳辭令（十六日附）

任關東廳法院書記　廣島地方裁判所書記　川上義雄

人事

▲井上禧之助氏（工大學長）廿二日入港香港丸にて來連
▲田中世氏（田中ト氏令息）同上
▲森川莊吉氏（大連機械製作所員）同上
▲高橋梧郎氏（日活社員）同上
▲梅村蓉子（女優）同上
▲岸田菊郎氏（商船天津支店長）同上
▲小松原萬利氏（常盤津師）同上
▲田中亮平氏（パラマウント社員）同上
▲遠藤友吉氏（パイロット）同上

大觀小觀

淨化、合理化、いかなる場合にも必要なり。
◇
ただ泥試合、暴露戰術のみに浮身をやつすは考へ物。
◇
手段と目的とは、常に取り違へぬことが肝要。
◇
だが淨化は徹底を要し、些の疑惑をも掃拭することに努めねばならぬ。
◇
支那側、いよいよ滿洲里を放棄か。ロシヤと支那、まだ宣戰されたことを聞かぬが。
◇
尤も、滿洲里やポグラや、宮館黑河ぐらゐは放棄してもよいといふ支那の雅量か。

天氣豫報

（廿三日）南西の風晴れ一時曇り

日出 六、四四	日沒 四、三五	
滿潮 前 二、一〇	午後 二、三〇	
干潮 前 九、一〇	午後 八、四〇	

勇敢に格闘の庄野巡査 兇賊に刺され重傷す

全署をあげ水も漏さぬ大捜査 今曉、旅順の騷ぎ

吉田巡査部長殺し事件も未だ耳新しき二十二日拂曉、旅順市密行中の巡査が兇賊と格闘して凍てついた街路の雪を血にそめた旅順署創設以來の事件が突發した

重傷にも怯まず 飽く迄犯人を追跡

應急手當の甲斐で生命は取止む 犯人は確かに支那人

鮫島町派出所詰庄野文雄巡査(二五)は同日午前一時二十分頃管内巡視中大津町八番地先に差しかゝつた際突然傍らの露路から小走りに駈出した支那服の擧動不審の男を發見し誰何したところ件の男は逸早く逃走したのですかさず追跡、明治橋畔に於て追ひつき背後より組ついたところ、怪漢は身を翻へして懷中より短刀樣の兇器を以て庄野巡査の

左背部 に長さ五寸、深さ一寸五分の刺傷を負はせ尚もひるまず組伏せんとしたるに、更に第二擊を右胸部に與へて長さ一寸五分、深さ一寸の重傷を負はせ同巡査の少しくひるむ隙に逃走を企てた、剛氣な庄野巡査は重傷に屈せずこれを追跡し兇行場たる花月橋に追ひつめたが、二箇所の重傷より出血甚だしきため漸く歩行困難となつたので一旦追跡をやめ痛苦に惱みつゝも勇氣を鼓舞して三丁餘を距る鮫島町派出所に歸り同僚の井手巡査に事の次第をつげ、本署および各派出所に手配方を依頼、更に傷ける同巡査は井手巡査に「現場には賊の遺留品を忘れて來た、僕が取つて來やう」と云ひ井手巡査の助をかりて

現場に 到り兇漢の遺留したる中古中折帽子を證據品として押收し井手巡査に手渡して關東廳病院に馳せつけ伊藤、磐井兩醫師の手當を受けた、一方庄野巡査の急報に接した旅順署は俄に色めき立ち龍署長自ら陣頭に立ち桑村、鮫島兩警部捜査主任となり全署員武裝して非常警戒につき自動車、オートバイを飛ばせて村落派出所と連絡をとり、折柄急を聞いて全隊員をあげて應援に出動した憲兵分隊員と協力して徹宵水も洩らさぬ

警戒を したが未だに逮捕に至らず龍署長以下全署員は犯人逮捕に必死の努力を續けてゐる、

尚犯人の人相、服裝は深夜のため委しくは判らないが支那人なる事は確實で、身の丈約五尺二寸、丸顔三十歳位で現場に帽子の外短刀を包んだと覺しき古ぼけた西陣友禪の小切れと錠前破壞用に使用する鐵附針金を遺留してあつた、旅順署では右遺留品及現場に殘されてあつた帽子に附着せる髮毛の拔け毛、足跡等により犯人の推定捜査を行つて居る、庄野巡査の傷は手當の甲斐あつて命は取り止め得るも

全治迄 に約一ケ月を要する重傷である

尚庄野巡査は廣島縣生れで拓殖大學を卒業後兵庫縣の英語通譯をなし今年の四月關東廳巡査を拜命鐵嶺警察勤務となり七月旅順署詰になつたもので柔道四段獨身である

常磐津勝藏師

名流演奏會出演のため けふ香港丸で來連

六代目菊五郎内の太夫として東京において今賣出しの最中である常磐津勝藏師は、來る廿七日本社後援にて歌舞伎座において開催される特別演奏會に顏を揃へるため廿二日入港香港丸で來連、盛番あたりの美しいところに迎へられ上陸したが、同師は菊五郎の推薦で立三味線となり東京大幹部合同の歌舞伎へ出て世間を驚かし、年齢はまだ廿三歳だがその道の人達には天才兒と賞讃の聲の高い人である

闇から光明の世界へ 開眼して歡喜の人々

けふ目出度く十二名退院す 無料治療の盲人

◇…豫て恩賜財團慈惠資金に依つて關東廳と大連醫院が協力施行しつゝある盲人の無料治療は既報の如く本月初旬より金州民政署管内を手始めに大連醫院及び同金州分院に各六名宛を收容、盛博士の手に依つて夫々手術治療中であるが

◇…その後二週日餘經過頗る宜しく昨今では二十二日朝全快退院した大連醫院收容の金州王李氏といふ六十三歳の老婆を初め、普蘭店尹谷氏(七四)大滿崔馬氏(一四)猪子窩趙姓俊(六五)底學海(二五)郭士樸(二六)ほか比較的輕症の分院收容の六名、都合十二人全部開眼、或は半開眼となつて何れも十數年來の闇の世界を脱して光明の世界に蘇り窓外の大市街に行き交ふ電車、自動車等未だ見も知らぬ色々なる文明の利器や大建築物に文字通りの驚異の眼を見張り乍ら全く蘇生の幸福を感じつゝ只管にわが聖恩の有難さに感泣し、博士や係員にも謝辭を連發物珍しさうに病院の廊下などを歩き廻つてゐる

◇…それでも初めのうちは中には手術の恐怖にかられて氣も狂ひ闇るといつて騷ぐのを夫や子弟が來てなだめすかしやつと他人の全快を見て受療する等の滑稽なことがあつた、尚慈惠團では本年中更に四十三人も全部施術開眼させる筈である【寫眞は開眼に喜ぶ人々けふ大連醫院で】

滿洲緊縮實行

標語募集締切り

豫て滿洲公私經濟緊縮委員會に於て懸賞募集中の實行標語は二十日附消印迄を受けつけ愈々締切つたが、その應募者は三百六十三人、應募標語は五千句以上に達した、委員會では直に整理して神田會長に報告し近く審査の上公表の筈で係員は整理に大童となつてゐる

奉天行の武器 積み換へて輸送

問題のドイツ汽船から

護照のない武器百五十噸を積んで來た許りに出港もならず空しく埠頭十六番バースに繋留中のリックマース號では芝罘の劉珍年宛の前記百五十噸と共に別口として奉天省ヶ府張學良氏宛の牛莊揚百三十噸即ちベルギー、アントアープ積みの安全實包五千百九十五箱、拳銃五十箱、長銃一箱を積載してゐたが

最初の 計畫では同牛莊行も、芝罘行と共に大連で便船に積換へる筈であつたところ、芝罘揚武器が護照のないためわが官憲に阻まれ今日に至り、しかも

問題は國際化し重大を告げたので奉天行のものは立派な國民政府の護照もあり筋道のたつたものであると云ふので目下龍口にある政記公司公利號の入港を待つて二十四日これに積換へ牛莊に向け積出す事と

決定を 見た、なほ目下本省に請訓中の芝罘行武器の善後處置に關しては未だに何等回答を見ない、と、しかして劉珍年宛武器の護照が發給されてゐない裏面の事情を聞くに最近劉珍年の國民政府に對する態度が曖昧になつたためらしい

滿電バス衝突し 負傷者六名を出す

バックの自動車に通路を塞がれ けさ、黑石礁にて

滿電旅大バスが二十二日朝大連に向ふ途中、黑石礁において自動車と衝突して負傷者六名を出した事件があつた、同バスは木村森市(二七)が運轉、乘客十一名を乘せて午前九時旅順を出發し同十時五分黑石礁廿二番地先きに差しかゝつたところ突然同路傍に停車して居つた市内小崗子宏濟街卅二番地高明タクシー六九號運轉手谷元榮が方向轉換のため自動車をバックせるため路上を塞いだので遂に側面衝突をなし車輪が喰入つたまゝ約十八米突を進行して漸く停車したが、乘り合せて居つた乘客旅順乃木町中村きく(五七)は硝子の破片にて顏面に治療二十日間を要する重傷を負ひ、沙河口德昌公司員于有德(三二)及び大汽船員高島助次郎(四〇)車掌郭玉成(二七)運轉手二名共それ〴〵打撲その他の負傷を受けて直ちに大連醫院に收容した、急報により沙河口署では豐増司法主任係官と共に現場に赴き實地檢證を行つたが、損害程度不明なるも滿電側の被害は甚大の模樣である

日活のスター 梅村蓉子ら來連

「大日活」のご挨拶に 素晴しい埠頭の出迎へよ

市内活動常設館新築のトップを切つた元浪速館主長氏の招聘に應じた日活女優梅村蓉子、日活宣傳部高橋梧郎、パラマウント社神戸支社支配人田中亮平の三氏は、新館大日活の柿葺落しに滿洲の映畫

ファン に挨拶すべく本日のほんこん丸にて來連したが、船中の疲れも見せず三氏交々お互の抱負を語りつゝ出迎への惠良大日活館主代理始め一同の挨拶を受け

て居た、巷間傳へられて居た所の澤出清、夏川靜江の來連を見なかつた事はファンにとつて非常な淋しさではあつたが、それでも九時頃より埠頭待合所に押しかけて居た多數のファンは馴染深い

憧れの スターを取り圍んでドツと叫び聲を上げると云ふ歡迎ぶりであつた、一行のうち田中氏は明後日離連し、高橋氏及び蓉子孃は五日間ほど滯在大日活にて挨拶をなし後陸路朝鮮經由歸洛すると

馬賊五名を逮捕す

盧家屯驛で

【熊岳城特電二十二日發】馬賊三十名二十一日午前九時當地の北方十支里姚家屯で支那官憲と交戰の末北方に逃走したとの報あり、我が警察及び守備隊では驛前を警戒せるに賊五名盧家屯驛に現はれ乘車せんとするを警官驛員協力して逮捕瓦房店に向け護送した賊の所持品はモーゼル拳銃七挺彈丸百發

假裝舞踏會

山縣通りボンペイヴアレーで、廿三、廿四日の兩日假裝舞踏會を開催す

コスト機出發地着

【ルブルージエ二十一日發電】長距離無着陸飛行に新記錄を作つたコスト氏は本日午前十一時三十分當地に歸着した

賑々しく來連した 香港丸のお客樣

寫眞は(上)右から日活宣傳部員高橋梧郎、惠良大日活館主代理、梅村蓉子の諸氏(圓内)パラマウント神戸支社支配人田中亨平氏、(下)常磐津勝藏師

滿鐵劍道昇段 試驗合格者

滿鐵運動會劍道部にては本月三、四、十七日の三日間に亘り奉天、長春、大連にて劍道昇段試驗を施行したが、昇段者左の如く決定した(受驗者七十六名、内合格者三十九名)

西正次、中川清、姫野虎彦、德永齊(遼陽)山崎滿夫、鯉村竹夫(鞍山)是枝照彦、松田忠、水上留夫(撫順)大串繁(奉天)阿部正勝、柏原誠一、神崎邦治、片山勝※(長春)山崎保之亟、楠木正豐(吉林)高野義行、石川溢雄(公主嶺)坂本五郎(大連)以上初段に昇段=山脇菊次郎(遼陽)德森基雄(撫順)藤田新吉、吉出文雄(長)堀梅吉、田島岱壽(吉林)八本正平、關與志雄、板場修(大連)=以上二段に昇段=萬澤正敏(奉天)海老名五郎(撫順)篠原清一郎、大國春次、只熊猛(大連)=以上三段に昇段=竹下榮治、山口安男、小島主一、熊谷政之(大連)黑岩篤高(安東)宮福恒松(鐵嶺)=以上四段に昇段=

滿洲醫科大學氷滑部の ヨーロッパ遠征基金募集

交響樂演奏會開催

滿洲醫大音樂部出演

日時 十一月二十三日(土曜)午後六時半

場所 滿鐵協和會館 (入場料一般一圓五十錢、學生五十錢)

主催 滿洲醫大同窓會

後援 滿鐵音樂會 大連音樂學校 滿洲體育協會 滿洲日報社

台所メモ

品名		量目		
鯛	生	百匁	一六〇	一六〇
ぶり	氷	同	一五	一〇
ほうぼう		同	二五	一〇
たら		同	一	〇五
いか		同	三五	一五
たこ		同	三五	一五
ぐち		同	一〇	〇八
ひらめ		同	一〇	〇五
すずき		同	一五	〇八

保險料値上げ延期は絶望
二月二十日以後の猶豫は會社側讓歩せず

滿洲特產物に對する內地有力海上保險會社の保險率二割方の引上げに關しては東京特產協會の努力により二月二十日迄猶豫に決定したるも滿洲重要物產組合では三月積輸出約定大半を占むる事情に鑑みぐとも更に三月末日迄猶豫すべきよう去る十四日特產協會に對し依賴する所あり鶴首して吉報を待つてゐたが組合側の希望は遂に容れられず、二十一日夜左の如く特產協會の返電あり、結局周圍の事情よりみるも二月二十日以後迄の猶豫は絕望となつた、即ち貴電によりせめて二月末日迄なりと猶豫せしむべきよう種々交涉を續けたるに十三社では二十日最後の總會に於て拒絕に決したるを以て遺憾ながら此れ以上の努力の方法なしと

解禁に直面し金融界警戒
年末資金も引締らう

資金移動繁忙期に直面せる當地金融界は金解禁期日の確定により異常の緊張を示して來た、即ち先物取引の爲替取組に對しては早くも警戒が加へられると同時に商品擔保の貸出も引締めつゝあり出廻り繁忙期に際して特產界には多大の影響があるものと見られる、殊に解禁後輸出不振を招來し商品價格の暴落は免れずとなし勢々內地金利が引締れば滿洲金利も之に追隨し資金の不圓滑を招來するにあらざるやと見られてゐるが兎も角昨今金融業者の態度が急に警戒的になつて來たことは注目すべきである、なほ金解禁に伴ふ銀市場も不振と昨今の銀暴落によつて華商方面に可成痛手を蒙つてゐる者も尠からぬ模樣で年末資金は一層警戒されるであらう

クレヂット設定と米新聞の論調
存外少額に驚く

【ニューヨーク二十一日發電】日本の金解禁準備のため設定せるクレジットに關し本日の各新聞は左の如き批評を試みた

タイムス紙 日本政府は今回設定せるクレヂットを適當に調節し日本產業界を立て直し始める事が出來るであらう然して英米に於いて設定を見たる此のクレヂットも全く日本政府が鞏固なる經濟狀態にある結果に基くものである

ヘラルドトリビューン紙 當地財界では日本が今回設定せるクレジットが案外少額である事に寧ろ驚くものである が消息に通ぜる銀行業者の語る處に依ればクレジットは主として今後日本の圓價の低落を企てるが如き投機的關係が生じたる場合に爲替關係を鞏固に保證するが爲めに役立たせるのが其の主なる目的である

紐育アメリカン紙 當地銀行界に於て諒解する處に依れば日本大藏當局は日本が外國のクレヂット援助を必要とせずして金本位制に復歸する能力を有する事を確信してゐる夫れがため今回のクレジットは全然彼の聯合國諸政府が自國財界の安定のためクレジットを設定したると同樣なる準備保證の性質のものと考へられる

ジャーナル、コムマース紙 當地銀行界の觀測では米國財團では日本の爲に、より多額のクレジット設定に應ずる意嚮を有してゐたが日本當局はより多額のクレジット設定を不必要なりとしたものである

朝鮮總督府金銀解禁令
けふ公布さる

【京城特電二十二日發】齋藤朝鮮總督は二十二日正午府令第百號を以て左の如く發令した

一、大正六年朝鮮總督府令第六十五號(金銀貨幣又は金銀地金の輸出に關する件)

一、大正七年朝鮮總督府令第八十五號(金若くは銀を主たる材料とする製品等の輸出に關する件)

附則 本令は昭和五年一月十一日よりこれを施行す

英蘭銀行利下げ
六分から五分半に

【ロンドン二十一日發電】イングランド銀行は割引率を五厘引き下げ六分より五分五厘に改訂した尙最近に於ける同行公定割引步合變動左の如し

一九二七年四月廿一日 四分五厘
一九二九年二月七日 五分五厘
同 九月廿六日 六分五厘
同 十月三十一日 六分
同 十一月二十一日 五分五厘

愛蘭中央銀行

【ダブリン二十一日發電】アイルランド自由國中央銀行は其の金利を五厘引下げ六分とした

諾威中央銀行

【オスロー廿一日發電】ノールウエー中央銀行は其の金利を六分より五厘引き下げ五分五厘と本日改訂した

世界主要國の中央銀行金利

十一月二十二日現在に於ける世界主要國中央銀行の公定割引步は左の通りである

銀行	金利
日本銀行	五分四八
紐育準備銀行	四分五厘
英蘭銀行	五分五厘
佛蘭西銀行	三分五厘
獨逸國立銀行	七分
白耳義國立銀行	四分五厘
伊太利銀行	七分
和蘭銀行	五分
瑞典銀行	五分五厘
丁抹國立銀行	五分五厘
諾威國立銀行	六分
洪牙利國立銀行	八分
墺地利國立銀行	八分五厘
ブルガリヤ銀行	一割
波蘭國立銀行	八分五厘
印度帝國銀行	六分
南阿準備銀行	六分

日本の金本位回復を英國商人は歡迎
英財政專門家の發表

【ロンドン二十一日發電】イヴニングスタンダード新聞紙上にて財政專門家の發表せる處では日本と取引ある英吉利商人は日本の金本位回復を歡迎するであらう、何故ならば金解禁を控へて最近圓爲替が急速に騰貴したことは當業者側に若干不安の念を惹起してゐたことを示すものであつたからである と云つて居る

生產費を標準に米價基準を設定
米調小委員會で決定

【東京廿二日發電】米穀調查會特別委員會小委員會は廿一日午後一時半より首相官邸に開會、米價調節基準設定案を議題とし生產費標準說と物價指數標準說につき論議を重ねた結果生產費標準に依り米價基準を設定するに決した、次で米穀時別會計損失金を一般會計に移す案の討議に入り米穀法の根本的立直しを爲す際なるを以て過去一切の損失を一般會計に移し根本的整理を行ふべしとて原案を可決し四時散會した

米穀問題諮問案決定
農林省議で

【東京二十二日發電】農林省では二十二日午後四時より開かれる米穀委員會に附議すべき諮問案について省議を開き協議の結果左の如く決定した

一、第二回收穫豫想と昭和四年度に於ける米穀需給狀況の報告

二、政府所有の大正十五年產米並に昭和二年產米中三十五萬石乃至四十萬石を新米出廻期(十二月下旬より一月上旬)に於て買替を實施し新米の買上は拂下と同數量を同時に行ふこと

三、外米輸入制限令施行期間は本年十二月末日を以て滿了するにつき之を更に一年間延長する事

四、去る十月中に實施せる十五萬石拂下に對する同數量の買上は適當な時期に於て之を實行すること

銀市の癌
コキと違反行爲近く撲滅

取引所の癌とまで云はれてゐるコキ及支那錢鈔業者內に日商部を設け無鑑查の者が先物取引に從事するとは明に關東廳取引所規則第三十一條第二項(取引所に依らずして取引所に於て賣買する物件に付き差金の授受を目的とする行爲をなしたるものは一年以下の懲役禁錮又は二百圓以下の罰金に處す)に違背するのでこれが撲滅をはかつてゐたが、彼等は巧に法を逃げ如何とも手の施し樣がなかつた、しかし最近これが徹底的撲滅をはかるべく取引所では種々考究中である、これにつき一乘主事は左の如く語る

實に困つた問題ですが現在かゝる不正を行つてゐる奴が四、五軒

對歐運賃
著しく惡化

米國株界の暴落、歐洲の大豆の軟弱と惡材料の續出により露支紛爭を機として近物は三十九志、先物は三十志を突破せんとする形勢にあつた對歐海運市況は著しく惡化し、加ふるにドイツ船の躍進によつて五、六志方の低落を來し目下の市況は平均二十三志を唱ふに至つた、即ちドイツ會社の如きは代理店を有する關係上、手數料收入の增大をはかるべく標準運賃を無視して十九志で契約をなしたと言はれてゐるが、しかしながら運賃市況の軟弱も之を以て底値とすべく、特產出廻り期の諸事情の好轉により漸次の機運に向ひ郵船は依然二十六志で維持してゐる模樣である あり手の施し樣がなく困つてゐるが現在種々撲滅方法を講じてゐるから近き將來に徹底的に撲滅することが出來ると思ふ

錢鈔大取組玉整理進捗

大連錢鈔市場では歷報の通り米金解禁を一大材料として賣方共腰入れ深く遂に當月廿八日喰合は一時二千五百萬圓を突破すると共に銀相場の續落により一層に廻つた華商側の創痍甚だしく渡期の切迫と共にこの大取組から問題視せられ華商側は協議してこれが對策を講ずると共に正金銀行、信託會社の關係及び三井等の大手筋とも謀りて的方法により玉整理に努めつゝあり本日の如き喰合せも一千九十萬圓に減少したので市場機さり各關係者も愁眉をひらいたやうである

東支沿線穀物主要驛在貨
(十一月上旬)(單位米噸)

[illegible]

經濟雜叢

北滿進出のドイツ商品
三年度の輸入は一千萬圓に上る

歐州大戰前の北滿――ハルビン市場は露人によつて開拓され商品の大部分はロシヤ物であつた、然し其の製品はロシヤ內に於けるドイツ技師によつて大多數は成つたものでロシアを通じてドイツの實質的活躍が行はれてゐたものである、現に當地の油房、製粉、電氣會社東鐵機械、材料等はドイツ製品が占めてゐる――其れがロシアの革命と歐州大戰の終熄で本場のドイツ商品の市場獲得の擴張に着々其の勢力を加へて來た、現在ハルビンに於けるドイツの代表的商會は

營業	商會名
輸入商	ミーリマン
同	クンストアルペス
綿織物	ベンチング
機械金物	ウイスネル
貿易商	獨亞
電氣器具	シユツケルト
輸入	フリステアン
紙雜貨	ツウールマン

の八軒あり、其他二、三の小ドイツ商店あるが、昭和三年度の輸入總額は約一千萬圓と推定されてゐる、今左に他國との輸入パーセントを比較すると(單位千圓)

國	額	%
日本	六三、五一六	三〇%
英國	二七、五二三	一三%
米國	二五、四〇六	一二%
佛國	六、三五一	三%
獨逸	八、四六八	四%
ロシヤ	六、三五一	三%
支那	三三、八七五	一六%
南滿	三一、七五八	一五%
其他	八、四六八	四%
計	二一一、七二〇	一〇〇%

ドイツ品の品種は大體に於て機械類で電氣、化學工業品、醫療器具、藥品、建築器具、金具、紙類、文房具類、染料塗料、織物等である即ち昭和三年度輸入各種商品の各國輸入比率をみると左の如し

品名	輸入額	日本	英國	米國	獨逸	佛國	其他
毛織物	五百萬圓	―	六〇%	八%	一五%	―	一七%
毛糸	百卅萬圓	―	六五%	―	二〇%	―	一五%
麻製「ホース」	十萬圓	四〇%	―	―	六〇%	―	―
文房具	百廿萬圓	―	五%	一〇%	四〇%	―	―
人絹織物		五%	五%	―	七〇%	二〇%	―
釘		一〇%	―	五〇%	三〇%	―	―
硝子器		五〇%	―	一〇%	一〇%	―	一〇%
陶磁器		八五%	―	三%	六%	―	六%
アルミニューム		三〇%	―	三〇%	四〇%	―	―
針金		五〇%	―	三〇%	―	―	二〇%
ワイヤロープ		一〇%	―	―	七〇%	―	二〇%
鐵板		一五%	―	五〇%	三〇%	―	五%

▲備考「―」印の分にして少量の輸入額を有するものあるも還は「其他」の內に包含せしめたり

更に綜合的にドイツ品の金額を推定し見るに、昭和二年度に於て北滿洲に輸入されたるドイツ品は大約八百九十三萬圓、同三年度は上記の如く八百四十六萬八千圓、昭和四年度は七百四十三萬圓見當であらうと察せられる、今種別に之を示せば即ち(單位萬圓)

種別	二年度	三年度	四年度
鐵鋼類	六〇	六五	五八
金物製品	六三	七五	六五
化學工業品	一九〇	二〇〇	一七〇
織物類	五三〇	三八〇	三五〇
其他	五〇	一二六	一〇〇
計	八九三	八四六	七四三

右の各種統計は何れも推定によるが、基礎となるべき適確なる資料を缺く當地としては止むを得ない要するにドイツ商及ドイツ品が如何なる狀態の下にあり今後如何に販路を開拓するかについては考慮の要があらう

黃塵

◇…現內閣は組閣の第一使命として金解禁を目標に豫算の緊縮と共に國民の消費節約を勵行し往邁進これが解決に努めて來た

◇…對外的には借金なしの豫期より英米の好感を招き一億のクレジットと「精神的援助」のもとに多年の懸案を解決する最後の切り札は投げられた

◇…而して國產獎勵、產業の合理化、失業救濟等々解禁後の問題に腐心す。

◇…吾が關東廳は緊縮の祟りで豫算は削減されタダさへ振はぬ經濟政策に一層の不振を來すとす。

◇…由來殖產方面の政策は消極的退嬰主義でいつも新味がない統計の蒐集や調查會の設置が能ではあるまい經濟調查などもう少し潑剌たる活動が望ましい

◇…昔より「經世濟民」と言ふが如く經濟と離れて政治なく、究竟政治は經濟の集中的表現である。

市況

[illegible]

平安異香(177)

葉多默太郎作 中一彌畫

戀の行方(四)

幸の輿へ、だしぬけに飛かゝつてしがみついた男――

「何だ、手前は!」

棍取の九右衛門は刀を摑んだ。

「何だ、此奴! 何をしやがるんだ」

輿を擔た舁子が蹴つた。

だが男は狂氣のやうに縋りついて離れない。

「待つてくれ、待つてくれ、待つてくれ、幸殿」

「えッ」

と乗物の幸、はつとなつて男を見た。

伸びるにまかせた鬢と髭――日にやけた顔――鋭んできらく光る眼――まだ若さうな肩恰好――憶えがない。

「どなたです、どなたです。人違ひでございませんか」

「幸殿、わしだく、よく、この、この顔を見てくれ」

眼と、顔をじつと視て――

「あ、あなたは…」

幸が叫ぶと、その手にしがみついて、

「分つてくれた、分つてくれた」

はらくと男の涙だつた。

「チッ、何をやつてやがるんだい。唐突に飛出して來やがつてめそく泣きやがつて」

男の肩へ手をかけてぐつと引くと、よろくとよろけかゝつて、此度はそのまゝ九右衛門に縋りつき、

「この女をどうぞ返して下さい、この人を」

「テヘ、何を云つてやがるんだ。この女には大枚の金がかゝつてゐるんだ」

「金ならこゝにある。これをやるから貰つてくれ」

懷中から探り出した金袋、九右門の掌に握らせると、ずしりと重い。

が、九右衛門がとりあげる筈はない。男を突き飛ばすと同時に叩きつける。

「こんな端た金が、なにゝなるんだ」

「金、金なら欲しいだけくれてやる」

「大きなことを云やがる。まあ御免だ」

「待つてくれ」

行きかける乗物に縋りつくと、

「狂人めら!」

九右衛門が男の腰を足蹴にかけた。

男はよろめく――瞬に、鞘を滑つて落ちかけた刃が、何時しか男の手に握られてゐて、次の瞬間、

「うわ!」

と九右衛門の絶叫だつた。

「あッ」

といつて、それへくゞつの陣十郎が馳せつけて、仆れかゝつた九右衛門を抱きとめた。

おつねが飛んで來て、

「お待ちよ」

と、男の太刀を持つた腕にしがみつく。

「亂暴してはいけない――あ、それより早くお逃げなく。相手が悪い、酷い目にあふよ、ひどい目に」

ふと瞠目して顔へ顔を擂りつけるやうにして男の耳へ吹きこんでゐたおつね、

「あ、あなたは――」

といつて、まともに男を凝視した。

男も泥のやうに混亂した注意を集めておつねを視た。

そして二三瞬――

男が悲しさうな眼をしたかと思ふと、低く、かすれた聲がその唇から吐息のやうに洩れた。

「お前は、おつね……」

「變つたお姿に……どうなさつたのでございます」

「やい」

と陣十郎の手が男に伸びた。

「お待ち、親方――」

その腕をさへぎつて、おつねは陣十郎の耳へ背伸びして囁いた。

「親方、この人はお前さん、勸修寺樣の一人息子だよ、邦貞樣といつて」

「なんだと――?」

陣十郎の眼が、妖しい光に輝いた。

「勸修寺――檢非違使のか」

「えゝ、さうなんだよ、この人が……」

期待される常磐津 操會主催の演奏會近づく

大連常磐津操會主催の常磐津演奏會が本社後援の下に來る廿七日夜市内歌舞伎座に於て華々しく開催されるが、出演者は大連常磐津界未曾有の名實倶に充實した顔觸れで大いに期待されてゐる即ち出演者は菊五郎門の常磐津操太夫同美太夫同美春太夫、三味線常磐津勝藏、同正榮に立方は花柳輔次郎門の名取花柳輔葉及び花柳壽々若でその他大連檢番の松司、とめ、せん、とし松、小花、小新、一葉、一光、玉吉、お里が應援出演することゝなり連日操太夫の指導で熱心に練習を勵んでゐる

上品な支那人向歡樂場を計畫

支那動亂毎に失脚した支那の前文武百官は安住の地を大連に求めて續々避難し老虎灘街道並に星ヶ浦黒石礁附近に宏荘な住宅を求め悠々自適の餘生を送つてゐるが、彼等を滿足さすべき何ものゝ娛樂機關もないので、文化都市を誇る大連として頗る遺憾とされてゐたが、之れに着目した工藤鐵三郎氏は當局各方面の業家を歴訪、その賛同を得て小崗子露店市場の西方空地の拂下げを運動し劇場、活動寫眞館、錢湯、茶館、妓館等を建築し上品な支那人向きの一大歡樂場を建設すべく目下各關係筋に奔走中である

◇◇今年竹◇◇ 蒲田撮影所超特作映畫 里見弴原作、重宗務監督、栗島すみ子、岩田祐吉 演

噂話

しばく來連を傳へられてゐたパラマウントの田中亮平氏が愈々大日活の開館式を機會に▲廿二日入港の香港丸で梅村蓉子一行と同船で來連▲旅順の所謂五人組が建築許可を願ひ出てゐた新映畫館もいよく許可の方針らしく廿日に旅順署から出張して原田保安主任と今井前關官の案内で大日活と連鎖商店街の映畫館を觀察▲大日活は廿三日から一週間新築記念興行の入場者には洩れなく日活時報を贈呈する外毎日先着者五百名づゝに「修羅城」の片桐且元に扮した大河内傳次郎の似顔人形を贈呈すると▲また正月興行を控へて流言蜚語が盛んに傳へられてゐるが、何處までが眞やら嘘やら

滿洲日報

婦女界サラリーマン物語號

十二月号

重役級から見た俸給生活者座談會

學生諸君!!就職運動の前に、先づ一讀下さい。

この座談会を精読すると、成功するにはこの覚悟、この心掛、この熱誠、この努力が、今日の地位を築いてゐるのだといふことが分ります。就職難、生活難が、今日のサラリーマンを臆病にしてゐます。併し、この記事は、どなたにも、生活の安定と將來の希望のヒントを與へます。ご精讀下さい!!

中心問題
1 今のサラリーマン氣質
2 私のサラリーマン時代
3 私の社の社員採用方針
4 出世する人しない人
5 俸給生活者と結婚問題
6 夫を通して見た家庭
7 俸給生活者夫妻への希望

王子製紙株式會社常務取締役　井上憲一
共同印刷社長　大橋光吉
森永製菓専務　松崎半三郎
三越常務取締役　北田内藏司
鈴木商店代表者　鈴木小松
婦女界社長　都河竜
同　編輯長　太田菊子
同　營業部長　金綱弥

サラリーマンからも、こうして成功できる!!

迷信に關する實話
（世を迷はす迷信の爲にどんなに人々は難渋してゐるでせう。實例四篇を富士川博士の批評付きで掲げました）

誰にも話す話
（泥棒と夫とを間違へた話など始め、人を笑しがらせる話、感嘆させる話、笑はせる話など面白い實話五篇）

愛讀者のサラリーマン座談會　誌上

月収廿五円から二百八十円までのサラリーマンの告白です。その抱負と希望、生活の標準、洋服の新調、ボーナスと借金、夫婦相互の注文など、サラリーマンの成功と安定秘訣を公開!!　サラリーマン夫婦は勿論、學校出のお子さんや婚期を控へた娘さんを持つ親方は、必讀下さい。

當世奥様秘話
今賣出しのスポーツアナウンサー松内氏の結婚秘話、一年に二三度しか顔を合せない船員の夫妻物語、又緊縮内閣の大番頭鈴木富士彌氏の奥様物語等赤裸々な話

●人生に疲れし男女の群　戸川田津夫
●樂壇の彗星關屋敏子孃　氏部千代子
●工場に働く婦人たち　T生

私の初任給時代
今は世にときめく人、人に羨やまれる人も、昔は一本のペンで一心を語り出深い昔話を、初めて世に公開されました
●夫の初給を語る安達内相夫人
●菊池寛氏も初給はタッタ廿五円
●半額を天引貯金した竹内茂代氏
●大毎の常務吉武氏の初任給時代
●死を決した事もある高島華宵氏

思ひの叶つた話
日頃の思ひが叶つた目出度い話、うれしい話!!その話のかげに潜む努力と苦心。思ひの叶へたい方は、見逃しなき樣に!!
●スポーツマンと結婚した私
●自分の力で建築費二千円貯蓄
●波瀾を越えて二年後に結婚して
●三度目で文官普通試験に合格
●二重の思ひが叶へられた私

サラリーマンと初産費の問題
月収の少ないサラリーマンは、どうして初産の費用を作つたらいゝか――それを教へたのがこの記事です。結婚費、手傳人、月給、賞與の利用法、又、月収百円の方が、産婆、派出婦、お宮詣りなど全部百卅四円余で濟ました實例など、俸給生活者の必讀記事です!!

サラリーマンと月賦買ひの研究
信用ある店から月賦買ひする秘訣、サラリーマンにとつて便利なことはありません。家庭の家財道具を安心して揃へられます。その信用ある店の選び方、箪笥の買ひ方、座敷用ちやぶ台の買ひ方、鏡台の買ひ方、月賦賣りのせり呉服物の注意など、新家庭のご夫婦や婚期を控へた娘さんの必讀記事

▼三店三樣のスキ焼秘訣　松喜、三河屋、東京會舘等
▼冬の夜の即席一品料理　ひさの子
▼温くて乙な料理五種公開　渡邊りん子
▼安くて体裁のよい鮭料理　婦人記者
▼お子樣向のお菓子類數種　高嶺須磨子
▼障子の張り方と疊表の話　若狭、田中、一郎、次郎
▼腦溢血とマッサージ療法　野地繁久
▼師走に多い流早産の豫防と手當　福井醫學博士
▼万人向の簡易な美顔術　メイ・牛山

赤ちゃんの誌上健康診斷
可愛いい赤ちゃんの爲に、小兒科の權威竹内博士の誌上診察!!　赤ちゃんの罹り易い狀態十五を掲げて、どんな辺鄙な田舎へでも、誌上をもつて竹内博士が往診下さいます。而も診察は無料!!　この機会に、どなたも赤ちゃんをご丈夫に、病気全快をおはからひ下さい!!
醫學博士　竹内薫兵述

冬のお支度記事滿載!!
婦女界の實用化時代來る――流行の服飾衣類も家庭にスグ應用できます。今年の冬は婦女界で温く健かに暮しませう!!
●男女兒スエーターと帽子　山田松子
●男子用の防寒編物　金子眞子
●女學生に流行のパルトー　三浦せつ子
●男女兒共用の外套と帽子　千葉智子
●クリスマス贈物用の玩具　島卓月
●流行型のコートとポントンコート
コートを新調なさる前に、是非この記事をご覧下さい。慌てゝ買物して後悔なさらないで下さい!!
●氣の利いた暖房用具
●盗難よけと火の用心
●番犬の種類と飼ひ方
上は三浦せつ子氏考案のパルトー。下は山田松子氏考案のスエーター

母　菊池寛
母性愛だけを母に押しつけることは、しばらくお待ち下さい。母は同時に又一人の女性である――未亡人になつた二人の子の母が、ゆくりなくも巡り合つた廿年前の少女時代の戀人、再燃した戀のやるせなさ、又子供に對する責任感、果して彼女は如何なる道を選んだでせうか…（作者近來の傑作）

●誰の愛　長篇小説　細田源吉
●自畫像　長篇自傳　藤原義江
●愛の獵人　叙事詩　福田正夫
●暴風雨の夜　短切戯曲　古川實
●池水荘綺譚　探偵小説　甲賀三郎
●松尾多勢子　維新小説　大倉桃郎
●淀君　長篇小説　三上於菟吉

冬の流行界だより　瑠璃子
（男物和服春着の流行、あかれ会展を見るの記、毛皮の羚巻の買ひ方など詳細紹介）

織物界の女王縮緬の産地と種類　岩崎直吉
（縮緬の歴史、縮緬の五大産地、丹後春雨工藝視察記、流行の變り縮緬のいろ〳〵）
瑠璃子

價五十錢（送料三錢）・半年分三圓廿錢・一年分六圓廿錢・東京丸ビル三五五・振替東京二九三七　婦女界社

日支條約改訂問題の研究と批判

陸軍中將　高柳保太郎閣下序文
大陸社長　森宣次郎著
菊版一九〇頁　總クロース金文字箱入　定價貳圓五拾錢　時價貳圓

高柳將軍の序文に曰く　反撥か討柔か、斯ふした情勢が、澎湃として支那の全土に瀰漫せんとするを報ぜらるゝとき、會々に本書は出づ此情勢の前途は逆睹し難きも、其推移の如何に拘らず支那の對外思想に變化を及ぼすべしと……乃ち國權恢復がそれである不平等條約撤去がそれであつて時亦恰も我新駐支公使は其任に就き、此雰圍氣裡に、相互通商條約改正のことに從はんとす縱し時局は多少交涉を遷延することあるも、今やそれの廢るゝを革むべき機に立ち、必ずや一たびは之を全ふせざるを得ざるなり、而して日支國交の重大性に鑑んか、此條約改訂こそ、我國民に深甚の注意を促すものならずとせんや、本書刊行の趣旨は恐くこゝにあるべく、我國民は本書如きによつて克く討ね克く究めて、將來の對支政策を慮り今後の對支活動に資するところあらざるべからず、之が爲に敢て本書を推奬す。

發兌　大連市浪速町　振替大連五五番　電話（代表）五一八八（事務）五七九〇番　本店（東京）支店（京城・奉天・旅順）
大阪屋號書店
販賣所　全滿各地書店

最新刊

- 中里介山著　大菩薩峠　第二第三　實價三圓六十七錢送料十八錢
- 日夏耿之介著　明治大正詩史　卷下　實價四圓二十錢送料五十五錢
- 西谷勢之介著　天明俳人論　實價一圓六十八錢送料八錢
- ヘエウッド著　細井一六譯　世界地理發見史　實價三圓三十六錢送料十錢
- 野依秀市著　歐米徹底觀　實價一圓五十七錢送料十錢
- コマダドブレス著　本二郎譯　洋裝　心得と洋食作法　實價二圓十錢送料八錢
- 池崎忠孝著　日本潜水艦と潜水艦戰　太平洋作戰　實價九十四錢送料六錢
- 三宅克己著　寫眞のうつし方　實價一圓八十九錢送料十錢
- 芹燁登一著　母としての乃木夫人　實價一圓三十六錢送料八錢
- 與謝野晶子著　感想集光る雲　實價二圓十錢送料八錢
- 佐々木信綱著　和歌に志す婦人の爲に　實價二圓十錢送料八錢
- 櫻井忠温著　煙幕　實價一圓七十八錢送料十錢
- 同　土の上水の上　實價二圓十錢送料十二錢
- 服部文四郎著　我國の金融と景氣　實價三圓九十九錢送料廿錢
- 九條武子著　薫染　實價一圓八十九錢送料八錢
- 村井啓著　結婚及諸禮儀式　實價三圓六十七錢送料十六錢
- 宮原欣著　未來　實價二圓六十二錢送料十四錢

最新刊

- 木村曙石先生著　訂正増補　新の書道研究　實價三圓十五錢送料十四錢
- 渡邊政盛著　文検教育科の提要　實價四圓九錢送料二十錢
- 石川光春著　植物學通論　實價二圓九十四錢送料十錢
- 東京帝國大學獨逸文學會編　獨逸文學研究　實價一圓五錢送料十四錢
- 狩野正夫著　商戰秘話　實價一圓五十七錢送料十四錢
- 安富正造著　海軍軍縮問題　實價五十二錢送料六錢
- 陽新堂主人著　姓名判斷　實價一圓二十六錢送料十二錢
- 士岐善麿著　柚子の種　實價一圓九十八錢送料十四錢
- 德富猪一郎著　時勢と人物　實價一圓五錢送料十錢
- 榛原茂樹著　麻雀精通　實價二圓十錢送料十錢
- 澤見登郎著　日本植民地論　實價三圓六十七錢送料十六錢
- 谷崎潤一郎著　蓼喰ふ蟲　實價二圓六十三錢送料十六錢
- 清麻倶樂部著　標準麻雀必勝の戰術　實價二圓五十七錢送料十四錢
- 田崎仁義朝彌著　幸德秋水　思想論　實價一圓五錢送料六錢
- 坂井源次郎著　平易に說いた自動車講話　實價一圓廿六錢送料八錢
- 滿蒙研究叢書第一輯　露文と最近の東支鐵道　特價六十錢送料六錢

滿洲日報

支那軍閥抗爭の永續性

革命支那の民衆、若し心あらば蔣と馮とに對し、誰か烏の雌雄を知らんやといふであらう。閻錫山の動き一ツで、天下の事が定らんとするが如きは、これ決して革命支那の名譽ではあるまい。果して然らば、馮も蔣も、要するに化粧を異にした、新しい軍閥といふべく、よし蔣が馮に勝ち、河南より陝西を攻略したりとするも、第二、第三の馮玉祥は隨所、隨時に輩出し、支那の天下は、走馬燈の輪回するが如く、限りなき劫火の災厄を免れ得ぬのである。改組派と舊廣西派の合作、必ずしも不可能、不合理ならざる如く、汪精衞と蔣介石と、妥協せずと限らず、いや場合によつては、馮と蔣とさへ、利害のためには同一道程を歩むことが出來る。そこに支那といふものの融通無碍性があり、革命達成の不徹底を招來するのである。」

◇

南京政權と東北政權などの對立ありても、少しく政治的理論を以て得るほどのものは、全く領會し得ぬものがあるのであるが、併し沒有法子を積極的に考察し、撞着を感ぜぬところ、下等動物の頭尾を切斷せられて尚かつ双方生命あると一般である。東北四の大道は、南京にも通ずれば、また奉天にも通ずる。そこで對外には、ロシアが强く出たり、弱く出たりして、容易に露支紛糾の解決をつけぬ。また對內的には、依然、洞ヶ西に閻錫山をして、燻らしめつゝある所以なのである。この矛盾、不合理のうちに一種の安定を求めつゝ、次ぎからつぎへと動くのが支那の政局であり、而して閻や馮や蔣や汪やに存の意義があるともいへる。」

◇

そこで一般の民衆、殊に開港地の商民などは、苛斂誅求、軍用金の御用を仰付けられるだけで、軍閥との生活において、些の交渉も認め得ない。民衆の生活は、軍閥の動きと世界を異にしてゐる。すくなくとも、その政治意識、國家意識において、民衆と軍閥とは全然、別の途を歩みつゝある。編遣を云々し、中央統制を云爲したりとて、支那は依然として支那であり、天下國家的集團の支那であるのである。されば一般民衆の幸福とするところは、寧ろ新舊軍閥の存在せぬところにある。がしかし支那にも近代的國家理論の流れが入り込み、天下國家的國家の現實上に、近代的國家の理論を當て嵌めんとする。そこに錯誤があり、撞着が認められるが、もと〳〵支那は融通無碍の國、逆定理が肯定される擅場がある。あらゆる矛盾錯誤が、些の不安定もなく、積極的た沒有法子として承認される不思議ささへもある。そこに治廢の改約のといふものが叫ばれる。

◇

しかし、蔣や馮やの動きが、果して何と發展するか。彼らは、口では大言壯語、勝手放題なことを放送してゐるが、自己の軍閥を保持し、勢力地盤を擁護するがためには、決して最後の決を採らぬのである。勝ち負けを結局まで導かぬのが、彼ら軍閥の常套手段といふことも出來る。孫良誠が寢返つて、洛陽が南京軍に占領されたなどと傳へるのも、要するに金錢の取引關係を物語つてゐるのであつて、自己保身に巧妙なる軍閥の狡猾さを示すものに外ならぬ。郭松齡のやうな例は、支那の革命內戰に稀有であり、吳佩孚のやうに、行詰るのも支那の融通性を、充分に會得しなかつたものといはねばならぬ。馮や閻やは、相當に老獪となり、容易に總決算の決を採らぬ。關ケ原や壇の浦までは漕ぎつけぬのである。そこに軍閥革命の不徹底があり、近代的國家建設に澁滯がある。決するところに、支那內亂の永續性をみとめざるを得ぬのである。」

飛行機による襲擊は軍事的に効力甚大

支那は國境に大軍を集めて非常な不利を招く

【ハルビン發】黑河及松花江の流域が結氷すれば危險であるとは支那側でも注意し黑龍江軍第一軍馬占山第三軍廿四旅の部隊は嫩江を防守するために移動し、吉林及黑龍の兩防隊は佳木斯一帶に一旅增派され松花江を溯る赤軍の防備に當り

黑河駐屯の

巴爾英部隊は附近の商民を退け江岸に沿ふて守備を嚴重にした、然し赤軍が支那領に侵入して來ることは現在の狀態からすれば無いものと觀測してよいと軍事通は語つてゐる、其れば赤軍の大部隊を移動することは軍費を要し且つ相當の集團を以つて進擊せねばならぬが、飛行機に偵察を試みては爆彈を投下し數十臺を國境の各方面に配置し時に要地點の破壞作業に全力を傾注すれば軍事行動の目的を達するものである、しかも持久戰の形で進みつゝある露支武裝對峙が久しきに亘れば亘る程大軍を以つて防備する方は奔命に疲れ士氣は

次第に沮喪

するからである、露支國境に於て時に間歇的に行はれる兩軍の戰鬪にサウエート軍は飛行機と騎兵の奇襲を試みて成功し支那軍は防禦守勢のためにいつも敗戰し多大の損害を蒙つてゐる、これは曠に精鋭な武器の活動と連絡して行動する軍隊は少數ではあるが大軍を惱ますに威力あり近代の科學的戰爭の一半面を現はしてゐるもので、飛行隊に劣つてゐる支那軍は悲しい哉實際に戰鬪を開始しても勝算の見込はない、且つスケールの廣大な地域にあつて兵力——兵數による戰鬪は既に一定の範圍に制限されてゐるもので昔の如く

領土的占領

は第二義的のものとなり、敵軍の破壞と戰鬪力を殺減することが最後の捷利となるものである、從つて赤軍の飛機により戰術は領土的には効果はないが支那軍に損害を與へる程度は大きいと見られてゐる

支那飛行機の運命は危い

戰鬪機が一もないから

【ハルビン發】勞農機が牡丹江を襲擊したのは支那飛行機を破壞する目的であつたが、支那機は其前日の十六日にハルビンから飛翔したのを勞農側がどうして嗅ぎつけたのであらうかと今尚疑問視され——戰鬪機を有せぬ支那飛行隊が前線に出動するのは全く軍事的の考へがないものだと評されてゐる、海拉爾には五臺の支那偵察飛機が配置されてゐるが、之も何れは勞農機のために破壞されるだらうと

張作相氏の地位は盤石

辭職說は中傷の宣傳

【吉林發】吉林邊防副司令官兼省政府主席張作相氏は今回の對露軍事失敗に關連し且つ露支問題發生以來事每に張學良氏と意見合はずして張氏自身も漸く桂冠の志を懷いて居るから恐らく再び吉林に歸任することなく王樹常氏と更迭するであらうなどと

相當確實性

を帶ぶるものゝ如く報道せられてゐるが、右に依り吉林省政府委員某氏の所感を叩けば氏は悉く之れを否定し、唯單に張作相氏が久しく奉天に滯在し當面の時局要務に參與して居て歸任が遲延する爲め外間に種々取沙汰を生ずる次第であつて、或る方面の「爲めにせんとする宣傳」を眞に受けては駄目だ」とて次の如く語つた

豫てから舊派の人物を一掃して局面轉換を圖らんと其幽會ゝ覗つて居た張學良氏周圍の策士連即ち自から新派を以て任じてゐる某々吉林人は過般の東寧、同江、富錦に於ける吉林軍の戰敗殊に同江の役で作相氏甥の張佐臣團長が不覺の慘事け彼等策士連の張作相氏排斥の

唯一の口實

となつた譯で、好機逸すべからずと策動しそれに又吉林に於ても張作相氏のために稍失意の境遇にある一派の宣傳も多少加つて居る様であるが、更に角實際に於て張作相氏の地位は微動だもするものではない、學良、作相兩氏の關係はそんな惡宣傳や中傷位で乖離する様な薄弱なものではない要するに張作相氏の歸任が遲延する原因は唯露支交涉を一日も早く進捗せしめんとして秘策を練つて居るとにあると云へよう

哈爾賓の一

支那婦人が解放を叫ぶ

婦女協會を組織して男女同權の壯途へ

【ハルビン發】ハルビン婦女協會籌備ゝが生れた男子の不平等な壓迫と家庭內の奧深く翁姑の頑更に甘んじてゐた妾等は青天白日のもとにあつては平等的なるは當然だと舊殼を破る子の叫びが擧げられた、時代にあつては社會の中支配階級にあつたものだ天賦の體力の偉大にまかせ不平等の位置に引づり下だ「女子は才無ければ即ち德」從四德とか以順爲正とかな舊道德を造つて束縛し……

南征雜錄 (41)

難波勝治

邦人の農業者

邦人の中心勢力を扶植する爲に最も意義あるエスタンスエラも、斯く經營の着手期に於て大頓挫を來したが、併し墨西哥移住の重要味は、之に依つて毫も減殺されて居らぬ、南太平洋鐵道の開通に刺戟されて、クリヤカン方面の日本人農業が益々堅固に基礎附られたやうに、右の線路がメキシコ市とマンサニヨ間の

國有鐵道

に接續する處にグワダラハラとその平野が展開して、農業的にも商業的にも多望な將來を語つて居る、就中南方三十六哩を距るチャパラはメキシコ第一の大湖で、沿岸は勿論、グワダラハラ市との間に起伏する波狀形の沃地は、農耕法の進歩に依つて益々利化されるだらうが、其先を倡ふ者は蓋し日本人であらねばならぬ、何となればテペク以北の沿岸諸州と異り、ハリスコ、コリマ等の高原地帶は、北平文化の影響をシエラ・マアドンの天嶮に遮られて居た爲に、他に比して一層保守的で且つ粗野である、ヌノラ出

改革方針

に反抗して……

借農業地

連絡機關

研究調査

寬罪の爲

亦子の生

孝生に答ふ

投書歡迎

市長辭職の口約

大衆鎭長

ロシヤ色が支那色に變つて行くハルビン

今度はモデルンが身賣り

【ハルビン發】時の動きでハルビンのロシヤ趣味が支那式に段々色されて行く、これは喰止めとしてもどうすることの出來ぬことであるかも知れぬ、其の一つであるキタイスカヤ街、拔の街區にロシヤ時代に貴顯紳士淑女のホテルとして時めいたモデルン——ハルビンでの第一位にある旅館であり……

長春から全部引揚

赤系の露人

外國軍艦を嚴重監視

外交部の命令

靈魂不滅の研究

幽靈が出ると云ふ家に百五十日間籠つた吉岡師

誇大な報告

赤露人笑ふ

滿日案内

滿日地方版

旅順

佛教團が率先して葬儀の虛禮を廢止 近く何等かの方法で具體化か 一般も大に共鳴

公私經濟緊縮の喧しき折各方面共に種々改善の實が擧げられつゝあるが、とりわけ人生の大儀である葬禮方面にては別して冗費虛禮の夥多きため改善の念を抱く者多きも永い間の傳統習慣は一朝にして之れを改めるは至難とせられてゐる折柄、當地各宗佛教團にては此際率先改善すべく考慮中で近く何等か具體化する模樣であるが、大體御通夜に於ける接待、火葬場歸り馳走、花輪の贈物等は斷然廢止するらしく一般も之れに對しては大に共鳴してゐる

大連商業軍を迎へ ラグビーの試合 來る二十三日旅順運動場で 千歲俱樂部の納會

關東廳千歲俱樂部蹴球部では廿三日新嘗祭の佳辰を期し同日午後二時から旅順グラウンドに於て大連商業俱樂部軍を迎へ本年納會を兼ねて第十回ラグビー試合を行ふ由であるが、昨今ラグビー、フットボール熱は野球以上に流行を來しつゝある折柄不斷餓りその機會に惠まれぬ旅順のラグビーファンに取つては絕好のチャンスであるので當日は定めて觀衆も多からうと豫想されてゐる、千歲クラブのナインは左の通り

FW 1板橋、2西河、3松原 4飛田、5齋藤、6山本 7茂木、8宮本
HB 9吉田、10岡澤
TB 11梶川、12三原、13上倉 14富田
FB 15大石

重なる不幸

旅順忠海町新古衣類藥海渡勇作氏愛孫力(六つ)は永らく腎臟病にて加療中の處遂に二十日午後五時半死去した、葬儀は二十一日午後三時東本願寺に於て執行された、同家は本年で丁度三年忌に當る昭和二年三月六日先祖の命日に夫人を喪ひたるが、二月二日次男勇二(三つ)と本年十月二十日に長女靜江(二つ)今回の長男力君と云ふ奇妙に打つゞく不幸にて、町內及び知友は一しほ同情の念を寄せてゐる

久保田氏慶事

關東州駐在武官久保田久晴氏は關東軍司令部小松大尉令妹ヌイ氏と二十日午後一時より出雲大社教旅順出張所神前に於て結婚式を擧行し同夜ヤマトホテルに於て披露宴を張つたが、緊縮節約が宣傳される折柄でもあり殊に媒酌人たる大賀、板垣兩氏及び久保田氏自身も緊縮委員會幹事を勤めてゐるので、擧式、披露宴等萬端節約を旨とし披露宴招待者も僅々二十四名に止めて質素振りであつた

營口

咄堂氏講演會

滿鐵社會課主催の下に各地巡回講演中の加藤咄堂氏の營口に於いての講演會は來る廿四日午後六時半より公會堂にて開催一般市民の來聽をも歡迎すと

葦を入札

當營口在鄉軍人分會の所有なる三家子の葦は來る十一月廿五日午後二時より現場に於いて入札し拂ひ下げると因に希望者は當日現場に出向かれたしと

奉天

市中商人の現金步引賣實施 愈よ來月一日から

奉天輸入組合ではこの程開かれた役員會の決議に基き左記方法で現金賣步引を實行することになつたが金融緊縮の聲が高まり且つは本月一日から滿鐵消費組合では現金步引を行つてゐるなど市中側に及ぼした影響も尠くないので市中側でも適宜方法を講じ沿線各地組合とも步調を共にするといふにあり既に組合員側の意見も一致してゐるため豫定通り實施の運びとならうと

一、十二月一日より實施
二、步引率は大體五分以上とするが商品により出來るだけの範圍で步引すること但し步引率は各自隨意のこと
三、その他宣傳方法として贊成商店聯合で新聞に廣告をなすこと

除隊兵は卅日出發

奉天守備隊本年度除隊兵四十八名は十一月卅日午前九時發安奉線第六列車で出發歸還することになつたが一般多數の見送りを希望すると

スキー時季來る

廿一日旅順は今冬最初の大雪で寸餘積つた官員は同日大止公園の斜面でスキーをやつてゐる醫研の岡澤君

愚民を惑はし金を捲上ぐ

沿線各地で神の力による加持祈禱を行ひ多額の金を捲き上げてゐた撫順居住川本某はこの程奉天に入り込み市內紅梅町の某所に居を構へどんな病氣でも神の力によつて治癒すると稱し集ひ來る各種患者に對し大根、人蔘等の切れや神の葉を飲ませ人心を迷はせ金を捲き上げてゐる事をその筋の聞き込む處となり目下關係者につき取調中であるが彼に掛つた被害者は相當あるらしいと

町の便り

◇浪速通奧田好古堂では例年の通り來る二十二日より三日間正札會を開催すると

◇奉天署では廿一日午前十一時頃驛前附近の惡衍商整理のため行商狩を行つた

◇江島町十三番地鮮人李某方では廿日午後一時頃靴下一足盜難に掛り十九日も一足紛失したので捜査の結果籠の中より發見して不審を抱き隣に居住せる崔といふ鮮人の妻が遊びに來て歸宅する直後紛失した處から崔の妻に疑をかけ遂に之を泥棒呼ばはりして大喧嘩となり正に血の雨を降らさんとして係官から說諭され漸く取鎭めた

◇廿日午後八時五十分頃下り廿三列車が新臺子、新城子間を通過中擧動怪しい一支那人を認め取調べた處腰部に阿片四包(約四貫八百匁)を隱匿してゐたが彼は東北陸軍第十四旅步兵六十二團滿洲里駐屯仁澤氏(二三)と稱し阿片密輸を企てたもので同列車が鐵嶺驛到着と同時に下車せしめ引續き嚴重取調中である

◇帝國美術院日本畫家片岡京二氏は今回滿鮮視察の途次來奉約一ケ月富士町富士屋に滯在する由

◇滿鐵音樂會主催の下に觀世流師範五十嵐吉太郎氏の素謠會を二十三日正午より滿鐵社員俱樂部に於て開催する由入場料一圓番組は素謠俊寬、角田川、景淸、安宅、猩々仕舞、八島

◇住吉町五番地大工王國榮は靄町王明田なるものに三回に亘る賣りものをなしその代金七圓に對しても支拂ふ模樣がないので再三督促せる結果二圓を持參り來り全部品物を返すと云ひだしたので王は二圓にまけて置けこれでなければ憤慨し喧嘩を始めたが結局係官の厄介で今後王明田は每月二圓宛を支拂ふ事を約束して解決した

◇山東廟居住盧占忠(三五)は鹿廷台より牛乳を附屬地內に持ち込み支那人や露人に對し一瓶五錢宛で賣却してゐた事が二十日午後四時二十分頃江島町一番地先で發見され目下取調中

人事

▲大內博士(國際聯盟代表) 廿日安奉線急行にて歸國
▲山口第四大隊長 廿一日連山關より過奉公主嶺へ
▲周四洮鐵路局長 廿日四平街より來奉
▲山形自治講習生一行卅名 廿日鞍山より來奉大星ホテル
▲萬國工業會議員一行十六名 廿日湯崗子へ

瀋陽駄話

來奉した仙石總裁病後とも思へぬ元氣振を見せて居たが天帝何の惡戯ぞ▲二十一日は朝來の烈寒何分氷點下六度四といふ病後の仙石さんに取つては大の禁物たる天候と感じたのでとうとう忠靈塔と神社詣では齋藤理事の代拜となつた▲第一本の鐵道に大丈夫だと豪語したものゝ萬一病を引戾してはと齋藤理事や秘書が泣く樣に止めたのでやつとの事に代拜となつたが、然し靈前に詣ずかずとも古稀の老軀を嚴寒の滿洲野に晒し最後の御奉公を申上る其の意氣にめんじ許すであらう▲例の陸軍用地に支那側が電柱を樹てた(然かも一本)とかで時節柄注目して居るが別に故意でもなき相である▲然し同地の日支係爭は既に解決して居る筈だのに支那側が斯樣な態度に出た事は全然無意識とも思はれぬ▲果して然らば又しても小五月蠅い問題が起りはせぬか▲家賃値下問題に對し某家主は現在の家賃は値下したものであるとテンデ問題にして居ない▲此の家主さん現在の新しい家賃下を知らぬと見える▲現在の問題は現在の家賃を更に値下しやうと言つて居るのですヨ

安東

兩岸相俟つて密輸を防止 遠からず絕滅の見込

屢報の通り密輸取締は益々硬化し十九日ベッヘル稅務司並、赤谷副稅務司は新義州側を訪れ谷知事並に井上稅關長と會見懇談を遂げたる上、歸路江岸一帶を視察して歸安翌二十日午前中尾崎安東署長は赤谷副稅務司を訪問して種々意見の交換を爲した模樣で、本取締りの具體的方法である新義州側に於ては輸出の際の監視安東側に於ては附屬地內の密輸入を監視する事とし、兩岸相俟つて密輸防止に當る事となるので其の絕滅も近きにありと言はれて居る

ボーイスカウト 設立の贊成者が多く 近く具體案を作成

安東のボーイスカウト設立に關しては其の後着々と研究が進められ滿鐵本社學務課邊に於ても頗る贊成してゐる模樣であり、當地に於ても井上地方事務所長を始め多數名士の贊成多く一日も早く設立希望されて居る爲め近く大和、朝日兩小學校長協議をなし具體案を作成の上各方面の贊成を求める事となつた

忘年會を廢めて献金

國際運輸安東支店では每年開催して來た忘年會を時節柄廢し北村支店長外四十七名で金七十二圓九十錢(別に爲替料四十八錢添付)を又大和小學校生徒藤本二三君及長昌夫君は金二圓と爲替料十錢を添へ國債償還基金にと献金方を申出た、因に安東署受付の該獻金總額は二十日迄正午四百二十二圓七十六錢となつた

歐洲遠征選手派遣か

滿洲醫大アイスホッケーチームは同チームを中心にして日本代表氷滑選手を歐洲に派遣する事に決定し十二月下旬出發の豫定であるが二十日當地井上地方事務所長に對し滿洲體育協會長木谷辰巳氏より右のアイスホッケーチームと共にスピートスーチングの選手も同行させたいと思ふから當地在住の選手を派遣さして貰ひたいと書面が來たが、當地としては日本記錄保持者である木谷德雄、大澤義一、石原省三、女子部では熊谷撥などの猛者が揃つてゐるが、何分歐洲行の旅費が一人當り一千二百圓と言ふので其經費の捻出が困難で何れ近日中に幹部會を開き協議をなし具體的方法を講ずる筈であると

新義州府會議員 二十日選擧を終る

新義州府協議員選擧は二十日午前十時より公會堂に於て執行された此の日雪解けのぬかるみを踏んで或は徒步に或は人力車、自動車につて刻々と尊き一票の持主が押寄せ投票は案外ズンズンと運ぶ、午後四時に至り入口は閉ざされ締切をなし少憩後直に開票に着手したが其の結果左の如し

票數	氏名
五八	柳川嘉六
五五	西田有年松
五五	中込精一
四六	多田榮吉
四六	神保信吉
四〇	平松藤四郎
四〇	李熙廸
三七	加藤鐵次郎
三五	橫江重助
三五	卓昌河
三四	栄田統光
三四	岡本茂
三一	獨孤烈
二七	金英哉
二四	臼井水城
二二	金鳳文
次點二〇	高乘哲

投票總數 六四票
無効數 二票

かくて數ヶ月前より猛烈なる運動を試みてゐた府協議員選擧も幕を閉じた

大和校の緊縮

大和小學校に於ては緊縮節約の趣旨を兒童に徹底せしむる意味に於て二十日職員會議を開き學用品、諸道具、服裝、諸作業、時間尊重其他の各項目に付き協議をなし、近く具體案を作製の上各家庭と協力して勤儉節約の徹底を期する事となつた

河野氏に記念品

前安東縣郵便局長河野秀雄氏は近く新任地臺灣に赴く事となつたが同氏は在安中の功勞に酬ゆる爲大津□委議長、荒川商議會頭、井上地方事務所長等發起となり時節柄送別會を廢し記念品を贈呈するに決した、有志は金一圓以上を地方事務所又は商議まで提出されたしと

大石橋

外務大臣賞與金 故澤幡部長遺族へ

他山に於て單身馬賊と鬪ひ悲壯な殉職を遂げた故巡査部長澤幡政之助氏の其當時の模樣及遺族のことに付、荒川牛莊領事から本省に宛詳報せる所、外務省に於ても大いに同情し本月十一日附を以て外務大臣より同部長に對し金百三圓賞與の旨通知の結果廿日領事より遺族に右賞與金が交附されたと、因に同未亡人は遺兒と共に二十日十六列車にて他山を引上げ來石諸方に挨拶の上急行十二列車にて大連に向つたが、二十一日のうらる丸で歸鄕する筈

馬賊を引渡

既報大石橋警察署にて留置取調中の澤幡巡査部長銃殺の馬賊頭目李洪順其他連累者齊殿華、田洪泰、李左臣、魏富令の五名は蓋平縣公安局に又齊洪遠は營口公安局に何れも廿一日護送引渡しを了したりと、本月十二日檢擧以來同署員の多方面に渉る取調べにに一段落付きたるものである

神社々司更迭

大石橋神社々司山內茂義氏は大正十三年七月二十八日來任以來今日に至れるが、今回奉天神社に轉任の事になり後任は營關店神社の伊藤美都雄氏にて二十三日の新嘗祭を終奉仕に二十四日後任者に引繼を了し、二十五日の急行十一列車で轉任地奉天に引上げると、因に斯る場合故新嘗祭には成るべく多數參拜を望むと

滿蒙植物の採集雜話(4)

旅順 佐藤潤平

第一編(四) 素人の見た滿蒙植物界

一昨年であつたと思つてゐる。或人が私に熊岳城から採つて來たと稱するイヌトクサを示して「蒙古に産する麻黃が熊岳城に産するとは實に面白いではないか」と云ふ私が見ると麻黃とは決して見えない「やこれはイヌトクサだ」と麻黃と異る點を指摘して說明した。併し彼も麻黃に似てゐるから麻黃だと主張して引かない。これには全く說明のしやうがない。彼は一の事務員、私は苟くも植物を專攻してゐるもの、そりや門外漢の方だつてたまには經驗に價することを言ふことがあるがそんなことはめつたにない。彼は自分の立場も考へず主客顚倒してゐるのである。

又こんなこともあつた。これも一昨年であつたと思ふ。私が本紙上にエビスグサ(蘘莔)とハブサウ(望江南)のことについて述べたことがあつた。先づ兩種の差異を記し、次にハブサウは南滿に於いては栽培に適するがエビスグサ即ち蘘莔は試植の結果その結實完熟が思はしくないと記し、私の試植の結果を發表した積りであつた。それから一二日して某事務主任がエビスグサのことを持ち出して來た。エビスグサは南滿でも突然に實を結ぶ。俺の所に澤山植えてある。貴方の云ふのが嘘だとやつて來た。その態度がまた一寸他人と違つてゐる。一寸狂人的に見えたし又一兵卒にでも號令でもかける調子。そこで私は徐ろに彼の植てあると云ふエビスグサの形態を聞いて見た所が彼はエビスグサもハブサウもごつちにしてゐる。植えてあると云ふ現場を覗くとハブサウばかり澤山植えてある。私の目には不幸にして一本のエビスグサもとゞまらない。彼は一種の示威運動によつて種を決定しやうとしたやうに見えた。

以上は極端な例かも知らぬが素人が自然界をながめた場合は大體こんなものだらう。

萩の種類にも相當多く旅大附近の山野にも二三種はあるし安奉線方面でも二三種を數へられる。それを素人はすべて萩として無造作にかたづけてしまふ。又菊通詩人がノギクと呼んでゐる名の下にノヂギク、ホフバヨメナ、ヤマヨメナ、ハマシオンなどが含まれてゐる。何れもその花の形は似てゐるが同一物には決してされたものでない。それを素人は平氣でノギクの名の下に呼んでゐる。此の間某大官を公園に御案內申し上げた。その際滿鮮の大陸特有のコウリンギクを紹介した。花は黃色で小輪のキクとよく似てゐるには似てゐたが、大官曰くノギクじやないかとある。大官必ずしも何事にも通じてゐると思ふそのことが大きな間違ひであるが、他人も此の調子で自然界を解決して行くのであらう。

從つて素人の見た自然界と科學者が見た自然界とは大に其大いさを異にするのである。即ち素人は相似寄つた種類を一括して一種となす。從つて自然物の種類が少なくなり、從つて自然界が狹くなるし簡單に解決がつくことになるのである。

科學者は素人のそれとは大いに異り、自然物を微に入り細に亘つて調査研究の手を進めて行くものだから自然界が大きく見られ、素人が簡單に解決出來ると思ふそれとは大きに反して自然界は實に複雜極まるものだ。その解決には實に至難なものであるとしてゐる。

素人が滿蒙の植物界をながめた場合此の禿山に植物なんかろくにありやしないじやないか。その調査研究など明日の日でも完結するものゝ如く想像するであらう。そこへ滿蒙の植物界の解決を見るまでは數人の專門家が絕えず研究を續けても今後數十年を要するといふたならば實に開いた口が塞がらぬであらう。

開原

ホーム上屋と地下道竣工 二十二日から使用

開原新驛のホーム上屋及び地下道は其の竣成を急ぎつゝあつたが漸く竣工せるを以て二十二日より假ホームでの乘降を止め、上り大連、奉天方面行は本ホームにて、下り長春方面行は地下道を通つて中ホームにて乘降する事となり、新驛の面目を發揮する事となつた

加藤氏講演會

本月二十四日午後七時より小學校講堂に於て加藤咄堂氏の大講演がある筈だつたが、都合により二十五日午後八時より機關庫區工場二階で行ふ事に變更

守備隊の工事

守備隊衛門前より南方は道路取り擴げのため在來の鐵板塀を取り除け、更に煉瓦塀に改修中であるが出來上らば大に威嚴を添ふるであらう

ポスト移轉

南町のポストは電燈社の前にあつたが、此度細野新聞店の前に移轉され從つて郵便切手類及收入印紙も同店で賣捌くと

三巡査の口述試驗

本月八日高等科生筆記試驗に合格せる大石橋署員後鄕芳雄、吉田兵衛、塚村宇多治の三巡査は來月六日旅順に於て施行の口述試驗に應ずると

生徒出張販賣

撫順千金寨小學商業科高等二年生徒は撫順名產の石炭や琥珀細工品を本月二十五日滿鐵俱樂部にて出張販賣する由

瓦斯中毒で二名窒死 倉庫の番人

當地車站街四四番地泉富次郎煉炭倉庫番人原籍遼寧省鐵嶺縣大范河子佟富金(三)同居人菓子行商原籍河北省滄縣呂玉山(二)兩名は、該倉庫番小屋にて溫土爐及び入口土間に石油空罐中に木炭を焚き其上に煉炭を入れて就寢中、瓦斯中毒を起し遂に絕命せるを二十一日午前九時頃發見届出により司法係嘱託醫臨檢せるが、苦悶せる形跡ありたるが瓦斯の爲め同日午前一時頃窒息絕命せるものならんと

飛び下り重傷

二十一日午前十一時三十分頃下り第十七列車が開原驛構內を北進中年齡五十歲位の支那人乘客が開原驛に下車せんとデッキに立ち居たるが、驛舍前にて停車せざるに乘り越しては大變と飛び下り線路上のバラスにて左側上眼瞼及び外眥端の二ケ所に裂傷其他顏面に數ケ所の擦過傷を負ひ朦朧狀態を起して人事不省に陷りたるが、開原驛にては直ちに滿鐵醫院に入院せしめ手當を施した生命には別狀なきものゝ如くなるも未だ住所氏名乃至事情等に就ては語を發せずと同人は奉天より開原までの切符を所持し居ると

孫警察處長一行歸奉

遼寧省警察處長陸軍中將孫旭昌氏外九名一行は過日來開原縣公安局の檢閱中であつたが、縣下各分局の巡閱を終へ二十一日午前九時二十八分發列車にて奉天に向け出發

緊縮委員會幹事

滿洲公私經濟緊縮委員會開原支部幹事として前田警察署長、加藤郵便局長、佐竹地方委員議長、慶德庶務係長、草刈社會主事、昌圖青柳地方委員議長、木島地方事務所派出所主任の七氏に依囑されたと

近松會淨瑠璃會

當地近松會にては二十二日午後六時半より北海堂書店に於て淨瑠璃會を催せるが大入盛會を極めた

語り物
一、忠臣藏二度目淸書 小竹
一、艶姿女舞衣 芳雀
一、傾城阿波鳴門 三木
一、御所櫻夜討 一瓢
一、戀娘昔八丈 暑笑

撫順

映畫獨占に猛烈な反對 地方委員會の決議を無視した樂天館擁護派

過般の地方委員會において大激論となりし「新公會堂に映畫上映を制限し樂天館に映畫獨占權を與ふる件」は樂天館擁護派の主張破れ最後に向後五ヶ年間は同館に映畫上映の獨占權を與ふべしとの妥協論に對し地委多數は是にも反對、結局

一ケ年のみ

獨占期間を與ふるとの裁決に依り同委員會は結末を告げたるも、奇怪にも樂天館擁護派一派は大衆の代表たる地方委員會の決議を蹂躙し、最後の決定權を有する中野庶務課長に迫り「純然たる炭礦主催の映畫以外は將來無制限に新公會堂で上映する事を得ず」との事に決定したる事を聞き傳へたる炭礦數千の社員及び數萬の撫順在住民は地方委員會の決議までも無視したるこの決定に對し大反對の輿論起り今や

重大問題が

惹起せんとする狀態にある、右問題に關し一般有識者、公平なる見解を有する地委諸氏の意見を綜合するに大體次の如く一致するやうである

純然たる炭礦主催のものは一年間を通じて實に指を屈する位のものである、それ以外の映畫は絕對的に新公會堂で上映を禁止する事は在撫幾千幾萬の大衆が期待せる新公會堂竣成したるが故に比較的安價なる入場料を以て現代大衆藝術の代表たる映畫を觀賞し得るチャンスが制限される譯である、何の爲め十六萬圓餘を投じて新公會堂を建てたか

歌劇芝居の

如きは一年間を通じて實に寥々たるものだ故にその慰安の樂鄕竣成したるが故にその慰安に接し得る機會は減ぜられるが如き矛盾せる事は撫順在住民の堪へ難き事だ、樂天館は映畫常設館なりと云ふもその上映する映畫は日活その他一部分に限られ且つ入場料の如きも撫順としては斷じて高い、撫順より小ない各沿線で安價に見得る巡行的映畫が撫順は州外一の新公會堂を持つ故を以てその映畫を見能はざると云ふ事は多數の撫順住民の到底忍び能はざる處だ、旅大始め各沿線各內地諸地方を通じて

一常設館に

のみ映畫上映の獨占權を與ふる如き地が何處にあらう、斯る異例を以つてまで一樂天館を保護せざるべからざる理由那邊にあるか、樂天館建設當初「當分の間はなるべく映畫は樂天館でやらす」云々の諒解ありと言ふもそれは絕對的のものでなく過渡期に於ける一保護を意味するにすぎず、樂天館建つて茲に數ヶ年を經過したる今日その言質に拘束される何ものも現在に於てはない筈だ、營業方針の拙劣に基因する負擔を尙現在に於て炭礦の負ふ責何處にある、一諮問機關とは言へ撫順に於ける

地方委員會

の決議は在撫幾萬大衆の聲であり決議である、この決議を無視し大衆の利益を基礎として動くべき筈の中野庶務課長が樂天館擁護派一派の要求をそのまゝ受入れ、將來無制限に折角成れる全滿一の大衆の娛樂場の利用を制限するが如きに到底看過し難しと今やオール撫順の各階級を通じて一常設館に映畫獨占權を與ふる暴擧に對する反對の叫びは沖天の勢を以つてあがらんとしつゝある

笑和會の例會

笑和會では二十五日午後六時半から東町俱樂部に於て例會を開き滿鐵消費組合配給に關する件に就き協議すると

口述試驗受驗

去日施行された甲科生筆記試驗に合格せる松島元、佐藤長作氏の兩巡査が合格せる旨關東廳より通達があつたが、更に兩氏は旅順に於ける口述試驗受驗のため近く赴旅すると

人事

▲神田關東廳內務局長 鞍鋼所視察の爲め二十二日來鞍即日北行
▲萬國工業會議出席員よりなる滿鮮視察團の第一班は二十一日來鞍製鐵所各工場を視察した

瓦房店

小學校の父兄會 展覽會も

當地小學校は去る十九日より廿二日まで學年父兄會を開催し家庭と學校との聯絡を計ると共に平素の成績について種々體驗を試み教育の向上に努めたるが、本年は例年に比し各學年共出席保護者の數增加せるは當地父兄の兒童教育熱の向上せるを示せるものとして當局者は大いに滿足せる樣子であつた、殊に開期中は大講堂に圖畫書方綴方、手工等の成績展覽會を開催し一般に公開せるが、其の成績の著しく進步せるは父兄をして驚を興へて居る、因に父兄會の日程は次の如し

十九日 尋常一學年
廿日 尋常二、三學年
廿一日 尋常四、五學年
廿二日 尋六高等科、家政科

鞍山

二人强盜 傷害した上に金を强奪

二十一日午前三時頃鐵道西附屬地南入番町一丁目雜貨商張志恒方へ棍棒を所持せる二名の强盜闖入し家人二名に傷害を加へ金七十圓を强奪の上逃走したとの報に接した警察署では、直ちに非常線を張り犯人捜査に努めたが何等得る處なく引續き警戒中である

記念品贈呈 滿期守備兵に

本月三十日鞍山守備隊を任期除隊となつて離鞍する四十二名に對し市民よりグラス製灰皿一個を記念として贈呈する事に決定した

新嘗祭典執行

鞍山神社では二十三日午前十一時から新嘗祭を執行されるが、當日は供進使も參向する大祭であれば氏子多數の參拜を望むと

哈爾賓

小學校學藝會

ハルビン小學校にては廿四日午前九時から學藝會を開催し午前は主として一、三、五の學年生、午後は二、四、六の各學年に高等科年の二部に分け擧行するが午後の兒童は正午登校すればよい

管理局の入札

東鐵管理局にては爐臺及び通氣機の入札購買を十二月十八日に開始するが、入札希望者は當日午前十二時までに機械と寫眞說明を添付し材料科に提出し保證金として價格の百分の五を納入し本局財務處に來觀すれば審査の上落札すると

第六回 滿日勝繼碁戰

(乙部氏一回目 勝二回目) 先相先先番 乙部勇氏 井上大市氏

●八一ニの三 ○八二ニの二
●八三への二 ○八四ヌの十一
●八五トの二 ○八六への二
●八七チの二 ○八八への十四
●八九ソの十五 ○九〇ソの十四
●九一ロの九 ○九二トの十三
●九三トの十四 ○九四チの十三
●九五への三 ○九六チの十四
●九七チの十五 ○九八への十二
●九九ホの十三 ○一〇〇への十一

コドモページ

童話

不思議な『旅人』(上)

瀨野 晴太

ある雪の深い國の話です。

里から隨分とへだたつた山の中の炭燒小屋に、二人の小さな兄妹がありました。

お父さんは毎日重い炭俵をかついで町へ賣りに出かけなければならないので、その間二人の兄妹は小舍の中に淋しくお父さんの歸りを待つのでした。

「お母さんさへ生きてゐたら…」兄妹はいつもさう思ふのでした。寒い雪の日などは二人は爐の近くで默つて抱き合つたまゝだつたのです。

お父さんはこの二人がどんなに淋しがつてゐるかをよく知つてゐましたので、出來るだけ、早く歸つて來る事にしてゐたのでありました。

今日のお土産を考へるだけは二人にとつては一番の樂しみでした。お父さんは里から何時も二人の喜びさうなおいしいご馳走をどつさり買ひ込んで、にこにことして歸つて來る事にきめてゐたからであります。

お午近かくになつた頃、兄妹はおもてに雪を踏む足音をきゝつけました。

「お父さんだよ」

兄さんの方がさう言つて嬉しさうな顏をしました。妹は直ぐに立ち上つて入口にお迎へに出ましたが妹は直ぐに兄の所にかけ戻つて來ました。

「兄さん。お父さんじやないわ」

妹は聲をふるはせて兄に囁きました。

「どんな人なの」

兄も聲をひくめて尋ねました。

「判らないわ。だつてすつかり雪に包まれて戸の所で倒れてるんだもの」

さう言へば、さつきそんな音を兄も聞いたのでした。

「屹度、凍え死をするかも知れなくてよ」中へ入れて暖めて上げやうかしら」

妹の心の中には怖ろしさが少しづゝ消えかけてゐました。

兄はいつかお父さんの言つた言葉をおもひ出しました。

「わしの留守には誰が來ても戸を開けるのではないよ。こんな山の奥を歩く人たちの中には恐ろしい人買ひがゐるんだからな」

兄は直に妹にその事を話しました。

「だから、も少し待たうよ。お父さんの歸るまでね」

妹の心には又もとの怖ろしさが戻つて來ました。

けれども、妹はさつき窓から眺めた旅人らしい人の事をだんだん落ちついて考へるのでした。

若もお父さんがこんな寒い日にこの旅人らしい人の樣ためにあつた時にはどんなであらうかと思ふとやつぱりそのまゝにうつちやつてはおけないと思つたのです。

「あの人はあんなに凍えてるんだもの。あの人を暖めて上げたつてお父さんは決して叱りはしないでせうよ」

兄もさう考へてゐた所でした。それにお父さんの歸りにもう間もない時刻だつたのです。

ニドメノ大チヤンノタンケン(146)

ハルミチ作　ジラウ書

大チヤン ハ バウエンキヤウ ヲ メ ニ アテルト イツシヨ ニ「アツ!」ト サケビマシタ。大チヤン ノ バウエンキヤウニハ ソレハソレハ オソロシイ マモノ ノ スガタ ガ ウツツタノデス。

「ドレ オヂサンニ ミセテゴラン」オヂサン モ 大チヤン カラ ボウエン キヤウ ヲ カリテ ノゾクト オヂサンノ メ ニ モ オソロシイ マモノノ ス ガタガ ウツリマシタ。

アタマ ノ オホキサ ガ 四 トダル ホドモ アラウ トオモハレル ウミ ノ クワイブツワハ マツカナ カミノケヲ フリミダシナガラ ウミノ ウ ヘ ヲ オヨギマワツテ キマス。

フツテキタ。
クルマハビシヤ
ビ　シ　ヤ
ヌレテイル。
ニイヤンビシヤ
ビシヤヌレテキタ。
オマハリサンモ
アメノ中
一人デシヨンボリ
タツテキル。

學校と家庭

教育座談　兒童の健康問題と學校衞生(一)

二人の父兄の談話

A 會社員
B 醫者

A。學校の先生に結核性の病氣に冒されてゐる者が相當多いさうだが、果してそれが事實であるとするとかなり大きな社會問題だね、

B。結核患者の多いことは何も小學校の先生に限つたことはないさ、滿鐵社員あたりにもざらにあるよ。

A。滿鐵社員はまあいゝとして小學校の先生に結核患者のあることは抵抗力の弱い幼弱な兒童に終日接してゐる職業だけにそずには居られないね、まあ僕の結果を想像すると戰慄を覺えるの子供の受持ちの先生は運動家だ康さうだし見たところ如何にも健さうだから自分の子供だけについては心配はいらないと思ふが……

B。ところが運動家だからと言つて決して安心は出來ないぜ、在職當時は運動家ではあり極めて元氣であつた先生があの病氣でバツタリ參つた例も少くないのだからね、しかし君のやうに心配しだしたら子供は學校へ出せなくなつて了ふぢやないか。

A。いや、それが事實なら全く子供を學校へ出したくなくなるねみたいなところだからなたとへ先生が病菌を持つてゐなくても、B。學校は何しろ傳染病の媒介所數の子供が集合生活をしてゐるところだから、どんな病氣を持つた子供が居ないとも限らないよ、現にトラホームなどは學校に出るやうになつてから罹病する場合が大部分で學校病と言つてもいゝ位なものだ。

A。全く學校は恐ろしいよ、時に猩紅熱が流行したり、たちの悪い感冒が流行つてゐるやうな時は學校へ子供をやりたくないねしかし最近の小學校は我々の小學校時代とは違つて衞生婦は常置してある、トラホームの治療はしてくれるといふやうに衞生的施設がよほどまで整つてゐるので内心力強く思つてゐるんだが、それにしても斯のやうに衞生に注意をしてゐる學校が最も恐るべき結核性疾患のある教師をそのまゝにして居るといふことは大きな矛盾であるやうに思ふのだが專門家の君の意見はどうだね。

B。勿論さうした教師は何とか優遇の道を講じて健康の恢復するまで靜養して貰ふことが最善の方法だと思ふが人間といふものは妙な矛盾性を持つた動物でね一人の教師を救ふために多數の兒童の幸福を犧牲にすることの誤りであることは分り切つてはゐても、さて職勉に働いて呉れてゐる先生に對して校長も辭めて呉れとは中々言ひにくいものらしいのだ、現に某小學校の校長の如きは蔭では「辭めて呉れると本人のためにもいゝのだがなあ」などゝ言ひながら本人と面と向ふと、先方から「辭めたいと思ふのですが」と辭意を洩らしても「今君に辭められると學校は困るよ」などゝ心にもないお世辭を言つて無理に留任を勸告したりしたといふやうな話も聞いてゐたが、まあこれが所謂人情なのだらう、しかし眞に教育の何たるかを知つてゐる信念の強い校長であるならば恐らく涙をふるつて辭職を勸告するだらうと思ふね、

A。いや、さうありたいものだ、こうした問題は決して私情に捉はるべき性質のものではない、兒童は我國の將來をしよつて立つ貴重なる第二の國民であつて特に衞生上の問題は智育などよりも更に重視して貰はなければならない。

彌生高女の學藝會

新嘗祭當日

大連彌生高等女學校では二十三日午後零時半から同校講堂にて生徒の學藝會を開催、プログラムは次の通りです

一、開會の辭
二、支那語(歌)月明の夜　二年生
三、理科(談話)電燈五十年祭に就て　四年生
四、家事(實演)洋服の家庭クリーニングに就て　三年生
五、習字(席書)　一、二、三、四年生
六、地理(談話)苦力さん　三年生
七、國語(劇)鳥の裁判　一年生
　休憩
八、ダンス、お花かざして　一年生
九、英語(劇)メリーと七人兄弟　四年生
一〇、教育(談話)優生學運動　五年生
一一、國語(劇)秋の或る夜　二年生
一二、歷史(談話)西洋文明の行方　四年生
一三、音樂(合唱)霞鏡、花賣女　二年生
一四、閉會の辭

尚同校では卒業生の來觀を希望してゐる。

兒童の作品

アメ

大廣場小學校 一年 内田ます江

アメガザアザア

新刊教育書紹介

▲南山麓　南山麓小學校保護者會報第二十一號

▲教育學術界(十一月號)　特輯明治大正教育號である。明治大正の教育同顧、明治大正教育史概論、教育法令の基本的考察等(五十錢東京市牛込區市谷田町モナス社)

▲學校經營(十一月號)　最近獨逸の教育改造運動試驗問題につき機械人形か自由人か、其他學校經營に關する記事及文藝等(五十錢東京市麴町區四番町第一出版協會)

どんな讀物がよいか　教專讀物會の推薦兒童讀物(下)

—新刊二十一種—

▲少年保元平治合戰記　最近流行の薄つぺらな赤本類とその趣きを異にし我が日本の文學史を飾つてゐる保元物語と平治物語を土臺として保元平治の戰ひの顚末を平易にしかも味の深い筆致で書いてある。五、六年以上宮崎久松四六版裝幀で大同館發行價二圓

▲櫻咲く國の天子樣　明治天皇、大正天皇、今上陛下を主としその他の天皇皇后に關する御逸話を集めたもの三年以上樋口紅陽裝幀乙、日本館、價一圓八十錢

▲フーヴアー　世界少年少女偉人傳、大衆の第十七卷、現米洲大統領フーヴアー氏が貧苦の中に奮鬪努力して遂に今日の榮位を得たるまでの事を記したもの、四、五年程度立石美和、四六版裝幀乙、金の星社發行、價九十錢

▲子供の科學文庫(自動車、電車、飛行機、航空船、日用化學、太陽、月、地球、星、ラヂオ、映畫)　科學ものでは挿畫が適切鮮明が要件であるがこの叢書はこの點に於て滿足なものではないが著者の嚴著「子供の科學叢書」よりも解決が平明であり親み易い點に於て一段の進歩であると思ふ、原田三夫四六版裝幀乙誠文堂價各冊一圓

▲少年豐臣太閤　本書は少年廣吉郎の續編として執筆せられたもので勝家の死後天下を悉く平定して外國をも併呑せんとするまでの全傳を記したものである五、六年以上、松本浩記、四六版裝幀乙、大同館發行價二圓

▲少年八幡太郎義家(大久保龍雄著)少年武田信玄傳(矢鐵三子雄著)何れも大同館發行

▲少年電氣物語　電氣に關する知識を少年達に面白く知らせるために童話風にかゝれたもの、餘りに夢幻的なそして感傷的な讀み物の多い現時においてこの書は健實なものとして推奬する。行文も流麗にして又趣味も豐に書かれてゐる。五、六年程度梁田春風繁版裝幀で岡村書店發行價八十錢

「西部戰線異狀なし」を讀む

中央公論社が雜誌中央公論五百號記念を機とした處女出版にルマルクの「西部戰線異狀なし」を撰んだ

◇

無名の一兵卒エリヒ・マリア・ルマルクの「西部戰線異狀なし」が大戰十年後の今春出版されて八ケ月八十萬部といふドイツ・レコード、同じ期間に十五ケ國語二百萬部といふ國際レコードを作りあげ質的にもノーベル賞候補に擬せられたありとあらゆる批評、左翼作家エルンスト・トラアが「最高の大戰ドキユメント」と折紙をつけると、大統領ヒンデンブルグが「各家庭必携の書」と應じる。だがそれらの中で最も注意すべきはアンリ・バルビユツスが「目的意識を以て書いたものでなく、正に眞實そのものを正面からむき出しに書いてあるだけに讀者に與へる感銘は直接的で深刻だ。その點我等作家の到底企て及ばないものがあり、大に學ぶべきものがある」と書いてゐる。

◇

主人公パウル・ボイメルが七人の級友と共に志願兵として出征する十八歲の多感な魂があらゆる近代的武器を動員して西部戰線の三ケ年を經驗する。

◇

戰爭、△△、人間愛等々に對する疑問が起る、然し戰線は直ぐさまる彼等を再び「獸」にする。そして譯者に秦豐吉氏を得たことは氏の名筆以外に、氏の「後備軍曹」がこの譯書を完全に日本のものとしてゐる。戰爭の可能性が地上から消失しないかぎり、本書の特殊な訴へ方も亦消失しないだらう。

假裝舞踊會の夜
エロチックなジャズ
お金持とゲイシャガール
尖端をゆく…(9)

ダンス……それは青春と明るさと肉感と、そしてスピードとのチエーンスイステイムである。

▽――△

十八日の夜山縣通りのダンスホールポンペイで假裝舞踏會が催された。で、少なくとも一九二九年らしい空氣を呼吸する大連ッ子は此の會に出なければ、尖端、としての名譽……？……を汚すものと考へた。其の結果……

▽――△

酒ぶとりしたお金持は、ねだられるがままに數名の尖端踊者を引具して自動車を横づけにし、某獨身宿舍の「第三天國」に巣食ふチヤールストンボーイ三人は、十錢の白銅を資本に六百拳インチキ團を組織して大まい二圓也を稼ぎ、……アア神樣ポンペイのビールは一本一圓なんですが……それでも頭にあやしげなターバンを巻き附けて印度大王の假裝のつもりで、悲壯にも雄々しく山縣通のアスファルトへ馬車を走らせたのであつた。

▽――△

亂調なラッシャンのジャズバンド、入ッ口から紅が大びらに溢れ脇から白い所がちらつく日本ムスメやゲイシャガール……陸に上つたが爲にかへつて船醉を思ひ出したと云つた樣な顔つきの外國船員……コールマン式な色男のエトランゼ……

▽――△

強烈な色彩の扮裝がよく調和する外國婦人、……それ等が奏で出づるジャズ、チヤールストン、タンゴ……に合せ色彩を競ふて切紙の雪と色テープの間に亂舞する。

▽――△

「イカガ？……お酒」

「ダーダー」、「オーチエン、プリヤツノー」

酒……赤い青い強烈な酒。

「デイヤサー！　ムスメさん」

「おかーしくつて」

女……末梢神經の感覺的刺激の連續……

たとへ其處に言葉と云ふ非國際的な要素があるとしても、其の會話の爲に、ポンペイの夜の桃色が、暮空の灰色へ引き込まれて行くと云ふ事は決してない。酒と女と怪奇な姿態、破調な言葉、男女三十人のエロチックな體臭と息切れ……

あくまでエキゾチックな感覺で刺激的に、興味的に、假裝舞踏會の夜は人々をザ、エンドまで引づつて行く

▽――△

そして……

ジヤズの名殘りを
ポンペイ前で
靴と紅緒の
玄冶店、玄冶店

そんな唄がアスファルトに反響する頃、……十二時が近づいて一元の素人客が踊つた後、のこされたる時間と空間に於て展開されて行く世界は全て黒紗のベールにつゝまれて行くのであつた。

北陵の別邸に於て張學良氏と歡談
歸途、翟省政府首席を訪問す
奉天の仙石滿鐵總裁

【奉天特電二十一日發】老軀を提げて君國のため最後の奉公をなすべしとの壯烈な決心を抱いて滿蒙經營の大任に當るべく新任せる仙石滿鐵總裁と今や内外多事多端の東北省の難局を背負つて立つ奉天の若き主、張學良氏との二十一日北陵張氏別邸における會見は時代の推移と共に今や正に一轉機を劃さんとする日支關係乃至わが對滿政策にとり誠に歴史的イベントと云はねばならぬ

この日午後二時半林總領事は仙石總裁を案内すべくヤマトホテルに來たり齋藤理事、古仁所公所長、鎌田囑託、藤井、鍋島兩秘書役、木全文書課員等の隨行員等共に五臺の自動車に分乘、本社特派員も殿りとして一路北陵なる張氏別邸に向ふ

途中は　特に仙石總裁の意思により着任最初の公式訪問にも拘らず護衛警官の先導を廢し三時過別邸着

張氏の親衞隊、便衣隊等の嚴しき警戒裡に齋藤理事、陶尚銘氏の案内にて應接室に入る、支那側當日の列席者は張氏以下東北省政務委員、翟文選、沈鴻烈、劉尚清、臧式毅、王樹翰及び何豐林諸氏等東三省の要人殆ど全部を網羅し鄭重なる挨拶交換後右要人連の紹介を終り小憩して當日張氏特に病後の老總裁をもてなすべく準備せる

鄭重なる　茶菓の饗應を受くべく別室に入りこゝにて懇ろなる張氏の接待にて主客とも胸襟を開きて眞に明るく朗かなる交驩をなし張氏の如き一見舊知の如く打解けて近き將來には日支聯合の旅客航空輸送を實現したいものだなぞ希望を述べるなぞ歡談約一時間の長きに及んで四時過ぎ一行辭去し城内遼寧省府に首席委員翟文選氏を訪問した

翟氏は首席應接室に一行を招じて仙石氏の如き新任者を得た事を日支將來における相互福利の爲め衷心より

喜ぶ旨　の鄭重なる挨拶を述べシャンパンを抜いて一同乾杯をなし玄關前露臺まで翟氏等の見送りを受けつゝ一行は奉天公所における張氏の答禮を受けるため會談約四十分にて省政府を辭去した

日支親善の實際化を高調
奉天滿鐵公所に於て
張氏の答禮を受ける

かくて仙石總裁一行は五時十分奉天公所着出迎への爲め入口に堵列せる職員の前を古仁所々長の先導にて樓上

大客間に　入り茶菓並びに見事なる果物の盛鉢その他善美を盡し答禮の張氏一行接待の準備をへつゝある頃五時半當日々支雙方の通譯をつとめし張氏秘書陶尚銘氏先づ案内役として來り次いで張學良氏は齋藤理事、古仁所々長等多數の出迎裡に秘書士家楨氏外數名の從者を從へて來り陶尚銘氏の先導にて階上應接室に通り總裁に對し慇懃なる言葉をもつて着任挨拶の答禮を述べて主客シャンパンの杯を擧げて歡談に

打寛いだ　その間總裁は終始慈父の如き温容に微笑を含みつゝ諄々と日支間交友關係その經濟的政治的協力の必要を説きこれが實現のためには從來の空虚な日支親善のスローガンに止まる事なく眞に實踐的に現實を基礎として自分の在任する限り努力するであらうとの力強き日支親善の實際化を高調したが、これを傾聽せる張氏はあだかも喜悦押へ得ざるものゝ如く若々しき頰に血をのぼせて陶秘書が一句々々

通譯する　毎にあたかも老父に對する如く總裁の顔を打仰ぎうれしげにうなづいてゐた、かくて一時間餘に亘り春の如く和やかにして感激に滿ちた雰圍氣の中に主客微笑した後、總裁の來年の春に又御目に掛つてゆる／＼御話しをしたいとの約束を喜びつゝ張氏一行は暇をつげた、公所を辭する際總裁の病後をいたわる意味から張氏が總裁の階下入口までの見送りを辭退し階段途中にて兩者が再三立止りなだめ合つてゐたのは實に美しきシーンであつた、かくて

張氏一行　は總裁に公所玄關まで見送られ多數の歡送裡に歸途についたのは午後七時頃であつた

再び不良工
支人宿舍を襲ふ
長崎紡にも押掛ける

【青島特電二十一日發】廿一日午前十一時過ぎ再び四方の大日本紡績支那人宿舍において不良工四百名餘押かけ正門よりは出入嚴重のため南北非常門を押破り出入りの自由を得て宿舍内との聯絡をとつた、なほ滄口の長崎紡績にも午前十時頃不良工が數百名工場外に押かけ就業の良工をおびやかし遂に百八十餘名の良工は門外に出たのを幸ひに附いて他方面に行つたと、目下紡績側は支那側へ對し嚴重に交渉してゐるも不良工は益々惡化の傾向である

病床の母を大事にせよ
聖上にお言葉を賜ふ
憲兵大尉の光榮

【水戸二十二日發電】天皇陛下行幸の爲め去る十一日來水戸に在つて憲兵第三分隊長として御警衞に當つた宇都宮憲兵分隊長村田直實大尉（[illegible]）は十二日母堂病氣危篤の報に取敢ず歸宅したが、母の激勵により再び來水御警衞の任に當つたこと畏くも天聽に達し、天皇陛下には二十一日午前十一時五十五分同大尉に拜謁仰せ付けられ病床の母を大事にせよと優渥な御言葉を賜はつた

濟南事件に絡る
涙の貞節美談
出征した夫の平癒祈願
聖上陛下聞召されて殊のほか御感動

【東京特電二十一日發】天皇陛下は二十日夜水戸行在所で行幸關係者に御陪食を仰つけられたが、その際御陪食の光榮を擔つた峰東京憲兵司令官は濟南事件の生んだ貞烈美談宮本軍曹の妻女の事を言上したところ、陛下は殊のほか御感動あらせられ司令官の言葉一句々々を御聽きもらしなく御熱心に御聽きあらせられた、司令官は大御心の程にひたすら感激恐懼してゐるが、美談といふのはコウである

◇

去る昭和三年四月山東の風雲急を告げた際、福岡縣人久留米憲兵隊軍曹宮本太弘は第四師團司令部附憲兵として同月二十日山東に派遣され寢食を忘れて活動してゐたが、時候の異ひ、支那側の不潔に加えて極度の疲勞のため十一月三日赤痢に罹り第一野戰病院に收容され翌年一月八日に至り病勢急變腸出血を始め昏睡状態になつた

◇

一方久留米市の留守宅で「ヲットキトク」の報を得た妻タマは恰も自分も胃腸病に惱み幼女まで病にて臥床中に拘らず、夫が軍國のため一身を捧げて出征しながら病氣のため命を落すは殘念だ、今一度恢復して軍人らしき死を遂げさせやうと健氣な決心をなし、凜烈膚を裂く一月始めの深夜に戸外に出て「わが命を召して夫の命を救ひたまへ」と神佛に祈念し水垢離を取ること一週間に及んだ、この樣を見兼ねた隣家の某が懇々諫止するを肯かず「死はもとより望むところ」と頑として肯かないのでこれを聞いた實家から父兄が駈つけ「幼女に累を及ぼすは却つて夫の意志に叛く」と諫めたところ、さらばと幼女を實家に託したうへ佐賀縣鳥栖町の高野山に登り斷食をして十日間祈願をこめた

◇

この間タマの體は糸の如く瘦せ立居さへ不自由となつたが、その貞烈な行爲が神佛を動かしたか、野戰病院の夫は生死の境から奇蹟的に恢復に向つた、タマは夫病氣快しとの報に自宅から再び附近のお寺に日參祈願を續け軍曹も三月初めには殆ど全快一旦廣島病院に送還され遂に全快するに至つたものである

ダグ夫妻が近く來朝
久米正雄氏歸朝

【横濱廿一日發電】うつくしいつや子夫人同伴歐米漫遊の途にあつた小説家久米正雄氏は廿一日未明處女航海より歸港した淺間丸で歸國した氏は語る

銀ぶらのつもりで歐米漫遊に出かけたのですがかへつて銀座情緒が戀しくなり歸つて來たフランスで女だけはすばらしく綺麗だつたが何しろ夫人同伴の事で只だ見て來た丈けだ、フランスの新進作家が四十歳になつても一日八時間以上も筆をとつて居るのには刺戟され私しらも今一度文壇にチャンピオンたる決心をたてられた

尙淺間丸は映畫女優ロッペイ、ピックフォード夫妻イグリーソプラノ歌手カジュ孃、百萬長者ルイスメルバン、ルーベンス氏の家族を運んで來た、ロッペイ孃は語る

ハネムーンのため立ち寄りました夫ギラードと七月十九日結婚しました、フェヤバンクス、ピックフォード夫妻は西を廻はつて日本に來り十二月十九日淺間丸で一緒に歸米します

兩會議出席の視察團來連

萬國工業會議動力會議に出席した日英米支各代表十七名より成る滿洲視察團第一班は東京ツーリストビューロー坂田氏の東道の下に廿一日午後八時半大連著、一行はアール、マーテル氏夫妻外英米人十三名（内女子四名）支那代表吳博士、及び大阪電燈會社取締役大島弘義氏で廿二日午前九時より旅順觀光に向ひその中十名は廿三日出帆の天潮丸にて天津に赴くと

朝鮮某疑獄事件で五名を起訴に決す
不起訴に内定した山梨前總督
きのふ再取調べを

【東京廿二日發電】朝鮮某疑獄事件に絡む山梨前總督の五萬圓收賄問題は東京檢事局の取調べ一段落を告げ山梨大將が不起訴と内定せるほか被疑者中收賄幇助肥田理吉（收容中）收賄幇助辯護士大井靜一（收容中）贈賄幇助後藤長英（不拘束）贈賄川崎鐵之助（不拘束）贈賄川崎讓三（不拘束）等は起訴と決定してゐる、なほ山梨大將は二十二日午前五時三十四分鎌倉發上京十時より東京地方裁判所檢事局に出頭取調べを受けてゐる

疑獄事件取調べの經過等を首相聽取

【東京廿二日發電】濱口首相は午前九時川崎司法次官を召致し某重大疑獄及び某地疑獄事件取調の經過並に廿一日の檢事當局首腦部會議の結果を聽取した

漁民騷擾事件
司法權發動す

【高知二十一日發電】漁民騷擾事件は二十日午後に至り遂に司法權の發動をみるに至つた、二十日朝來首謀者漸次檢擧され統制を失つた漁民は此處彼處に團をなし散在せるを午後二時當局の巧な罠に陥ち午後二時五百餘名が高知公園に集合した處を五百餘名の警官と消防手が取卷き殘りの首謀者や煽動者を檢擧したので手も足も出ず宿舍に引揚げた

當局は更に他の宿舍に在る漁民に對しても高壓的に解散を命じ煽動者を檢擧する方針なので統制者を失つた漁民は續々歸郷しつゝあり事件も近く解決せん

強盜鮮人教員
懲役七年を求刑

元小學校教員鮮人尹斗[illegible]（[illegible]）に係る強盜事件の公判は二十一日午前十一時より大連地方法院に於て森本裁判長かゝり高井檢察官干與の上開廷、尹は大正十五年八月頃長春に於て金光烈と懇になりその部下となりハルビンで強盜を働く事を約し同年九月ハルビンに至り金光烈を頭目とし未逮捕の李東春、金文學、白昌淳、李鐵仁、吉昌華等と統哈團と稱する強盜團を組織し、昭和二年一月二日夜ハルビン道裡田地街朝鮮旅館崔仁煥かたに侵入拳銃を突きつけ脅迫のうへ大洋八十元を強奪しその足で更に隣家高麗旅館を襲ひ大洋三十元を強奪したのを始めとして同月八日夜は同地道外南十四道街三永福米所こと張京恪かたに闖入し大洋十二元、同家宿泊の客より大洋三百餘元を同年十月初めには同地同街三合社成金請かたに躍り込み金十圓を各強奪したもので、高井檢察官は懲役七年を求刑午後零時閉廷

兩消防手表彰
臨機の消火で

大連消防屯所消防手伊黒武夫、同森山菊三の兩名は廿日午後七時ごろ西廣場通行中近江町一番地東洋亭こと山本榮吉かた裏手より黒煙濛々と立ち昇るを發見、駈付けたところ堆積せる藁束より發火し正に同家その他に延燒大事に至らんとする危險状態にあつたので臨機の處置を講じ直ちに消し止めたその注意周到にして機敏な行動は功勞顯著なる者ありと高山大連消防共濟會長より二十二日附金一封を贈り表彰された

市場搬入の特產物に課税
鐵嶺税捐局が

鐵嶺地方は特產物出廻り繁忙を極めてゐるが新臺子特產市場は搬入の貨物少なからず支那側税捐局では早くも目をつけ同地に對し一年一萬二千元の納税を命じ同地商務會に於て税捐局の代理事務を取扱ふ由、今月の徵税は既に一千四百元に達し著しい增徵であるが夏枯時の減收を見越し繁忙期に於て增收を圖つて置く心算らしい

小崗子同樂舞臺株式組織に改革

古くさい支那劇場をもつと明るいものにしなくてはと小崗子同樂舞臺創立當時よりの經營者大連藥組合長徐瑞麟氏は管理者と協議、大連に相應しき劇場を建設すべく同樂舞臺を株式組織として根本的に改革のため、上海における一流劇場大舞臺を視察に赴滬中であつたが廿一日入港の大連丸で歸連した、その語るところによると今回の視察によつて同樂舞臺改築に對しては新知識を得るところあつたので案外早く計畫が進捗するものと見られてゐる

昭和四年十一月廿三日（土曜日）

自午後〇時三十分

ニュース

自午後三時三十分　ニュース

自午後七時

一、ニュース
二、兒童科學講座（[illegible]）大連神明高等女學校　[illegible]政次郎
三、ヴァイオリン獨奏（イ）小夜樂ドリゴ作（ロ）韓奏曲第四樂章ゴダード作（ハ）思ひ出ドルドラ作　ゴルトン
四、筝曲（御山獅子）尺八辻恭正、三味線富森大嶮校、琴外山夫人
五、映畫物語（今年竹）解説松葉時朗、伴奏帝[illegible]館管絃部
六、支那唱（別窖）唱王紅寶、師付王振泉
七、料理獻立
八、天氣豫報

父王公治字召棠儀本月十七日午前四時病死致候に付此段辱知諸彥に謹告し且生前の御厚誼を感謝致し候　敬具

追而本月卅日午前十時より午後四時迄小崗子天后宮に於て告別式十二月一日午前十二時葬儀執行可致候

嗣子　任磨琴

親友
山崎平吉
高崎弓彥
伊藤久太郎
赤塚彌太郎
張本政
麗陸堂
劉仙洲
邵愼亭
周子揚
周作之
遲子祥
孫子傑
安春和
黃信之
任召南

總代

愛慾の窓 (166)

戸川貞雄作　淺枝次朗畵

狂瀾 (一六)

てる子を自動車で送り出すと、美知子は倭文子の導くまゝにまた長い廊下を倭文子の居間へと引返すのだつたが、丁度應接間へ折れ曲つてゐる廊下の角のところで、そこに突立つてゐた英輔とばつたり顏を合せた。

「……美知子さん、今の不作法なお客さんは何うしました？もうお歸りですか？」

彼は照れ臭さうに煙草をくゆらしながら、冗談とも皮肉ともつかずさう云つた。

「……え、今、お歸りになりましたわ、あなたに哭々もよろしくと仰有つて」

と、美知子は皮肉に應酬した。

「さうですか……でも、仲々面白い人ですね」

と英輔は倭文子の顏色を窺ひながら「……如何ですか、よかつたら應接間でお茶でも飲みながら話しませんか？倭文子、お前も一緒に何うだね？」

「はい……。でも、わたし達はまだこれから大切な相談をしなければならないんですわ」

冷やかに、倭文子は拒んだ。

「さ、美知子さん、まゐりませう」

そして彼女等はそのまゝ廊下を急ぎ足に倭文子の居間へと立ち去つていつてしまつた。

英輔は、眉を顰むやうにしながら、暫くはその後姿を睨んでゐた。

居間にはいつて、ぴたりと襖を閉ざすと、倭文子は美知子の方に押しすゝめた火鉢に手を翳しながら

「……わたし、今までどうしようかと考へぬいてゐたんで御座いますけれど、やはりこれは思ひ切つてあなたのお耳に入れて、あなたのお考へを伺つた方がいゝと思ひましたので」

と聲を落して切り出した。

美知子は眼でうなづいて、膝をすゝめた。

「……他でもないんですが、實はわたくし、兄を殺した犯人を存じてゐますの」

「えッ？何ですつて……？」と、美知子は飛び上らんばかりの驚きに顏を擧げて、倭文子を見た。「まあ！それは本當のことで御座います？のそれならそれで何故もつと早く打明けて下さいませんでした？のそれがわかつてゐさへすれば、草野さんを嫌疑から救ひ出すことは造作もないことですわ！」

「……でも、その犯人はもうこの世に生きてはゐないんです！」

と、倭文子は悲しげに呟くやうに云つた。

「生きてゐなくても一向差支へないぢやありませんか。確な證據さへあればいゝんですわ！」

美知子は膝をすゝめた。

「……その證據が無いのです！いゝえ有つたのですけれど、今は無くなつたんです……それでわたしも苦んでゐるんですわ……」

「……で、その犯人と仰有るのは？」

「……亡くなつた小森の父なんで御座います！」

「えッ？あの小森さんの……！あの自殺を遂げた……？」

「……さうです！」

「ではその證據と仰有るのは？」

「……舅は、自殺を遂げる前に、二通の遺書を書き殘したんです！一通はわたし共夫婦に宛たもの、一通は警視廳へ宛た手紙です

といふのは、これはわたしの兄以外誰も知らない秘密なのですが、舅の自殺の原因は、世上に流布された事業上の失敗などにあつたのではなく、實をいへばわたしの兄を殺したことに對する良心の苛責が主なものだつたからですわ。ですから舅は、その遺書にわたしの兄友永を帝國ホテルで殺した犯人は自分だといふ事實を認めて死んだのです……だのに、その大切な遺書を、小森は燒き棄てしまつたんです！」

「……え？小森さんが燒き棄てしまつたんですつて？」

美知子は餘りに意外な秘密を打明けられた驚きから自分を取直して、考へ深さうな眼をぢつと伏せてゐたが、暫くの後顏を擧げると

「……燒き棄たといふのは確かでせうか？まだあの人は匿して持つてゐるやうな氣がしますわ！」と叫んだ。

滿日俳壇 募集規定

次回課題「氷」「肩掛」「草枯」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切十一月二十五日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛

滿日文藝

滿日柳壇

『腹』　小倉蜂朗子選

はつきりと腹たしかめる膝を寄せ　白雲
ヨイトマケお腹がへつた樣な聲　たの葉
離緣狀腹から先にたしかめる　喜良久
すき腹へ午のサイレンよく響き　滿山
空腹になると子供は戻つて來　杢堂

五客

缺損へ發起自腹で義理を立て　瓦房店　登志郎
腹掛へ今日も無難な錢の音　大連　若葉冠
腹違ひ父父でない日を恐れ　奉天　伽羅王
謠曲は腹から聲を絞り出し　旅順　榮九郎
窓際の金魚の腹へ眞晝の陽　沙河口　渓聲

（人）
腹違ひどこやら姉は淋しい子　旅順市元寶町　鈴木日山
（地）
伊達卷は胸から腹へ派手に卷き　旅順市盤手町　岡野榮丸
（天）
腹掛の唄が木の香の風で來る　旅順市敦賀町　小關三笑

軸
腹立ちをこらへる窓の八ッ手の葉

新刊紹介

▲實業界（十二月號）定價金五十錢、東京市麴町區平河町六の二四實業界社發行
▲産業組合日記　産業組合實務提要、登記事項一覽表、産業組合法、同施行細則其他各種の附錄あり（定價大型一圓五十錢、ポケット型六十錢、東京市外池袋一四五一、旬刊産業組合新聞社發行）
▲新天地（十一月號）橘樸氏の「汪兆銘と蔣介石」大藏公望氏の「ムッソリーニ治下の伊太利」其他多數の興味深き讀物あり（定價金二十錢、大連市楠町七四新天地社發行）